地上デジタルチューナー内蔵
ビデオ一体型DVDレコーダー

型番 **DXR150V**

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

はじめに

本機には、はじめて電源を入れたときに、初期設定画面が表示され、テレビ放送の視聴に必要な設定を行なう機能があります。
「お買い上げ後の初期設定について」[➡31ページ]をご覧になり、設定してください。

VHS S-VHS SQPB Hi-Fi JPEG Kodak Picture CD COMPATIBLE

PROGRESSIVE

地上デジタル放送専用
本機は、BSデジタル放送、110°CSデジタル放送には対応しておりません。
本機は、地上アナログチューナーは内蔵しておりません。

保証書について

- 保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

- 本機は業務用途、監視用途には対応していません。

もくじ

- 本書はリモコン操作を主体として、本機の操作を説明しています。
- イラストや表示画面は、説明用に簡略化しており、実際のものとは多少異なります。

はじめに

設置・準備

録画

もくじ　（つづき）

ディスクの再生

ディスクの編集

設定

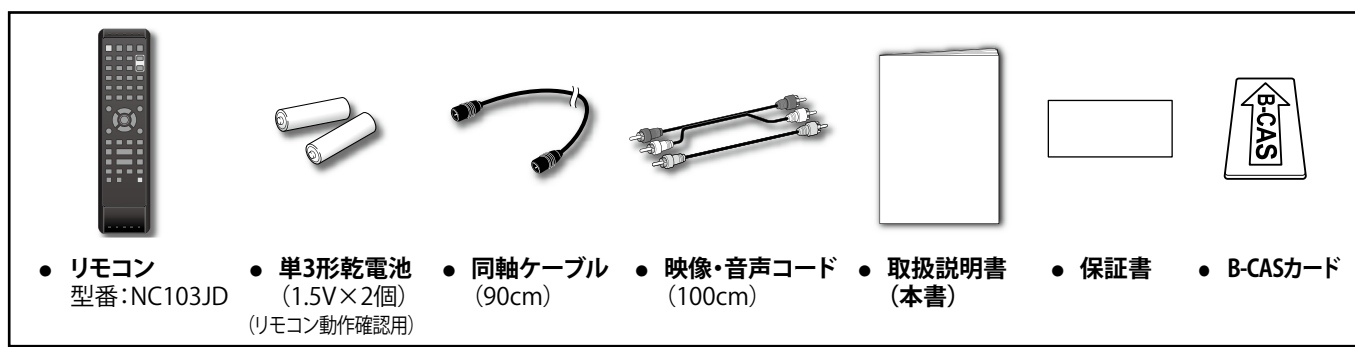
テープを楽しむ

ダビング

その他

はじめに

付属品が同梱されているかお確かめください。

- **リモコン** 型番：NC103JD
- **単3形乾電池**（1.5V×2個）（リモコン動作確認用）
- **同軸ケーブル**（90cm）
- **映像・音声コード**（100cm）
- **取扱説明書（本書）**
- **保証書**
- **B-CASカード**

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送とBSアナログテレビ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで
総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
ナビダイヤル：0570-07-0101
IP電話などでナビダイヤルにつながらない方は：03-4334-1111
受付時間 9:00～21:00（平日）9:00～18:00（土、日、祝祭日）
（2010年2月現在）

著作権について

■ **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
■ **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
■ DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
■ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
■ ドルビーデジタルレコーディングによって、記録型DVD上に高品質のビデオとステレオ音声を記録することができるようになります。この技術をPCM記録の代わりに用いることで、記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
ドルビーデジタルレコーディングを用いて作成したDVDはすべてのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。
注：使用した記録型DVDに対して、プレーヤーが互換性を持っている場合
■ DTSは、DTS, Inc.の登録商標です。
DTS Digital Out は、DTS, Inc.の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent #: 5,451,942 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks and DTS Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software.
© DTS, Inc. All Rights Reserved.
■ “KODAK”はイーストマン・コダック社の登録商標です。
■ 各ロゴは、商標です。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

■ 本機のプログレッシブ出力（480p）はマクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。
■ プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、“セットアップ”ー“基本設定”ー“映像設定”で“プログレッシブ出力”の設定を“切”にするか、電源が「入」の状態でディスクの再生中にリモコンの**[セットアップ]**ボタンを5秒以上押すことでも設定を”切”にすることができます。

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

安全上のご注意

- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの		誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行なわないでください		絶対に分解・修理はしないでください		絶対に触れないでください
	絶対に水にぬらさないでください		絶対にぬれた手で触れないでください		指のケガに注意してください
	必ず指示にしたがい、行なってください		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください		手をはさまないよう注意してください

⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

プラグを抜く

煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

分解禁止

キャビネット（天板）をはずしたり、改造しない

火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

禁止

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

使用禁止

落としたり、キャビネット（天板）を破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

乾電池を放置しない

乾電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに置いてください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

禁止

異物を入れない（特にお子様にご注意を）

トレイ開閉口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 束ねない
- 加熱しない
- 加工しない
- 重いものをのせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの心線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源コードには触れない

感電の原因となります。

AC100V

電源はAC（交流）100Vを使う

AC（交流）100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

タコ足配線をしない

火災の原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

⚠注意

禁止

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

テレビなどの重いものを上に置かない

- 上にのらない（特にお子様にご注意を）
- トレイの前に物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

禁止

接続したまま移動させない

**電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。
また、ディスクは取り出しておいてください。**

指のケガに注意

手はさみ注意

トレイ開閉口から手を入れない（特にお子様にご注意を）

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手がはさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

内部清掃

3年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行なうのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

ほこりを取る

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどが付いたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

飛び散ってけがの原因となることがあります。

プラグを持つ

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行なう

感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

長時間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

正しく入れる

乾電池はプラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れる

間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

乾電池は指定以外のものを使わない

- 種類の異なるものを混ぜて使わない
- 新しいものと古いものを混ぜて使わない

指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

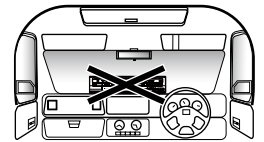
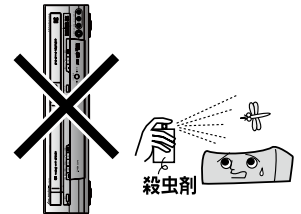
乾電池は分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない

禁止

乾電池を充電しない 充電式の電池は使用しない

使用上のお願い

置き場所や取り扱い

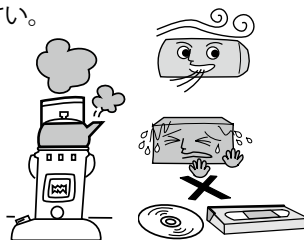
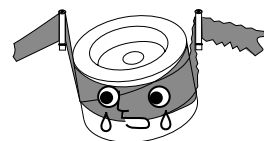
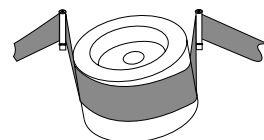
■ ソフトウェアのダウンロード中（本体表示管に“data”が表示中）に本機の電源コードを抜いたり、停電が発生した場合は、本機が使用できなくなります。
■ ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。
■ 本機をテレビやビデオデッキと上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりディスクが出ないなどの故障の原因となることがあります。
■ 本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
■ 本機を移動する場合は、ディスクやビデオテープを取り出してから行なってください。
■ 強い磁気を持っているものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
■ タテ置きではご使用にならないでください。
■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。
■ ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
■ ご使用にならないときは、ディスクやビデオテープを取り出し電源を切ってください。
■ 長期間ご使用にならないときは、液もれを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。
■ 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。
■ 本機は日本国内専用です。放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.)
■ 車載での使用はしないでください。
■ 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃を行なってください。ほこりが溜まりますと故障の原因となる場合があります。

使用上のお願い　（つづき）

結露（つゆつき）について

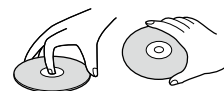
■ 暖かい部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。これを結露（またはつゆつき）と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のビデオヘッドやピックアップレンズ、ディスクに水滴が付きます。乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。

■ 結露が発生した場合はビデオテープやディスクを本機に挿入しないでください。（本機やビデオテープ、ディスクを傷めてしまいます。）結露が発生しているときに、ビデオテープが本機に挿入された場合、ビデオヘッドにビデオテープが貼り付き、巻きついてしまい、ビデオテープや本機を傷めてしまいます。また、ディスクが本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

■ 本機はよく乾燥した状態でお使いください。
結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、電源を入れて約1～2時間、または、電源を入れないで2～3時間、乾燥するまで放置した上で本機をご使用ください。

■ 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
- 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

ディスクの取り扱い

■ 記録面に触れないようにディスクの端を持ってください。
■ 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど、高温になる場所には置かないでください。
■ 使用後は、所定のケースに入れて、保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとディスクの反りの原因になります。
■ 指紋やほこりによるディスクの汚れは、ディスクの読み取りや書き込みが出来ない原因となります。又音質や画質低下の原因にもなります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
■ 録画や再生が楽しめるディスクの種類については、11、12ページをご覧ください。

アンテナについて

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ご注意

■ 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

■ 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
- 本機の上に、テレビを直接置いたとき。
- テレビの上に、本機を直接置いたとき。

使用上のお願い　（つづき）

レーザーピックアップについて

■ 本書の該当部分と「故障かな？と思ったときは」[➡148ページ]をお読みになり、操作を行なっても本機が正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ レーザーピックアップのレンズによごれ（ごみ・ほこり・たばこのヤニなど）が付着すると、ディスクの読み書きが正常にできなくなり、映像の乱れや音飛びなどが発生する原因となります。その場合、市販のレンズクリーナーディスクをご使用いただくと、改善される場合もあります。
市販のレンズクリーナーディスクをご使用になる場合は、次のディスクをおすすめします。（2010年2月現在）
ご使用にあたっては、DVDレンズクリーナーの取り扱い方法をご確認ください。

マクセル　DVDレンズクリーナー DVD-CW(S)
http://www.maxell.co.jp/jpn/index.html

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、
最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

リモコンの取り扱い

■ リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
（※付属の乾電池は動作確認用です。）

- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

修理について

■ **本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または船井サービス㈱カスタマーセンターへご相談ください。

ディスクとテープについて

本機で使用できるディスク

本機で使用できるディスクは以下のとおりです。

- 録画できるディスクについては12ページの「推奨ディスクについて」もご確認ください。

	ディスクの種類		記録方式	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
録画・再生	DVD-RW	6倍速ディスクまで対応 Ver.1.1/1.2 Ver.1.1/1.2（CPRM対応）※1	VRモード ビデオモード	音声+映像 （動画）	12cm盤 片面/両面1層 8cm盤 片面1層※2
録画・再生	DVD-R	16倍速ディスクまで対応 Ver.2.0/2.1 Ver.2.0/2.1（CPRM対応）※1	VRモード ビデオモード	音声+映像 （動画）	12cm盤 片面/両面1層 8cm盤 片面1層※2
再生のみ	DVDビデオ	リージョン番号 2 ALL	ビデオモード	音声+映像 （動画）	12cm盤/8cm盤
再生のみ	DVD-RAM※3 （カートリッジからディスクを取り出せるタイプ）	Ver.2.0 Ver.2.1	VRモード	音声+映像 （動画）	12cm盤/8cm盤
再生のみ	音楽用CD		音楽用CDフォーマット	音声	12cm盤/8cm盤
再生のみ	CD-RW/CD-R		音楽用CDフォーマット JPEG形式の静止画像	音声 静止画	12cm盤/8cm盤
再生のみ	ピクチャーCD		JPEG方式	静止画 （デジタル画像）	12cm盤

※1　デジタル放送などの「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の番組は、VRモードのみ録画することができます。
※2　ディスクによっては録画や再生ができない場合があります。
※3　カートリッジケースに入ったディスクの場合、ディスクを取り出してからご使用ください。（カートリッジからディスクを取り出せないタイプ「タイプ1」には対応していません。）

- 8cm盤のディスクの再生はアダプターなしで使用できます。8cmアダプター（CD用）は使用しないでください。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で録画されたDVDディスクは再生できません。
- ディスクの印刷のある面に上記ロゴマークが入ったものなど、JIS規格に適合したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合は、再生できない場合があります。また、再生できた場合でも、画質、音質の保証は致しかねます。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のレーザーピックアップの状態により再生ができない場合があります。

ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RWディスク(VRモード)以外は、ファイナライズをすると、編集や録画、タイトル削除はできなくなります。

- DVD-RWディスク(VRモード)に関しては、ファイナライズ後でも本機で編集や録画、タイトル削除ができます。
- DVD-RWディスク(ビデオモード)に関しては、ファイナライズを解除すると、編集や録画、タイトル削除ができるようになります。[➡61ページ]
- DVD-Rディスク(ビデオモード/VRモード)に関しては、ファイナライズの解除はできません。

DVDビデオの再生について

■ 本機のDVDプレーヤーは、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなど、ほかの方式で記録されたディスクは再生できません。

■ DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。本機ではリージョン番号「**2**」または「**ALL**」と表示されているディスクが再生できます。

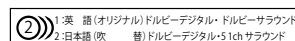
■ DVDビデオは、制作者の意図により操作や機能が本書の説明と違ったり、一部の操作を禁止している場合があります。

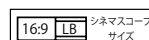
■ テレビ画面に赤色の"🚫"が表示された場合、ディスク側、または本機で操作を禁止しています。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。

■ メニュー画面や操作内容が表示されたときは、表示の内容にしたがって操作してください。

■ DVDビデオにはいろいろな機能があり、次のようなマークでパッケージに表記されています。

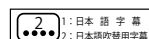
音声トラック数：音声トラック数や音声記録方式を表します。

2　1:英 語（オリジナル）ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド
2:日本語（吹 替）ドルビーデジタル・5.1ch サラウンド

画面サイズ：記録されている画面サイズを表します。

16:9 LB シネマスコープサイズ

収録時間：映画などの、収録時間を表します。

約166分

字幕：記録されている字幕の種類を表します。

2　1：日本語字幕
2：日本語吹替用字幕

リージョン番号：再生可能地域番号を表します。

マルチアングル機能表示：
マルチアングル機能を有するディスクであることを表します。マーク内に記載されている数字は、アングル数を表します。

2

ディスクとテープについて　（つづき）

■ 録画できるディスクの種類

本機ではDVD-RWとDVD-Rに録画できます。
ビデオ機器用（「DVD-VIDEO」、「for VIDEO」、「for General」、「録画用」などと表記されている）ディスクをお使いください。

推奨ディスクについて

本機の性能を十分に発揮するため、次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。

- DVD-R 8x 三菱化学
- DVD-R 8x 太陽誘電
- DVD-RW 2x 三菱化学
- DVD-RW 2x JVC
- DVD-R 16x 三菱化学
- DVD-R 16x 太陽誘電
- DVD-RW 4x 三菱化学
- DVD-RW 4x JVC

上記推奨メーカー製のディスクであっても、動作を保証するものではありません。

- デジタル放送などの「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の番組を録画するときは、CPRM対応のDVD-RW/-R（VRモード）ディスクをご使用ください。

DVD-RW

DVDならではの高音質な音声と高画質な映像を約1000回繰り返し録画することができるディスクです。

- 録画方式を選べます。（VRモード/ビデオモード）
- 本機で録画できるディスクにはVer.1.1/1.2、Ver.1.1/1.2（CPRM対応）の6倍速までのディスクがあります。

DVD-R

ディスクがいっぱいになるまで本機で追加録画/編集ができます。（ただし、消去をしても空き容量は増えません。）

- 録画方式を選べます。（VRモード/ビデオモード）
- 録画後にファイナライズすると、ほかのDVDプレーヤーで再生できるようになります。
- 本機で録画できるディスクにはVer.2.0/2.1、Ver.2.0/2.1（CPRM対応）の16倍速までのディスクがあります。
- DVD-R/DL（2層）ディスクには録画できません。

ファイナライズについて

DVD-RWディスク(VRモード)以外は、ファイナライズをすると、編集や録画、タイトル削除はできなくなります。

- DVD-RWディスク(VRモード)に関しては、ファイナライズ後でも本機で編集や録画、タイトル削除ができます。
- DVD-RWディスク(ビデオモード)に関しては、ファイナライズを解除すると、編集や録画、タイトル削除ができるようになります。[➡61ページ]
- DVD-Rディスク(ビデオモード/VRモード)に関しては、ファイナライズの解除はできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 本機が対応していない録画方式（モード）のディスクは再生しないでください。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となることがあります。

本機で使用できないディスク

■ 次のディスクは、録画・再生できません。

再生できても、正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。
また、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は故障の原因となりますので再生しないでください。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-I
- VCD
- CD-TEXT
- CD-EXTR
- SVCD
- SACD
- PD
- CDV
- CVD
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- HD DVD
- Blu-rayディスク

■ 本機で再生できるディスクでも、次のような場合は全く再生できないか、再生できないことがあります。

DVDビデオ	リージョン番号「2」、「ALL」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク）
	PAL方式のディスク（映像方式の異なるディスク）
	無許諾のディスク（海賊版のディスク）
	業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW	データが記録されていないディスク
	ビデオモードのディスクに静止画（JPEGファイル）が含まれている場合は再生できません。
	記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。
DVD-R DVD+R DVD-RAM	データが記録されていないディスク
	記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。
音楽用CD	著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入ったCDは再生できない場合があります。本機は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。
CD-RW CD-R	データが記録されていないディスク
	ファイナライズされていないディスク
	音楽と静止画（JPEGファイル）が混在したディスク
	ディスクの記録状態/ディスク自体の状態によっては、再生できません。
	ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。

■ 次のようなディスクも再生できません。

- 紙やラベル、シールなどが貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるディスク。
  このようなディスクは、故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- パソコンやDVD、CDレコーダーを使って録画したDVD-RW/-RやCD-RW/-Rディスクにおいて、ディスクに傷や汚れがある場合や、レコーダーのレンズに汚れがある場合、再生できないことがあります。
- 本機と対応するモードで録画されていても、パソコンを使ってディスクを録画した場合、ディスクを作成するアプリケーションソフトの設定によっては再生できないことがあります。（詳しくはソフトウエアの製造元にご確認ください。）

ディスクとテープについて　（つづき）

■ DVD録画方式について

DVD-RW/-Rディスクに録画するときは、「ビデオモード」か「VRモード」のどちらかの録画方式を選択できます。

VRモード

DVD-RW/-Rの基本的な録画方式で、本機のいろいろな編集機能が楽しめる録画方式です。

- **CPRM対応ディスクでは地上デジタル放送を録画できます。**
- DVD-RWのディスクでは、繰返し録画・消去ができます。消去することで、録画できる時間も増えます。また、ファイナライズをしたあとでも、追加録画や編集、映像の消去ができます。
- DVD-Rのディスクでは、ディスクに空きがある限り追加録画ができます。消去しても、録画できる時間は増えません。また、ファイナライズをしたあとの、追加録画や消去・編集はできません。
- 「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の番組を録画できます。（CPRM対応ディスクのみ可能）
- 録画したディスクは**DVD-RW/-R（VRモード）**対応DVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生ができます。（ファイナライズが必要な場合があります。）

ビデオモード

市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブと互換性のある録画方式です。

- **地上デジタル放送は録画できません。**
- DVD-RWのディスクでは、ファイナライズをするまでは本機でのみ再生、追加録画、編集ができます。（編集機能は制限されます。）また、最後に録画したタイトルを消去すると空き時間が増えます。
- DVD-Rのディスクでは、ディスクに空きがある限り追加録画ができます。消去しても、録画できる時間は増えません。また、ファイナライズをしたあとの編集はできません。
- いずれのディスクも「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の番組は録画できません。
- ファイナライズ後は、ほかのDVDプレーヤーで再生できます。（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。）

■ DVD録画モードについて

DVD-RW/-Rディスクに録画できる時間や画質は選択した録画モードによって以下のようになります。

おすすめ！
- 高画質　（XP）
- 標準画質　（SP）
- 2倍長時間（LP）
- 3倍長時間（EP）
- 4倍長時間（SLP）

録画モード	録画時間※
XP　（高画質）	約1時間
SP　（標準）	約2時間
LP　（2倍長時間）	約4時間
EP　（3倍長時間）	約6時間
SLP　（4倍長時間）	約8時間

※ 4.7GBのディスク使用時。録画時間は目安です。
※ 長時間録画できる録画モードにすると画質と音質は悪くなります。
※ **SLPは、本機で長時間録画/再生するためのモードです。他機で再生できない場合があります。**
※ 本機での録画はSD画質での録画となります。ハイビジョン録画はできません。

●　●　● お知らせ ●　●　●

- 本機での時間表示は、実際の録画・再生時間より0.1%程度短く表示されます。（1秒あたり29.9フレームの映像を便宜上30フレームとして計算するため）
- 可変ビットレート方式（VBR）で録画を行なうため、映像によって表示の残量時間よりも記録時間が長い場合があります。

■ 録画の前に

■ 必ずためし録りを

大切な録画の前には、事前にためし録りを行ない、正常に録画されているかご確認ください。

■ 録画（録音）内容の補償について

- 万一、何らかの不具合や停電・結露などによって、録画（録音）や編集が正常に行なわれなかったり、再生できなくなった場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するそのほかの直接・間接の損害については、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。
（例）
  - 本機で録画したディスクを、他社製のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる。
  - 上記の動作を行なったディスクを、再び本機で動作させる。
  - 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させたり、追記する。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。
補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
私的補償金の問い合わせ先：　〒107- 0052 東京都港区赤坂5-4-6 赤坂三辻ビル 2F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）　**FAX**　03-5570-2560
ホームページアドレス　http://www.sarvh.or.jp
なお、あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

ディスクとテープについて　（つづき）

■ 録画の制限について

録画の制限

デジタル放送などには録画を制限するコピー制御信号が含まれています。**コピー制御信号には次の3種類があり、信号の種類により、録画できない場合があります。**

コピー制御信号の種類	内容
制限なしに録画可能	制限なし （個人利用に限ります）
1回だけ録画可能 （コピーワンス）	「CPRM対応」のDVD-RW Ver.1.1、Ver.1.2 「CPRM対応」のDVD-R Ver.2.0、Ver.2.1で録画可能 （VRモードのみ）
録画禁止	録画不可 （著作権保護のため）

「CPRM」(Content Protection for Recordable Media)とは?
「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の放送番組の録画に対してスクランブル処理をするコピー防止システムです。本機はCPRMに対応しており、1回だけ録画可能（コピーワンス）の放送番組を録画できますが、それらの録画のコピーは作成できません。録画された番組は、CPRM対応機器で再生することができます。

録画できない映像について

- 本機の外部入力端子（L1、L2）につないだ機器の映像にコピーガード（録画禁止のコピー制御信号）が含まれている場合、正しく映らない場合があります。
  このような機器は、本機を通さず直接テレビに接続してください。
- 録画中の映像に途中から複製禁止信号が入っている場合、録画が一時停止状態になります。複製禁止信号がなくなると再び録画を開始します。

本機のダビング10番組の録画について

地上デジタル放送の番組には「ダビング10」のルールが適用されています。
「ダビング10」とは、ハードディスク（HDD）搭載の製品で、HDDへ録画した番組をHDDからDVDへダビング（コピー9回＋ムーブ1回）できるルールの事です。
本機はHDDを搭載しておりませんので、地上デジタル放送をDVD-RW/R（VRモード）へ録画すると全て「1回だけ録画可能（コピーワンス）」として作成されます。

■ ディスクの構成について

DVD-RW/-R・DVDビデオの場合

- **DVD-RW/-Rに録画した場合は**
  1回の録画が1タイトルとなり、オートチャプターを設定しておくと、自動で設定した時間ごとにチャプター（章）で区切られます。（VRモードの場合、好みの場面にチャプターマークを入れられます。）
- **DVDビデオの映画などでは**
  ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプター（章）で構成されています。

DVD-RW/-Rの例

音楽用CDの場合

音楽用CDでは
ディスクをトラックという単位で分けています。
（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。）
本機はインデックスの表示、サーチには対応していません。

音楽用CDの例

こんなときは、こんなディスクを（おすすめのディスク）

やりたいこと	DVD-RW（VRモード）	DVD-RW（ビデオモード）	DVD-R（VRモード）	DVD-R（ビデオモード）	備考
● 地上デジタル放送の番組を録画する ● 外部入力より「1回だけ録画可能」な番組を録画する	○※2		○※2		● CPRM対応ディスクにのみ録画可能
● 録画したディスクをほかのDVDプレーヤーやパソコンで再生する	○※1	○	○※1	○	● ファイナライズが必要 [➡60～62ページ]
● 本機で録画したディスクを編集して楽しむ	○		○		
● 見たあとに、全部消して新しく録画する	○	○			
● 長期保存や、消されては困る映像を録画する				○	

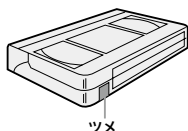
※1　DVD-RW/-R（VRモード）対応DVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生可能です。
※2　CPRM対応ディスクで録画された番組は、CPRM対応機器でのみ再生可能です。

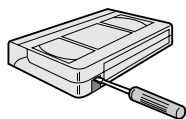
ディスクとテープについて　（つづき）

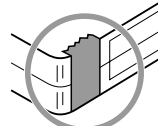
ビデオテープについて

このビデオは、VHS 方式のビデオです。VHS マークのついたビデオテープ以外は使用できません。

■ 大切な録画テープを誤って消さないように…

■ 誤消去防止用のツメ

テープには誤消去防止用のツメがついています。

■ 誤って消さないために…

ドライバーなどでツメを折ります。（ツメ折れテープは録画できません）

■ ふたたび録画したいとき…

セロハンテープを二重に貼りめくれないようにしてください。

■ テープの保管は…

- 次のような場所に保管された場合、テープを傷める場合があります。
  湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ、直射日光が当たるところやストーブの近く、磁気の発生するところ
- 落としたり衝撃を与えないでください。
- ケースに入れて保管してください。

■ 録画モードについて

- **標準**　:画質優先の場合に使用するモードです。
  ビデオテープに表示されている時間を録画できます。
- **3倍**　:長時間録画の場合に使用するモードです。
  ビデオテープに表示されている時間の3倍の時間を録画できます。

テープの種類	標準	3倍
T-60	60分	180分
T-120	120分	360分
T-160	160分	480分
T-180	180分	540分

※ 本機での録画はSD画質での録画となります。ハイビジョン録画はできません。

■ 映像が映らないとき…

- 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販の「クリーニングテープ」（乾式）で、ヘッドクリーニングを定期的に行なってください。
- ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

「ザラザラ」した映像

「グレー」一色の映像

「ノイズ」が入った映像

オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

■ オートヘッドクリーニング機能について

ビデオテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープ（乾式）でヘッドクリーニングを行なってください。（ただし、取りきれない汚れもあります。）

■ ビデオヘッドの点検について

美しい画面をご覧いただくためには、使用環境（温度/湿度/ほこり）などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ1,000時間を目安に点検（清掃/注油/部品交換）されることをおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ビデオヘッドの交換について

ビデオヘッドは磨耗するため、鮮明な映像が映らなくなることがあります。このような場合は、ヘッドの交換が必要になります。交換費用も含め、お買い上げの販売店にご相談ください。

市販テープ・レンタルテープのダビングについて

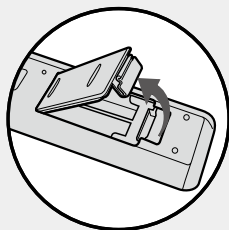
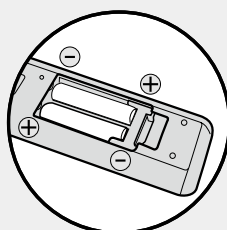
- 市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。
- あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

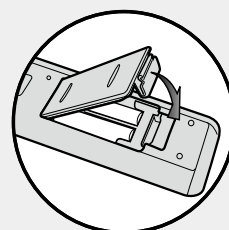
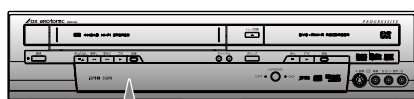
テープ内容補償・ご注意について

万一本機およびビデオテープ等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

操作の前に

リモコン電池の入れかた

1 リモコン裏側のフタをはずす

2 単3形乾電池（1.5V×2個）を入れる

- （＋）（－）を確かめる
- （－）側を先に入れる

3 フタをつける

リモコンの操作方法

リモコン受光部にむけて操作してください。

受信許容範囲
距離
本機正面より約7m以内
角度
上下左右30度、約5m以内

お知らせ

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

⚠ 注意

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

- 乾電池についての安全上のご注意もご覧ください。[➡7ページ]

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行なっています。
また、本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

：DVD-RWディスク（ビデオモード）で楽しめる機能を表します。

：DVD-RWディスク（VRモード）で楽しめる機能を表します。

：DVD-Rディスク（ビデオモード）で楽しめる機能を表します。

：DVD-Rディスク（VRモード）で楽しめる機能を表します。

：DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。

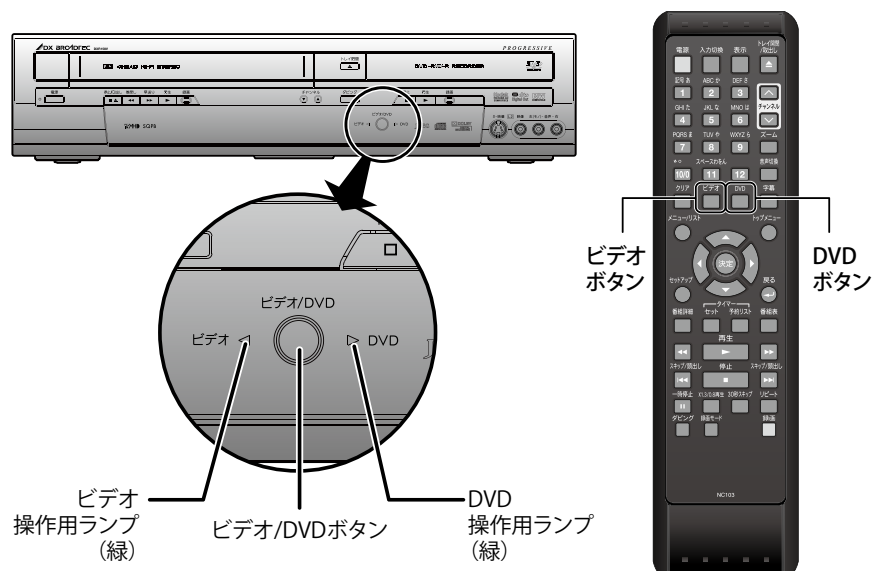
：音楽用CDディスクで楽しめる機能を表します。

：JPEGファイルが記録されたCD-RW/-R（ピクチャーCD含む）で楽しめる機能を表します。

：VHSビデオテープで楽しめる機能を表します。VHS マークのついているVHSビデオテープをお使いください。

※ DVD-RAMのメディアアイコンは表記しておりません。

操作の前に　（つづき）

本機はビデオデッキとDVDレコーダーの一体型です。
操作時はビデオとDVDを切り換える必要があります。電源を入れ、以下の操作を行なってから、各操作を行なってください。

ビデオ操作時

■ **リモコンの[ビデオ]ボタンを押します。**
本体のビデオ操作用ランプが点灯します。
※本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンを押してもビデオ側の操作に切り換えることができます。

DVD操作時

■ **リモコンの[DVD]ボタンを押します。**
本体のDVD操作用ランプが点灯します。
※本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンを押してもDVD側の操作に切り換えることができます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ビデオまたはDVDに録画を行なう場合は、リモコンの**[ビデオ]**ボタンまたは**[DVD]**ボタンを押してからリモコンの**[録画]**ボタンを押してください。
- ビデオまたはDVDを再生中の場合、**[ビデオ]**ボタンまたは**[DVD]**ボタンで操作モードを切り換えると、操作していた側の再生は停止します。
- ビデオ/DVD出力切換は、予約待機側へは切り換えることができません。（禁止操作を行なった場合には、"🚫"がテレビ画面に表示されます。）また、DVD、ビデオのどちらかが予約待機中に**[電源]**ボタンを押して本機の電源を入れた場合、ビデオとDVDの操作切換はできません。詳しくは69ページを参照してください。

禁止アイコンについて

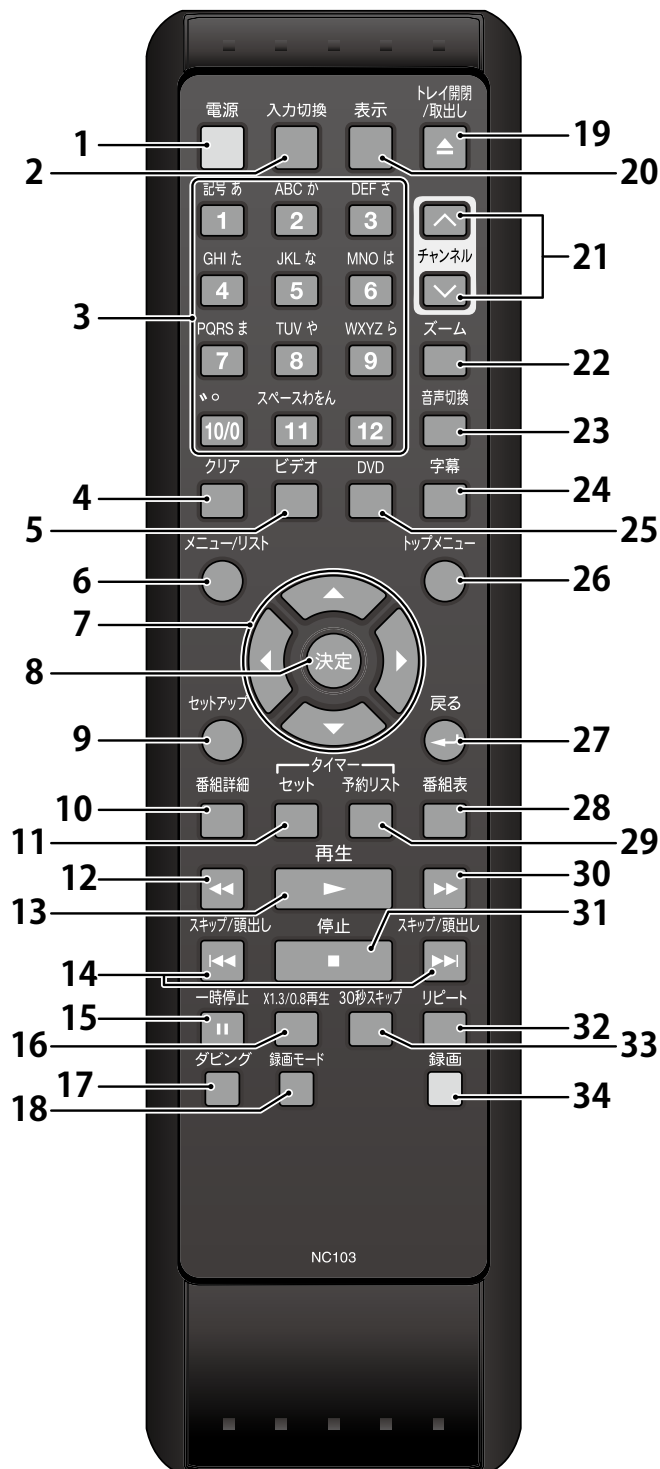
■ 赤色の"🚫"は、DVD操作モードのときに、禁止操作を行なった場合にテレビ画面に表示されます。
■ 白色の"⃠"は、ビデオ操作モードのときに、禁止操作を行なった場合にテレビ画面に表示されます。

各部のなまえ

リモコン

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 電源が切れているときに、リモコンの**[トレイ開閉/取出し ▲]**ボタンを押しても本機は動作しません。

[　]内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

1　電源ボタン（DVD/ビデオ）[31ページ]
- 電源の「入」「切」に使用します。

2　入力切換ボタン（DVD/ビデオ）[146ページ]
- 本機のチャンネルを外部入力へ切り換えます。

3　数字ボタン（0〜12）（DVD/ビデオ）
- **DVD操作モード[35ページ]**
  チャンネル選択や数字、文字の入力をします。
- **ビデオ操作モード[35ページ]**
  チャンネルを選択します。

4　クリアボタン（DVD/ビデオ）
- **DVD操作モード[127ページ]**
  "視聴制限の設定"画面で、入力した暗証番号を削除するとき、CDのプログラムを取り消すとき、マーカー設定画面で選択したマーカー番号を削除するときなどに使います。
- **ビデオ操作モード[133ページ]**
  テープのカウント表示をリセットします。

5　ビデオボタン（ビデオ）[17ページ]
- リモコンでビデオ操作をするときに使用します。本体をビデオ操作モードに切り換えます。

6　メニュー/リストボタン（DVD）[79、102ページ]
- プレイリストが存在する場合、オリジナルのタイトルとプレイリストのタイトルを切り換えます。
- ディスクメニュー画面を表示します。

7　カーソルボタン▲/▼/◀/▶（4方向）（DVD/ビデオ）[31ページ]
- 初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換えに使用します。

8　決定ボタン（DVD/ビデオ）[31ページ]
- 設定を決定したり、メニュー画面で項目を選択します。

9　セットアップボタン（DVD/ビデオ）[32ページ]
- セットアップ画面を表示するときに使います。初期設定や、再生や録画など、本体で楽しむための設定が行なえます。

10　番組詳細ボタン（DVD/ビデオ）[37ページ]
- 番組視聴中に押すと、番組情報を確認することができます。

11　タイマーセットボタン（DVD/ビデオ）[65ページ]
- 録画予約の待機状態を実行、解除します。

12　◀◀ボタン（DVD/ビデオ）
- **DVD操作モード[81ページ]**
  再生中は早戻し再生をします。
  一時停止中は逆スロー再生をします。
- **ビデオ操作モード[134ページ]**
  テープの巻戻しやスピードサーチをします。

13　再生 ▶ボタン（DVD/ビデオ）[77、132ページ]
- ディスクまたはテープの再生をします。

各部のなまえ　（つづき）

14　スキップ/頭出し |◀◀/ ▶▶|ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[86ページ]**
  再生中はチャプター/トラックの頭出しをします。
  一時停止中はコマ送り/逆コマ送りをします。
- **ビデオ操作モード[136ページ]**
  録画テープの頭出しをします。

15　一時停止 ❚❚ボタン（DVD/ビデオ）[82、135ページ]

- ディスクまたはテープの再生、録画の一時停止をします。

16　x1.3/0.8再生ボタン（DVD）[81ページ]

- 0.8倍速または1.3倍速で視聴ができます。

17　ダビングボタン（DVD/ビデオ）[143、145ページ]

- ダビング時に使用します。

18　録画モードボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[53ページ]**
  ディスクの録画モードを切り換えます。
- **ビデオ操作モード[138ページ]**
  テープの録画モードを切り換えます。

19　トレイ開閉/取出し ⏏ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[50ページ]**
  ディスクトレイを開閉します。
- **ビデオ操作モード[132ページ]**
  テープを取り出します。

20　表示ボタン（DVD/ビデオ）[33、137ページ]

- ディスク/テープの情報と設定可能なアイコンを画面に表示します。
- 視聴中の番組名・放送局名・チャンネル番号などの情報を表示します。

21　チャンネル ∧/∨ ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[53ページ]**
  チャンネルを切り換えます。
- **ビデオ操作モード[138ページ]**
  チャンネルを切り換えます。
  ビデオの再生中またはスロー再生中にトラッキングの調節を行ないます。
  一時停止中に映像の縦ブレを調節します。

22　ズームボタン（DVD）[84ページ]

- ズームメニュー画面を表示します。

23　音声切換ボタン（DVD/ビデオ）

- 二重音声放送（二カ国語放送）の受信時に主音声/副音声/主：副の切り換えをします。
- **DVD操作モード[95ページ]**
  ディスク再生中に音声メニューを表示します。
- **ビデオ操作モード[140ページ]**
  Hi-Fi録音されたテープの再生中に音声出力（ステレオ/左音声/右音声/モノラル）の切り換えをします。

24　字幕ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[46、96ページ]**
  番組視聴中に字幕を切り換えます。
  ディスク再生中に字幕メニューを表示します。
- **ビデオ操作モード[46ページ]**
  番組視聴中に字幕を切り換えます。

25　DVDボタン（DVD）[17ページ]

- リモコンでDVD操作をするときに使用します。本機をDVD操作モードに切り換えます。

26　トップメニューボタン（DVD）[78ページ]

- 最上層のDVDディスクメニュー画面を表示します。

27　戻る ↩ ボタン（DVD/ビデオ）[31ページ]

- 1つ前の設定画面に戻ります。

28　番組表ボタン（DVD/ビデオ）[36ページ]

- 番組表を表示します。

29　予約リストボタン（DVD/ビデオ）[64ページ]

- 予約リスト画面を表示するときに使います。

30　▶▶ ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[81ページ]**
  再生中は早送りをします。
  一時停止中はスロー再生をします。
- **ビデオ操作モード[134ページ]**
  テープの早送りやスピードサーチをします。
  一時停止中はスロー再生をします。

31　停止 ■ボタン（DVD/ビデオ）[54、138ページ]

- ディスク/テープの再生、録画を止めます。

32　リピートボタン（DVD）[91ページ]

- リピートメニュー画面を表示します。

33　30秒スキップボタン（DVD/ビデオ）[84、137ページ]

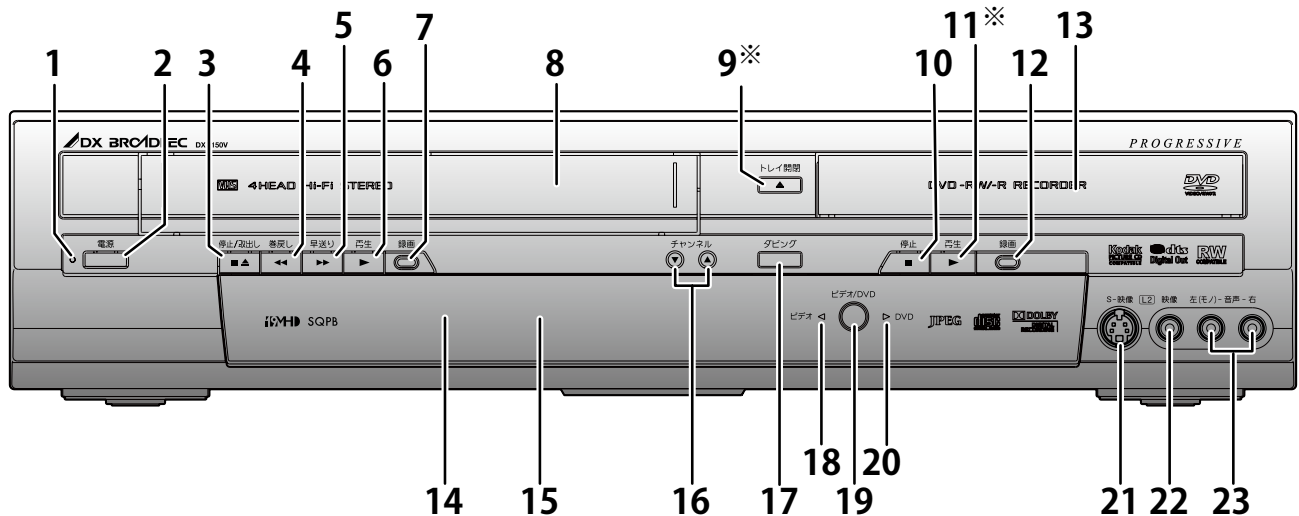
- 再生中に30秒早送りします。

34　録画ボタン（DVD/ビデオ）

- **DVD操作モード[53ページ]**
  ディスクに録画します。また、繰り返し押すとワンタッチタイマー録画を設定することができます。
- **ビデオ操作モード[138ページ]**
  ビデオに録画します。また、繰り返し押すとワンタッチタイマー録画を設定することができます。

各部のなまえ　（つづき）

前面

[　]内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

1　電源ランプ
- 本機の電源が入っているときに点灯します。

2　電源ボタン
- 電源の「入」「切」に使用します。

3　停止/取出し ■▲ボタン（ビデオ）[138ページ]
- テープの再生または録画を止めます。
- 停止中に押すと、テープを取り出します。（電源が切れていてもテープの取り出しは行なえます。）

4　巻戻し◀◀ ボタン（ビデオ）[134ページ]
- テープの巻戻しやスピードサーチをします。

5　早送り ▶▶ ボタン（ビデオ）[134ページ]
- テープの早送りやスピードサーチをします。

6　再生 ▶ ボタン（ビデオ）[132ページ]
- テープの再生を開始します。

7　録画ボタン（ビデオ）[138ページ]
- テープに録画をします。また本機がビデオ操作モードに切り換わります。
- 繰り返し押すとワンタッチタイマー録画を設定することができます。

8　テープ挿入口（ビデオ）[132ページ]
- テープをセットします。

9※　トレイ開閉 ▲ボタン（DVD）[50ページ]
- ディスクトレイを開閉します。

10　停止 ■ボタン（DVD）[54ページ]
- ディスクの再生/録画を止めます。

11※　再生 ▶ ボタン（DVD）[77ページ]
- ディスクの再生を開始します。

12　録画ボタン（DVD）[53ページ]
- ディスクの録画を開始します。また、本機がDVD操作に切り換わります。
- 繰り返し押すとワンタッチタイマー録画を設定することができます。

13　ディスクトレイ（DVD）[50ページ]
- ディスクトレイがでている状態でディスクをセットします。

14　リモコン受光部

15　表示管

16　チャンネル ▼/▲ ボタン（DVD/ビデオ）[35、132ページ]
- チャンネルを切り換えます。
- ビデオの再生中またはスロー再生中にトラッキングの調整を行ないます。一時停止中に映像の縦ブレを調整します。（ビデオのみ）

17　ダビングボタン（DVD/ビデオ）[144、145ページ]
- DVDディスクからテープ（テープからDVDディスク）へのダビングを行ないます。どちらへダビングするかは、"セットアップ"で設定します。

18　ビデオ操作用ランプ（ビデオ）[17ページ]
- このランプ点灯時はビデオの操作ができます。

19　ビデオ/DVDボタン（DVD/ビデオ）[17ページ]
- ビデオ/DVDの映像/音声切換を行ないます。

20　DVD操作用ランプ（DVD）[17ページ]
- このランプ点灯時はDVDの操作ができます。

21　S映像入力2（L2）端子[29ページ]
- 外部機器との接続に使用します。

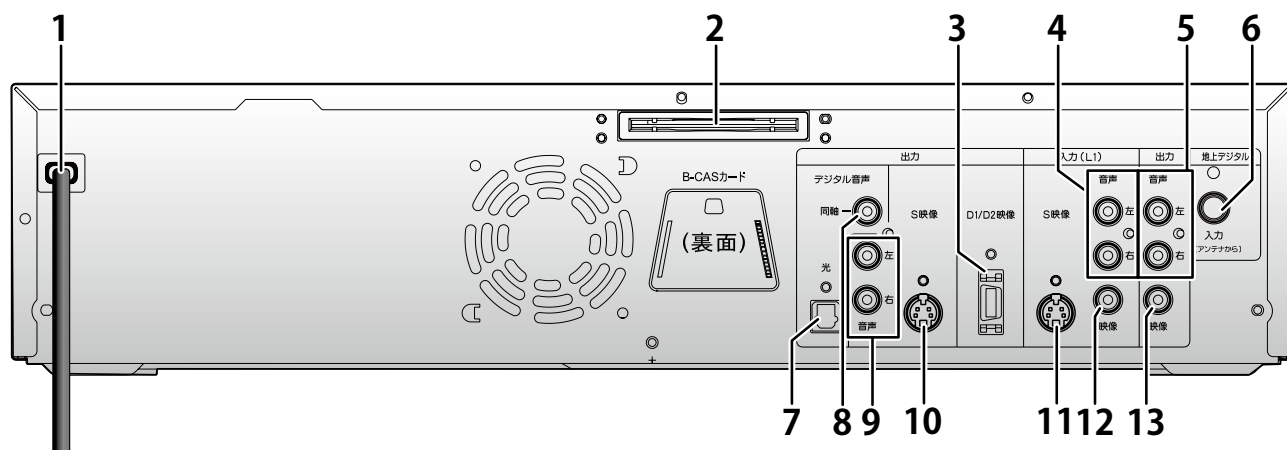
22　映像入力2（L2）端子[29ページ]
- 外部機器との接続に使用します。

23　音声入力2（L2）端子[29ページ]
- 外部機器との接続に使用します。

※　電源が切れているときに押すと本体の電源が入ります。予約待機中は動作しません。

各部のなまえ　（つづき）

後面

1 2 3 4 5 6
出力　入力（L1）　出力　地上デジタル
B-CASカード　デジタル音声　同軸　（裏面）　光　左　右　音声　S映像　D1/D2映像　S映像　音声　左　右　映像　音声　左　右　映像　入力（アンテナから）
7 8 9 10 11 12 13

1　電源コード
電源プラグを交流100Vのコンセントに差し込みます。

2　B-CASカード挿入口
付属のB-CAS カードを挿入します。

3　D1/D2映像出力端子[28、29ページ]
D映像入力端子付きテレビと接続します。

4　音声入力1（L1）端子[29ページ]
外部機器との接続に使用します。

5　音声出力端子[24、26、30ページ]
- 付属の映像・音声ケーブルを接続します。
- アナログオーディオ機器やテレビと接続します。

6　地上デジタルアンテナ入力端子[24～27ページ]
- 付属の同軸ケーブルを使用し、アンテナと接続します。
- アナログ放送（VHF/UHF）には対応しておりません。

7　光デジタル音声出力端子[30ページ]
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを接続します。

8　同軸デジタル音声出力端子[30ページ]
市販のオーディオ用同軸デジタルケーブルを接続します。

9　音声出力端子[28、29ページ]
アナログオーディオ機器やテレビを接続します。

10　S映像出力端子[28ページ]
S映像端子付きテレビと接続します。

11　S映像入力1（L1）端子[29ページ]
S映像端子付き外部機器との接続に使用します。

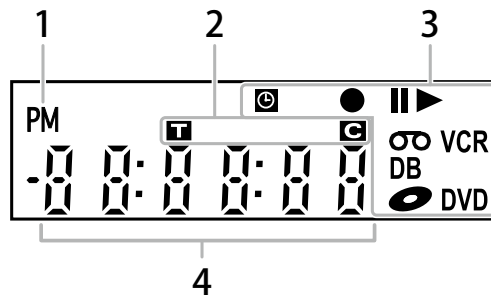
12　映像入力1（L1）端子[29ページ]
外部機器との接続に使用します。

13　映像出力端子[26ページ]
- 付属の映像・音声ケーブルを接続します。
- テレビと接続します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- D映像出力端子/S映像出力端子の接続をしている場合、ビデオ操作モードではビデオテープの再生映像のみ出力します。

各部のなまえ　（つづき）

本体表示管について

1. PM表示

時計表示が午後のときに点灯

2. タイトル/トラック/チャプターマーク

T: タイトル/トラック番号表示中に点灯

C: チャプター番号表示中に点灯

3. 本機の状態

⏲: 録画予約終了後、DVDまたはビデオ操作時にもう一方が予約待機状態で操作モードを切り換えようとしたときに点滅
録画予約終了後に点滅

●: 録画中に点灯
録画一時停止中に点滅

⏸: ディスクまたはテープの再生が一時停止・コマ送り・スロー再生・逆スロー再生のときに点灯

▶: ディスクまたはテープを再生・早送り再生・早戻し再生・スロー再生・逆スロー再生しているときに点灯

ꝏ: ビデオ操作時、本機にテープを挿入しているときに点灯

DB: ダビング中に点灯

ディスク: 電源が入った状態で、DVD操作時に本機にディスクを挿入しているときに点灯

VCR:
・ビデオ操作時、ビデオ予約待機中、または録画予約動作中に点灯
・ビデオの録画予約ができない状態（ビデオテープが入っていないなど）で予約待機状態にしたとき、DVD操作時にビデオ予約待機状態でビデオ操作に切り換えようとしたときに点滅

DVD:
・DVD操作時、DVD予約待機中、または録画予約動作中に点灯
・DVD録画予約ができない状態（ディスクが入っていないなど）で予約待機状態にしたとき、ビデオ操作時にDVD予約待機状態でDVD操作に切り換えようとしたときに点滅

4. 共通表示部（以下を表示します）

- 再生時間
- タイトル/チャプター/トラック/ファイル番号
- 録画時間
- 時計
- チャンネル番号
- ワンタッチタイマー録画の残り時間
- テープカウンター

■ ディスプレイ表示について

1

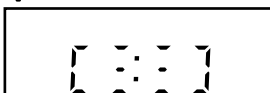
ディスクトレイが開いているときに表示します。

2

ディスクトレイが閉じているときに表示します。

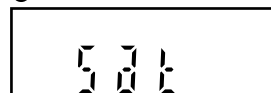
3

ディスクを読み込んでいるときに表示します。

4

ディスクにデータを書き込んでいるときに表示します。

5

番組表更新中、ソフトウェアのダウンロード中に表示します。

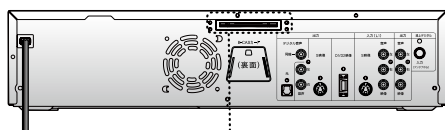
6

サテライト予約待機中やサテライト予約録画中に表示します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 本機の電源を切ったり、予約待機状態にした場合、本体の表示管は約5秒後に消灯します。待機状態を確認するには、**[表示]**ボタンを押してください。

B-CASカードをセットする

付属のB-CAS カードを本体にセットする

本機でデジタル放送を見るためには、B-CASカード（付属）が必要です。B-CASカードはデジタル放送受信契約のための受信者IDカードです。デジタル放送、放送局からのお知らせの受信などに必要です。B-CASカードはデジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のため常に本体に差し込んでおくことをおすすめします。

B-CAS カードを挿入口に差し込む

①
B-CAS
カードの矢印の向きが差し込む方向です。

②
裏面が上になるようにひっくり返します。
（「B-CAS」と書かれている面を下にしてください。）

③

B-CASカードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機をご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行なってください。

B-CASカードについて

付属のB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。

- B-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- B-CASカードについてのお問い合わせ（2010年2月現在）
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
  TEL 0570-000-250（IP電話からの場合は 045-680-2868）
  受付時間 10：00～20：00（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

●●● お知らせ ●●●

- 本機専用のB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 表向きや逆方向に入れないでください。入れる方向を間違うと、B-CASカードは機能しません。
- 付属のB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS「（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

アンテナとテレビを本機につなぐ

<本機とアンテナをつなぐ>
同軸ケーブルの接続をしないと、テレビ放送の視聴・録画はできません。
壁にアンテナ端子がある場合は、テレビに接続している同軸ケーブルを取りはずし、アンテナ端子と本機を付属の同軸ケーブルでつなぎます。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（一部取り換えや調整が必要な場合があります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがありますので詳しくは販売店にご相談ください。）
- 地上デジタル放送をCATVパススルーで受信する場合も、UHFアンテナと同じ接続をします。CATVによる地上デジタル放送の受信については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- CATVパススルーとは：地上デジタル放送をCATV局経由で再送信することです。CATV局において、元の放送電波とおなじ周波数を使って再送信する場合と、元の放送電波とは異なる周波数を使って再送信する場合があります。なお、トランスモジュレーション方式（アナログ放送などに変換する方式）には対応しておりません。

<本機とテレビをつなぐ>
接続を始める前に
■ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
■ 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■ 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

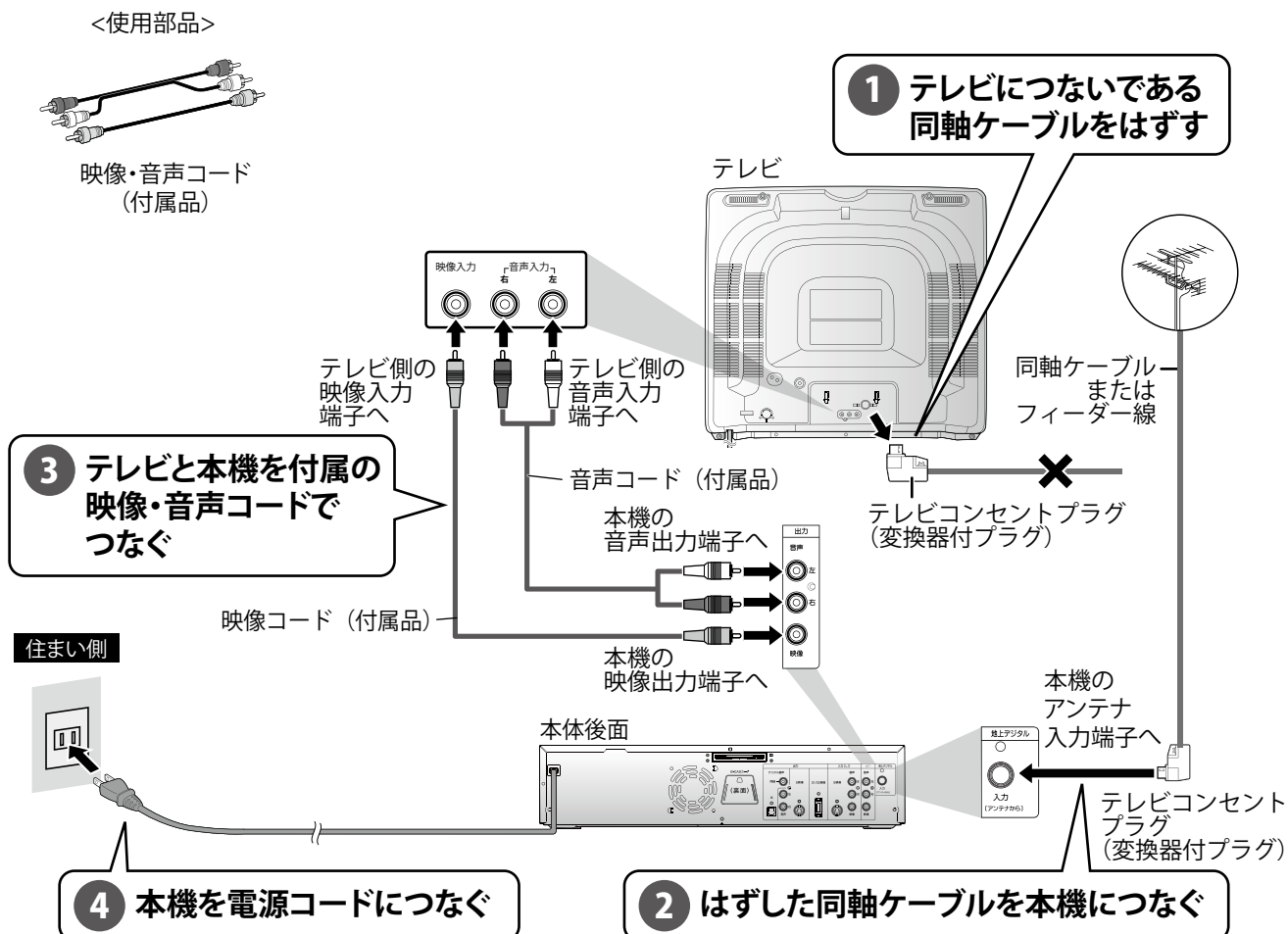
入力が2系統あるテレビをお持ちの場合、基本接続（付属品の映像・音声コードの接続）をしたうえで、S映像端子接続またはD映像端子接続をすると、より鮮明なDVD映像をお楽しみいただけます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 本機の映像を見るときは、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換えてください。
- ワイドテレビ（16:9）に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡120ページ]

本機を使用して地上デジタル放送を視聴・録画する場合の接続方法（基本接続）

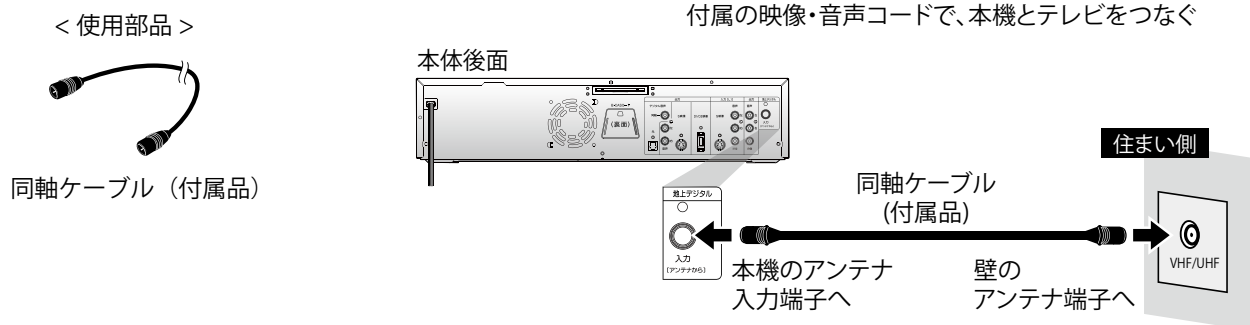
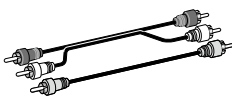
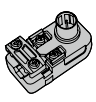
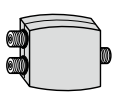
- B-CASカードを本体にセットしたら、アンテナとテレビを本機につなぎます。
- テレビ側は常に外部入力（ビデオ1）にして、チャンネル切換は本機での操作となります。

※ 本機は地上アナログチューナーを内蔵していないため、地上アナログ放送は視聴・録画できません。

アンテナとテレビを本機につなぐ（つづき）

■ 壁にアンテナ端子がある場合は、付属の同軸ケーブルを使用します。

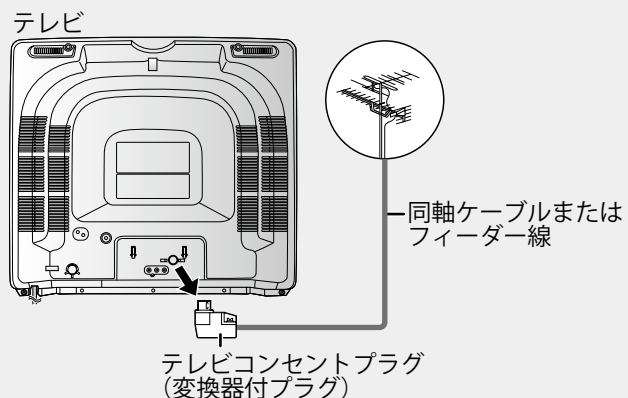
< 使用部品 >

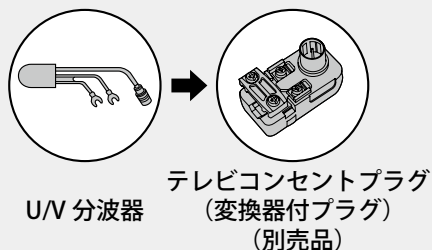
同軸ケーブル（付属品）

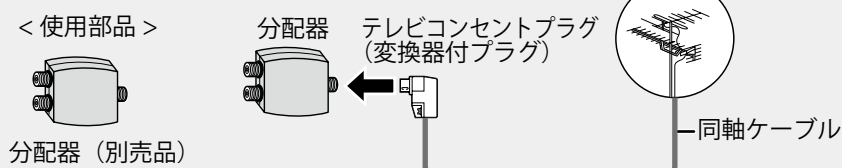
付属の映像・音声コードで、本機とテレビをつなぐ

本機を使用して地上デジタル放送を視聴・録画するだけではなく、テレビに内蔵されているチューナーでも放送を視聴したい場合の接続方法

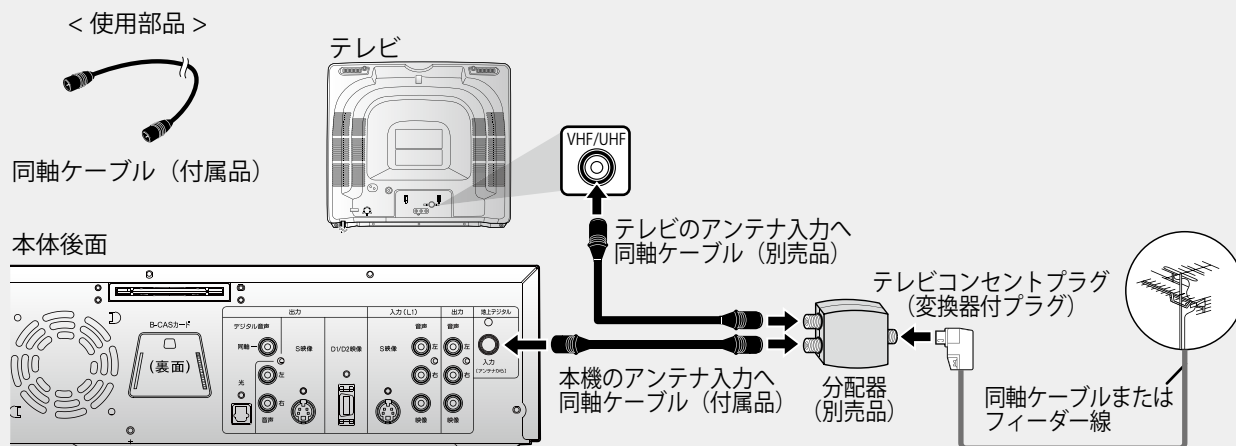
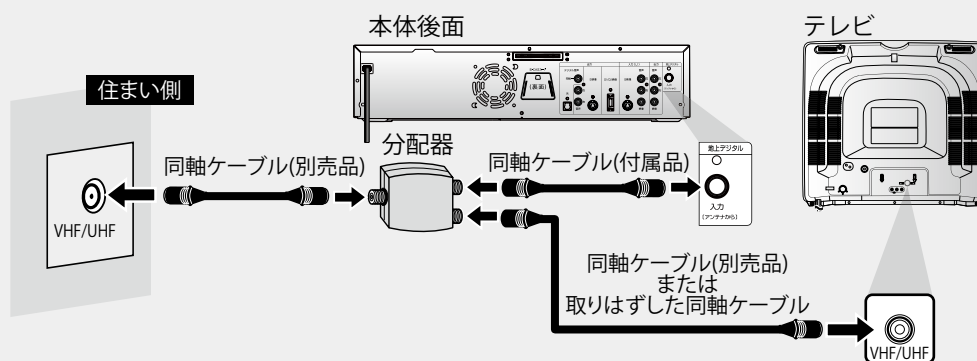
※地上アナログチューナー内蔵のテレビで、分配器などを使用してアンテナとテレビを直接接続した場合、地上アナログ放送期間中は地上アナログ放送の視聴ができます。
<2011年7月24日までに地上アナログ放送は終了します。>

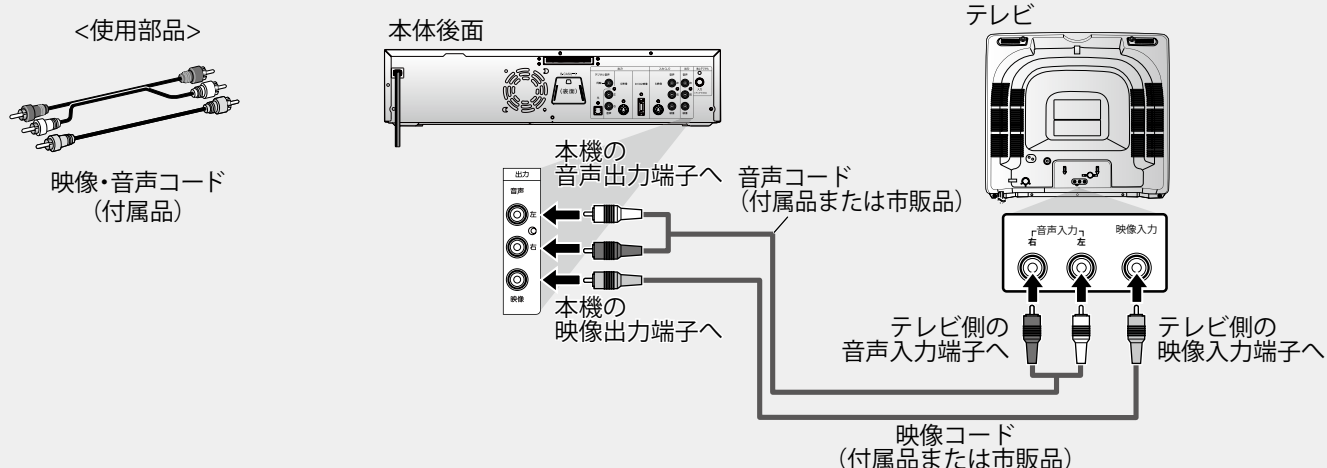
接続に使う部品（必要に応じて市販品または付属品、別売品をお使いください）			
同軸ケーブル（付属品）（別売品）	映像・音声コード（付属品）（市販品）	テレビコンセントプラグ（変換器付プラグ）（別売品）	分配器（別売品）

1 テレビにつないである同軸ケーブルをはずす

- 本機にはアンテナ出力端子がありません。
- テレビコンセントプラグ（変換器付プラグ）（別売品）ではなくU/V分波器がついているときは、U/V分波器を取りはずし、テレビコンセントプラグ（変換器付プラグ）（別売品）を取り付けてください。

U/V 分波器　　テレビコンセントプラグ（変換器付プラグ）（別売品）

2 はずした同軸ケーブルを分配器（別売品）につなぐ

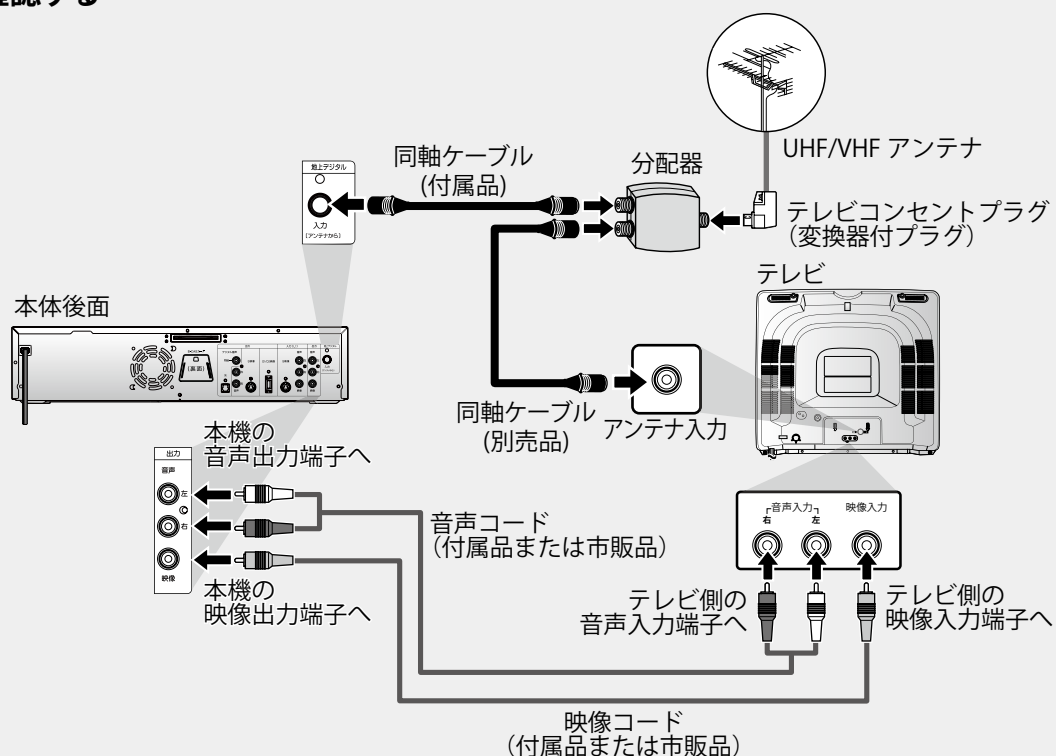
< 使用部品 >

アンテナとテレビを本機につなぐ（つづき）

3 **分配した同軸ケーブルを本機のアンテナ入力端子とテレビのアンテナ入力端子につなぐ。分配器と本機を付属の同軸ケーブルでつなぐ。**

A 住まい側にVHF/UHF混合アンテナが付いている場合

B 住まい側（またはお使いのテレビ）にVHFとUHFアンテナ端子の両方が付いている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

4 **テレビと本機を付属の映像・音声コードでつなぐ**

- テレビの音声入力端子がモノラルのときは音声出力端子（左）をご使用ください。

アンテナとテレビを本機につなぐ（つづき）

5 **接続を確認する**

UHF/VHF アンテナ
同軸ケーブル
（付属品）
分配器
テレビコンセントプラグ
（変換器付プラグ）
テレビ
本体後面
同軸ケーブル
（別売品）
アンテナ入力
本機の
音声出力端子へ
音声コード
（付属品または市販品）
本機の
映像出力端子へ
テレビ側の
音声入力端子へ
テレビ側の
映像入力端子へ
映像コード
（付属品または市販品）

● ● ● お知らせ ● ● ●

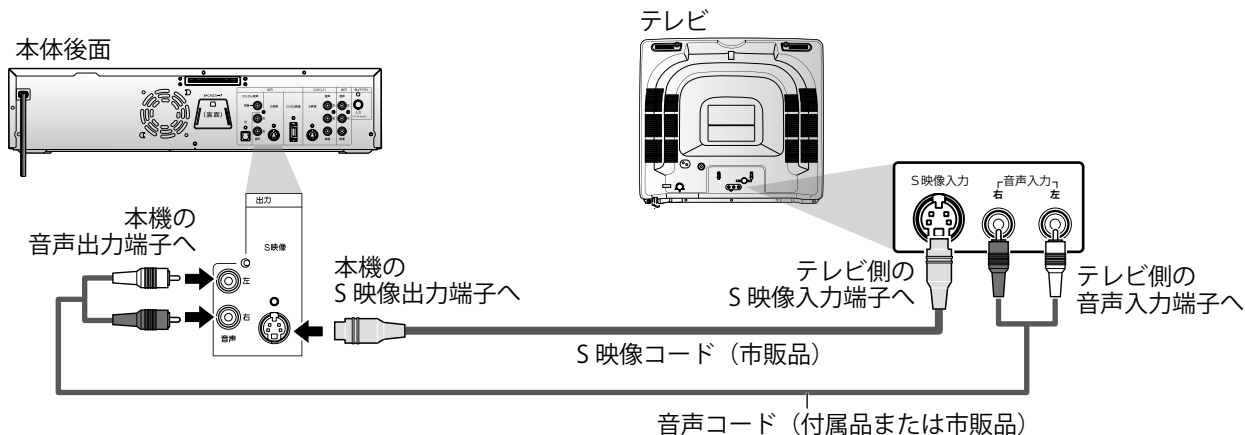
アンテナ接続について…

- デジタル対応の同軸ケーブルでの接続を推奨します。
- 電波が弱い地域の場合、「ブースター（別売品）」をご使用いただくことにより、電波の強さを全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

接続する

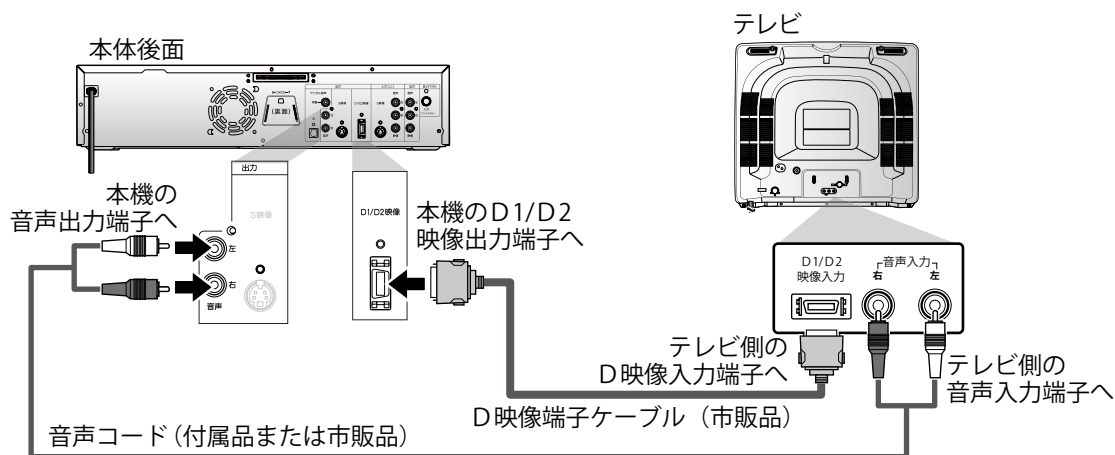
S映像入力端子/D映像入力端子付きテレビに本機を接続する場合

S映像入力端子付きテレビに本機を接続する場合

この接続はDVD/ビデオをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 本機のS映像出力端子にS映像コードを接続した場合、ビデオ操作モードではビデオテープの再生映像のみ出力します。また、DVD側で録画している場合は、ビデオテープの再生映像は出力されません。

D映像入力端子付きテレビに本機を接続する場合

この接続はDVD/ビデオをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD映像端子ケーブルを使用して接続します。

※ 接続するテレビがプログレッシブ対応テレビの場合のみ、本機の“プログレッシブ出力”を“入”にしてください。
プログレッシブ対応でないテレビの場合は、本機の“プログレッシブ出力”は必ず“切”にしてください。
（“セットアップ”－“基本設定”－“映像設定”で“プログレッシブ出力”の設定を“切”にしてください。）

“プログレッシブ出力”の設定（お買い上げ時は“切”）

- 接続するテレビに合わせてプログレッシブ出力を正しく設定してください。
  プログレッシブスキャン方式（480p）対応テレビに本機のD1/D2映像出力端子を使って接続している場合のみ、“セットアップ”－“基本設定”－“映像設定”で“プログレッシブ出力”の設定を“入”にしてください。[➡123ページ] このとき、テレビをプログレッシブモードに設定してください。
  通常のテレビ（プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ）をお使いの場合や、プログレッシブスキャン方式対応テレビに本機のD1/D2映像出力端子を使わずに接続している場合は、“プログレッシブ出力”の設定を“切”にしてください。
  ※ テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターをご使用ください。

プログレッシブスキャン方式とは

※ プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

接続する（つづき）

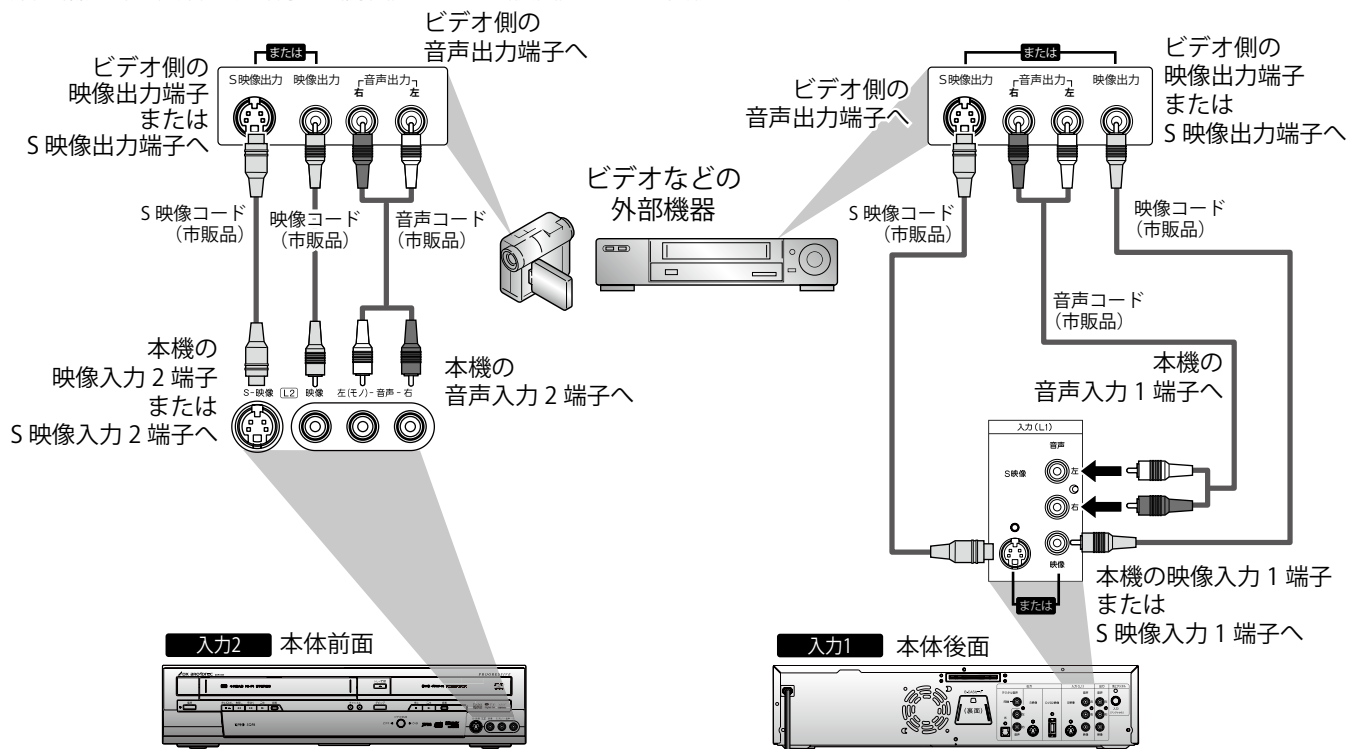
コンポーネント映像入力端子（D映像端子）とは

- コンポーネント映像入力端子（D映像端子）を備えたテレビやモニターとD映像端子ケーブル（市販品）を使って接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
  D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D映像端子ケーブル（市販品）を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
  コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。
  詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

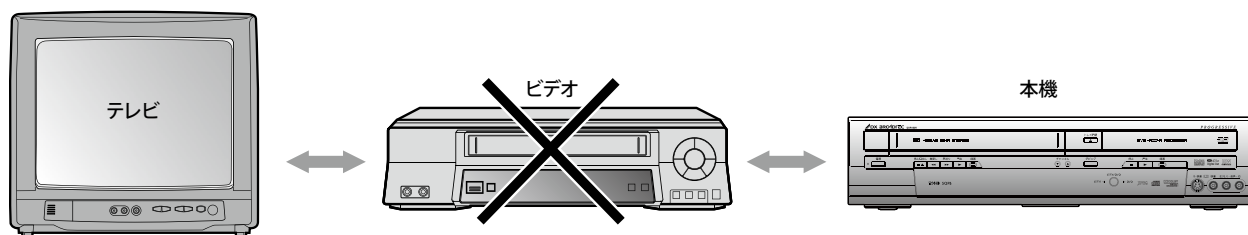
●●● お知らせ ●●●

- 本機のD1/D2映像出力端子にD映像端子ケーブルを接続した場合、ビデオ操作モードではビデオテープの再生映像のみ出力します。また、DVD側で録画している場合は、ビデオテープの再生映像は出力されません。
- テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY、CB/PB、CR/PRのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグx3）をご使用ください。
- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント（Y、PB、PR）映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。（映像は映りません。）

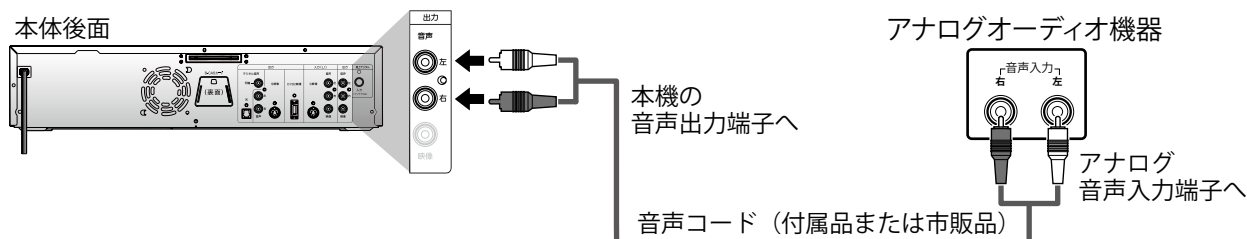
外部機器（ビデオなど）との接続

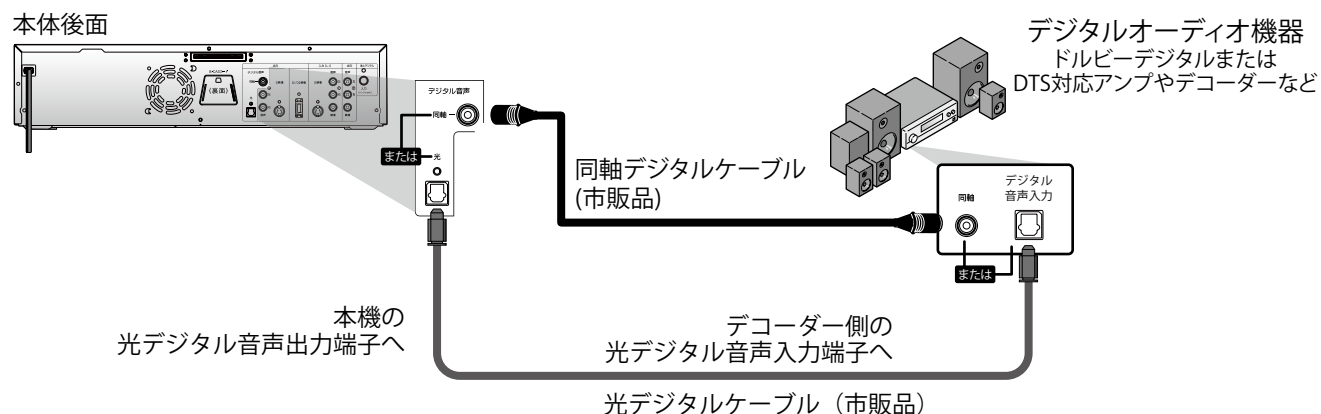
外部機器を本機外部入力端子L2（前面）またはL1（後面）へ適切に接続してください。

- S映像コードを使用して外部機器を接続したときは、119ページの"映像入力設定"で"S映像入力"を設定してください。お買い上げ時は"映像入力"に設定されているため、S映像入力された映像は録画（ダビング）されません。

●●● お知らせ ●●●

- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビ経由でテレビに接続し、録画したディスクやテープを本機で再生するとコピーガード機能により、正常な再生画像にならない場合があります。

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

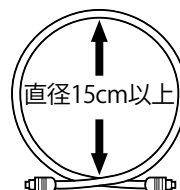
アナログオーディオ機器との接続

アナログオーディオ機器との接続には、音声コード（付属品または市販品）をご利用ください。

デジタル入力端子付きアンプやドルビーデジタルまたはDTS対応デコーダー付きアンプとの接続

デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。また、ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドモードのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声をお楽しみいただけます。

光デジタル音声出力端子について

- 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
- ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものをご使用ください。
- プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ドルビーデジタルまたはDTS®に対応していないアンプやデコーダーに接続する場合には、“セットアップ”－“基本設定”－“再生設定”－“音声設定”の“Dolby Digital”を“PCM”に、“DTS”を“切”にしてください。（お買い上げ時は“Dolby Digital”は“ストリーム”、“DTS”は“切”）正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみスピーカーが壊れることがあります。[➡121、122ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、“セットアップ”－“基本設定”－“再生設定”－“音声設定”の“Dolby Digital”を“ストリーム”にしてください。[➡121、122ページ]
- DTS®対応のアンプやデコーダーに接続する場合には、“音声設定”の“DTS”を“入”にしてください。[➡121、122ページ]

お買い上げ後の初期設定について

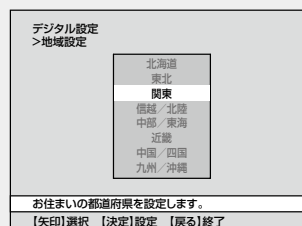
本機をお買い上げいただいて最初に電源を入れたとき、画面にチャンネル設定を選ぶ初期設定画面が表示されます。お住まいの地域の設定をしてから、自動チャンネル設定を行ないます。

地上デジタル放送の受信設定

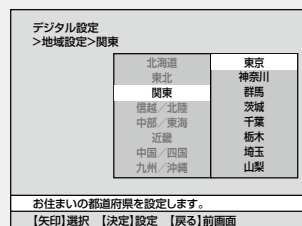
1 電源 **を押し、本機の電源を入れる**

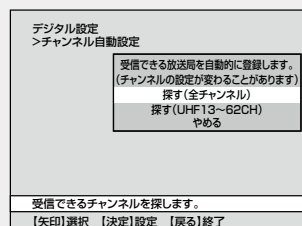
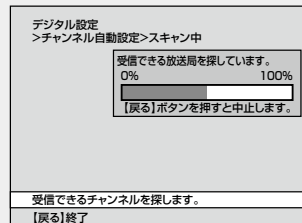
次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力(ビデオ1など)に切り換える

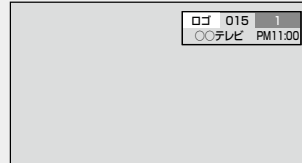
"初期設定"画面が表示されます。

2 **▲/▼で地域を選び、決定を押す**

[決定]ボタンを押すと、選択した地域の都府県または支庁の一覧が表示されます。

3 **▲/▼で都府県(または支庁)を選び、決定を押す**

"チャンネル自動設定"画面が表示されます。

4 **▲/▼で"探す(全チャンネル)"を選び、決定を押す**

通常は、"探す(全チャンネル)"を選択します。

受信できる放送局を自動的に検索します。

チャンネルのスキャンが完了したあと、受信した放送局の最初のチャンネルが表示されます。

ロゴ 015 1
○○テレビ PM11:00

●●● お知らせ ●●●

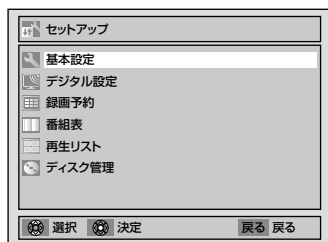
- 受信できる放送局が検索されなかった場合、"受信できる放送局が見つかりませんでした。"と表示されます。
  アンテナとテレビを本機につなぐ[➡24~27ページ]をご参照になり、アンテナの接続をご確認後、**[戻る↩]**ボタンを押して、再度チャンネル自動設定を行なってください。
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合、"セットアップ"—"デジタル設定"—"チャンネル追加設定"を行なって、受信放送局を追加する必要があります。
- チャンネルのスキャン中にディスクトレイを開閉すると、スキャンがキャンセルされます。

機能設定メニューとディスプレイメニュー画面について

設定メニュー画面

本機の操作（機能設定など）は、以下の設定画面から行ないます。画面表示で本機の主な機能の設定やディスクの編集、CD再生メニューの選択などを変更することができます。また、ディスクの状態を確認するためにディスク情報を見ることができます。

■ 設定画面について

[セットアップ]ボタンを押し、"セットアップ"画面を表示します。

〈**表示例**〉"基本設定"画面

カーソルボタン[▲/▼]で各メニュー内の項目へ移動し、**[決定]**ボタンまたは**カーソルボタン[▶]**でそれぞれのメニューを表示します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVDビデオやファイナライズされたビデオモードのDVD-RW/-Rディスクが挿入された状態で電源を入れ、設定画面を表示中にディスクの読み込みが完了すると、自動再生が始まり設定画面がキャンセルされる場合があります。設定画面に戻すには、**[停止 ■]**ボタンを押して、ディスクを停止状態にしてから再度**[セットアップ]**ボタンを押してください。
- "セットアップ"画面で各設定を行なっているときにディスクトレイを開閉すると、"セットアップ"画面が終了します。

■ ディスク編集/CD再生メニュー画面について

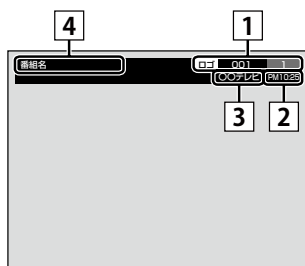
DVD-RW/-Rディスクの場合は、"セットアップ"画面の最下段に"ディスク管理"と表示され、ディスク編集ができます。（"ディスク管理"画面は、挿入されているディスク（DVD-RW/-R（ビデオモードまたはVRモード））によって表示される項目が変わります。）
音楽用CDやJPEGディスクの場合、最下段に"CD再生"と表示され、ランダム再生やプログラム再生ができます。
DVDビデオディスク（市販品）の場合は"ディスク管理"を選択できません。また、ファイナライズされたDVD-Rディスクでも"ディスク管理"は選択できません。

機能設定メニューとディスプレイメニュー画面について（つづき）

ディスプレイメニュー画面

[表示]ボタンを押すと現在受信しているチャンネルに関する情報およびディスクに関する情報と設定可能なマークがテレビ画面に表示されます。

〈表示例〉

・地上デジタル放送視聴中の場合

1 **放送局のロゴ、3 桁チャンネル番号、チャンネル番号（リモコンボタンのチャンネル）を表示します。**

2 **現在時刻を表示します。**

3 **放送局名を表示します。**

4 **番組名を表示します。**

・ディスクが入っている場合、またはディスクが停止中/再生中の場合

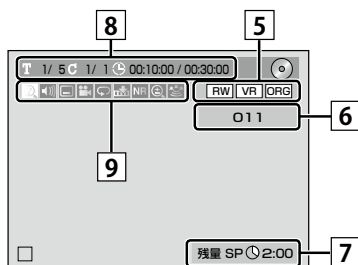
（停止中）

8　5

T 1/ 1 C 1/ 1 00:10:00 / 00:30:00

RW VR ORG

9

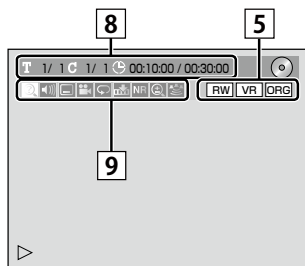
（再生中）

5 **ディスクの種類と録画方式を表示します。**※

6 **停止時に現在のチャンネル番号を表示します。**

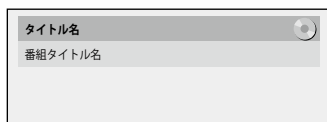
7 **録画モードとディスクの残量時間を表示します。**※

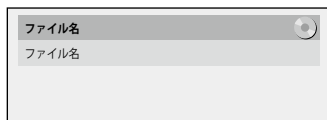
8 **タイトル番号、チャプター番号、ディスク再生の経過時間を表示します。**※

9 **各マークの意味：**※

- **：サーチ**
- **：音声**
- **：字幕**
- **：アングル**
  （VRモードでは表示されません。）
- **：繰り返し（リピート）**
- **：マーカー**
- **NR：ノイズリダクション/黒レベル**
- **：ズーム**
- **：バーチャル3D**

※ディスクが入っていない場合は、**[表示]**ボタンを押しても表示しません。

タイトル/ファイル名の表示

タイトル名
〈タイトルが記録されたディスクを入れた場合〉

- DVDディスクの再生中に**[表示]**ボタンを 2 回押すと、ディスクに記録されたタイトルのタイトル名がテレビ画面に表示されます。

ファイル名
〈JPEGディスクを入れた場合〉

- JPEGディスクの再生中に**[表示]**ボタンを 2 回押すと、再生中のファイルのファイル名がテレビ画面に表示されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- タイトル名は、録画中に**[表示]**ボタンを2回押しても表示されます。

時刻を設定する

時計合わせ

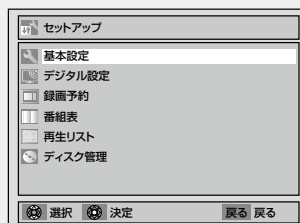
時刻が自動的に設定されなかった場合にのみ、設定が必要です。
録画予約をする前に時計を設定してください。

1 電源 **を押し、本機の電源を入れる**

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

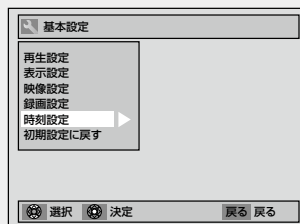
2 セットアップ **を押す**

"セットアップ"画面が表示されます。

3 **▲/▼で"基本設定"を選び、決定 を押す**

"基本設定"画面が表示されます。

4 **▲/▼で"時刻設定"を選び、決定 を押す**

"時計合わせ"画面が表示されます。

- 時刻情報が取得されている場合は、"デジタル放送から時刻情報を取得中のため時刻設定を行なう必要がありません。"とメッセージが表示されます。

5 決定 **を押す**

カーソルが[年]に移動します。

6 **▲/▼で年を合わせ、▶を押す**

- **カーソルボタン[◀/▶]**でほかの設定項目へ移動します。
- 同様の操作で月、日を合わせます。
  曜日は自動入力されます。
- 同様の操作で時刻を合わせます。
  "AM"（午前）または"PM"（午後）を選んだあと、時（0〜11）・分（00〜59）を設定します。
- **[決定]**ボタンを押すと時計のカウントが始まります。

7

を押す

"基本設定"画面に戻ります。

8 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 電源プラグを抜いても約30秒間は現在時刻を記憶しています。30秒以上の停電があった場合や、30秒以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度設定してください。（デジタル放送が受信できる状態であれば、自動で時刻が再設定されます。）
- 本機には2009年〜2059年まで設定可能なカレンダーが内蔵されています。
  （カレンダーは2010年1月1日から表示されます。）
- 時刻設定をしていない状態で録画予約またはサテライト予約を選択すると、自動的に"時計合わせ"画面が表示されます。
- 表示を早く切り換えたいときは、**カーソルボタン[▲/▼]**を押し続けてください。

地上デジタル放送を楽しむ

テレビ番組を見る

1 電源 **を押し、本機の電源を入れる**

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1）などに切り換える

2

チャンネルを選ぶ

本機では２通りのチャンネルの選択方法があります。

❶ リモコンのチャンネル（数字）ボタン[1] ～ [12]で選ぶ
見たい放送局のチャンネル番号を押します。

❷ リモコンの[チャンネル∧/∨]ボタンまたは、本体の[チャンネル▼/▲]ボタンで選ぶ
押すごとにチャンネルが変わります。

- 本機の入力切換が外部入力(L1、L2)の場合は、先に**[入力切換]**ボタンでデジタルチャンネルに切り換えたあと、操作を行なってください。

お知らせ

- 地上デジタル放送では、ひとつの放送局が複数の番組を同時に放送することがあります。**[1]**～**[12]**ボタンでは選択できないチャンネルがありますので、このような場合には、**[チャンネル∧/∨]**ボタンでチャンネルを選択してください。
- 本機は、BSデジタル放送、110°CS デジタル放送には対応しておりません。
本機は、地上アナログチューナーは内蔵しておりません。
- 本機は、データ放送や双方向通信には対応していません。

地上デジタル放送を楽しむ　（つづき）

便利な機能

■ 番組表(EPG)を表示する

番組表(EPG)は、新聞のテレビ欄のような番組一覧を表示する機能です。
本機の番組表(EPG)では、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。電源プラグをコンセントに接続した直後などで、番組表データが取得できていないときは、“データ取得中です。しばらく待って操作してください”と表示されます。このような場合は、1分ほど待って操作をやり直してください。

1

放送視聴中に [番組表] を押す

現在の時刻から3時間先までの番組が表示されます。

2

▲/▼/◀/▶で番組を選ぶ

当日を含む3日分の番組情報をみることができます。

- 番組を選び、**[決定]**ボタンを押すと録画予約を行なうことができ、“録画予約”画面に切り換わります。
- **[スキップ/頭出し ▶▶|]**ボタンを押すと翌日の番組表が、**[スキップ/頭出し |◀◀]**ボタンを押すと前日の番組表が表示されます。[▶▶]ボタンを押すと4時間後の番組表が、[◀◀]ボタンを押すと4時間前の番組表が表示されます。(過去の番組表は表示されません。)
- 番組を選び、**[番組詳細]**ボタンを押すと番組詳細が表示されます。

3

[番組表] を押す

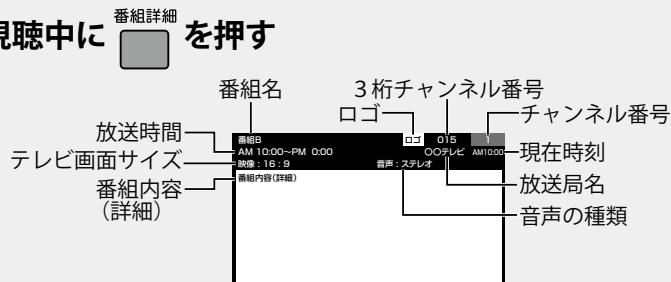
通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- “セットアップ”の“番組表”からも番組表を表示することができます。
- 受信状態によっては、番組表データを取得できない場合があります。その場合は、選んだ番組名の欄に“データがありません”と表示されます。
- 地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルの番組内容のみが更新されます。
- “セットアップ”—“デジタル設定”—“番組表取得設定”で、“取得する”を設定すれば、本機の電源が電源切(待機)状態中に、番組表データが更新されます。番組表データ更新中は本体の表示管に“data“と表示されます。
- 電源プラグをコンセントから抜くと、取得した番組表データが消去される場合があります。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

■ 番組詳細表示

地上デジタル放送の番組データを利用し、視聴中の番組名や内容、放送時間、映像信号、音声の種類などの情報を表示することができます。

1 **放送視聴中に 番組詳細 を押す**

番組詳細表示は約15秒後に自動的に消えます。

2 **番組詳細 を押す**

通常画面に戻ります。

地上デジタル放送を楽しむ　（つづき）

地上デジタル放送の地域別チャンネル設定一覧

◆ お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や建物、放送電波が弱い場合や、地上デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合などで、地上デジタル放送の放送が映らない、または映像が不安定な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

地域名	ボタン	放送局名
北海道(札幌)	3	NHK総合・札幌
	2	NHK教育・札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道(函館)	3	NHK総合・函館
	2	NHK教育・函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道(旭川)	3	NHK総合・旭川
	2	NHK教育・旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道(帯広)	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道(釧路)	3	NHK総合・釧路
	2	NHK教育・釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道(北見)	3	NHK総合・北見
	2	NHK教育・北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道(室蘭)	3	NHK総合・室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
宮城	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビュー山形
	8	さくらんぼテレビ
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビュー福島
青森	3	NHK総合・青森
	2	NHK教育・青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送

地域名	ボタン	放送局名
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ

地域名	ボタン	放送局名
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
富山	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
愛知	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
三重	3	NHK総合・津
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
岐阜	3	NHK総合・岐阜
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	7	テレビ大阪
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	KBS京都
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	サンテレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	テレビ和歌山
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	9	奈良テレビ
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	BBCびわ湖放送
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS

地域名	ボタン	放送局名
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
島根	3	NHK総合・松江
	2	NHK教育・松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
鳥取	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
徳島	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・徳島
	1	四国放送
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
鹿児島	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

● ● ● お知らせ ● ● ●

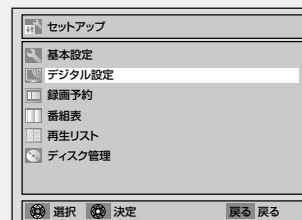
- 放送局の都合により、「放送局名」および「チャンネル番号」が変更になる場合があります。
- 本機で表示する「放送局名」は８文字までしか表示できませんので、放送局によっては途切れる場合があります。

地域設定

お引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、地域設定を行なってください。

1 セットアップ を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

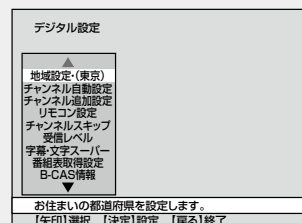
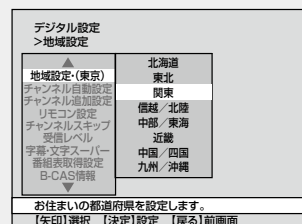
2 ▲/▼で“デジタル設定”を選び、決定 を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“地域設定”を選び、決定 を押す

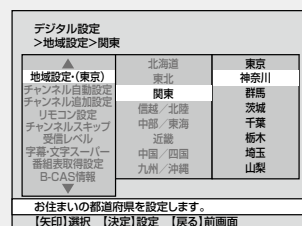
“地域設定”画面が表示されます。

4 ▲/▼で地域を選び、決定 を押す

[決定]ボタンを押すと、選択した地域の都府県または支庁の一覧が表示されます。

デジタル設定 >地域設定
北海道 / 東北 / 関東 / 信越／北陸 / 中部／東海 / 近畿 / 中国／四国 / 九州／沖縄
お住まいの都道府県を設定します。
【矢印】選択 【決定】設定 【戻る】前画面

5 ▲/▼で都府県（または支庁）を選び、決定 を押す

- 地域設定が変更された場合は、引き続き必ず“チャンネル自動設定”[➡40ページ]を行なってください。

デジタル設定 >地域設定>関東
東京 / 神奈川 / 群馬 / 茨城 / 千葉 / 栃木 / 埼玉 / 山梨
お住まいの都道府県を設定します。
【矢印】選択 【決定】設定 【戻る】前画面

6 セットアップ を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 実際と異なる地域を選択した場合、チャンネルが正しく設定されない場合があります。

チャンネル自動設定

お引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、チャンネル自動設定を行なってください。

1

を押す

"セットアップ"画面が表示されます。

2

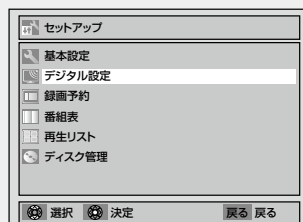
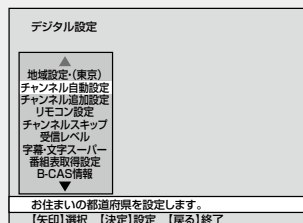
▲/▼で"デジタル設定"を選び、

決定 を押す

"デジタル設定"画面が表示されます。

3

▲/▼で"チャンネル自動設定"を選び、

決定 を押す

"チャンネル自動設定"画面が表示されます。

4

▲/▼で"探す（全チャンネル）"を選び、

を押す

通常は、"探す（全チャンネル）"を選択します。

受信できる放送局を自動的に検索します。

チャンネルのスキャンが完了したあと、"チャンネル設定を更新しますか?"とメッセージが表示されます。

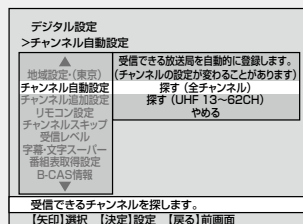
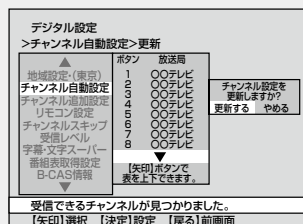
5

更新する場合は、◀/▶で"更新する"を選択して、決定 を押す

- **カーソルボタン[▲/▼]**で見つかった放送局の一覧表が確認できます。見つかった放送局はリモコンのチャンネル（数字）ボタン**[1]**～**[12]**に自動的に割り当てられます。

6

セットアップ

を押す

通常画面に戻ります。

●●● お知らせ ●●●

- 手順 4 で"やめる"を選択すると、チャンネルの検索をせずに"チャンネル自動設定"を終了します。
- 手順 5 で"やめる"を選択すると、自動検索されたチャンネルの設定をせずに"チャンネル自動設定"を終了します。
- 受信できる放送局が検索されなかった場合、"受信できる放送局が見つかりませんでした。"と表示されます。アンテナとテレビを本機につなぐ[➡24~27ページ]をご参照になり、アンテナの接続をご確認ください。

地上デジタル放送を楽しむ　（つづき）

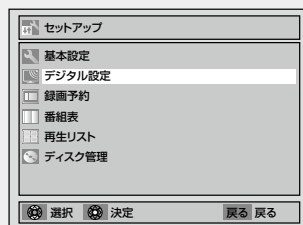
チャンネル追加設定

お住まいの地域で新しく放送が開始された場合は、“チャンネル追加設定”を行なってください。

1 セットアップ を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2 ▲/▼で“デジタル設定”を選び、決定 を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“チャンネル追加設定”を選び、決定 を押す

“チャンネル追加設定”画面が表示されます。

4 ▲/▼で“探す（全チャンネル）”を選び、決定 を押す

通常は、”探す（全チャンネル）”を選択します。

受信できる放送局を自動的に検索します。

チャンネルのスキャンが完了したあと、”チャンネル設定を更新しますか?”とメッセージが表示されます。

5 更新する場合は、◀/▶で“更新する”を選択して、決定 を押す

- **カーソルボタン[▲/▼]**で見つかった放送局の一覧表が確認できます。見つかった放送局はリモコンのチャンネル（数字）ボタン**[1]**～**[12]**に自動的に割り当てられます。

6 セットアップ を押す

通常画面に戻ります。

お知らせ

- 手順 4 で“やめる”を選択すると、チャンネルの検索をせずに“チャンネル追加設定”を終了します。
- 手順 5 で“やめる”を選択すると、自動検索されたチャンネルの設定をせずに“チャンネル追加設定”を終了します。

地上デジタル放送を楽しむ　（つづき）

チャンネルボタンの登録を手動で変更する

リモコンのチャンネル（数字）ボタン**[1]** ～ **[12]**に設定されているチャンネル（放送局）の登録をお好みの設定に変更することができます。

1

セットアップ

 を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“デジタル設定”を選び、 **を押す**

“デジタル設定”画面が表示されます。

3

▲/▼で“リモコン設定”を選び、 **を押す**

“リモコン設定”画面が表示されます。

4

▲/▼で変更したいチャンネル（数字）ボタンの番号を選び、決定 を押す

[決定]ボタンを押すと、放送局の選択画面が表示されます。

5

▲/▼で登録したい放送局を選び、

 を押す

選んだ放送局が指定のチャンネル（数字）ボタンに割り当てられます。

6

手順 4、5 を繰り返し、各放送局をお好みのチャンネル（数字）ボタンに割り当てる

7

セットアップ

設定が完了したら、 **を押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 同じ放送局で複数のチャンネルを放送している場合は、3桁チャンネル番号の一番小さいチャンネルしかチャンネルボタンに登録できません。登録できないチャンネルを視聴するには、本体の**[チャンネル▼/▲]**ボタンまたはリモコンの**[チャンネル**∧/∨**]**ボタンで選択してください。

地上デジタル放送を楽しむ　（つづき）

チャンネルスキップを登録する

チャンネルスキップを登録して、特定のチャンネル（放送局）が視聴できないようにすることができます。

1 セットアップ **を押す**

“セットアップ”画面が表示されます。

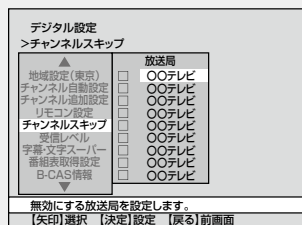
2 **▲/▼で“デジタル設定”を選び、決定を押す**

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 **▲/▼で“チャンネルスキップ”を選び、決定を押す**

“チャンネルスキップ”画面が表示されます。

4 **▲/▼でチャンネルスキップを設定したいチャンネル（放送局）を選び、決定を押す**

- **[決定]**ボタンを押すごとに“設定”と“解除”の切り換えができます。
- チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は、左の□が橙色で表示されます。
- チャンネルスキップを設定すると、そのチャンネル（放送局）を視聴できなくなり、番組表にも表示されません。
- この手順を繰り返して、チャンネルスキップを複数のチャンネル（放送局）に設定することもできます。

5 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- チャンネルスキップを設定、または登録されていないチャンネル（数字）ボタンを操作した場合は、“このボタンはチャンネル登録されていません”という表示が出ます。

  このボタンはチャンネル登録されていません
- **[チャンネル∧/∨]**ボタンを操作した場合も、チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は選局できません。

その他の機能

受信レベルを確認する

各放送局の受信状態の目安（受信の品質）を確認します。（電波の強さを表すものではありません。）

受信レベルを確認する場合は、事前に地域の設定[➡39ページ]、受信チャンネルの設定[➡40、41ページ]をする必要があります。

1 セットアップ を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2 ▲/▼で“デジタル設定”を選び、決定 を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“受信レベル”を選び、 を押す

“受信レベル”画面が表示されます。

4 ▲/▼で確認したい放送局を選び、 を押す

デジタル設定
>受信レベル

地域設定（東京）
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル
字幕・文字スーパー
番組表取得設定
B-CAS情報

表示するチャンネルを選んでください

ボタン	3桁CH		物理CH
1	011	○○テレビ	24
2	021	○○テレビ	13
4	041	○○テレビ	16
6	061	○○テレビ	15
8	081	○○テレビ	17
10	101	○○テレビ	14
7	071	○○テレビ	18

アンテナの受信レベルを表示します。
【矢印】選択　【決定】設定　【戻る】前画面

5 画面に表示される受信レベルを確認する

- 赤色→映像が正常に映りにくい受信レベル（0 ～ 39%）
- 黄色→ほぼ正常に映る受信レベル（40 ～ 59%）
- 緑色→正常に映る受信レベル（60 ～ 100%）

6 受信レベルの確認が終わったら、 を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 表示される“受信レベル”は、アンテナの方向調整などにお使いいただくためのもので、絶対的な電波の強さを示すものではありません。
- 手順 5 において受信レベルが赤色で表示され、画面にモザイク（四角いノイズ）が出る場合や、“受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください”と表示される場合は、アンテナの方向やアンテナケーブルの状態を確認してください。受信レベルが上がらない場合は、販売店などにご相談ください。

字幕・文字スーパーを表示する

字幕放送の視聴中や文字スーパー受信時の表示の設定をします。
それぞれの設定では、表示される字幕や文字スーパーの言語を選択することができます。

■ メニュー操作で切り換える場合

1

セットアップ ボタン **を押す**

"セットアップ"画面が表示されます。

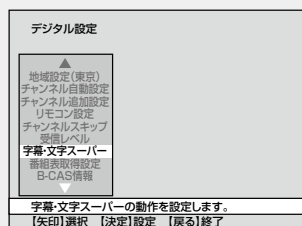
2

▲/▼で"デジタル設定"を選び、決定 を押す

"デジタル設定"画面が表示されます。

3

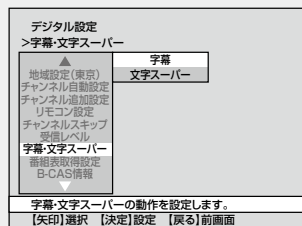
▲/▼で"字幕・文字スーパー"を選び、

"字幕・文字スーパー"画面が表示されます。

4

▲/▼で"字幕"または"文字スーパー"を選び、決定 を押す

5

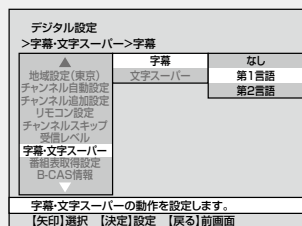
▲/▼で設定したい項目を選び、

デジタル設定
>字幕・文字スーパー>字幕
地域設定（東京）
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル
字幕・文字スーパー
番組表取得設定
B-CAS情報
字幕
文字スーパー
なし
第1言語
第2言語
字幕・文字スーパーの動作を設定します。
【矢印】選択　【決定】設定　【戻る】前画面

字幕：

なし　：字幕の表示なし
　（お買い上げ時の設定）
第1言語　：日本語
第2言語　：英語など

文字スーパー：

なし　：文字スーパーの表示なし
第1言語　：日本語（お買い上げ時の設定）
第2言語　：英語など

6

セットアップ

を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

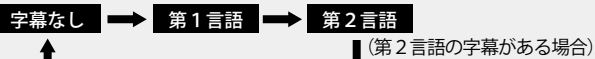
- ニュース速報などの情報が、文字スーパーとして受信されることがあります。
- 緊急警報情報などのように、強制的に表示するよう指定された文字スーパーを受信した場合は、文字スーパーを"なし"に設定していても、強制的に表示します。

その他の機能　（つづき）

■ 字幕ボタンで切り換える場合

放送視聴中に［字幕］を押す

字幕放送に対応した番組を視聴中は、**[字幕]**ボタンを押すたびに、

字幕なし → 第１言語 → 第２言語（第２言語の字幕がある場合）

のように切り換わります。
番組によっては、第２言語の字幕がない場合もあります。

- 字幕放送に対応していない番組を視聴中に**[字幕]**ボタンを押した場合は“字幕なし”から切り換わりません。

番組表の取得を設定する

1 ［セットアップ］を押す

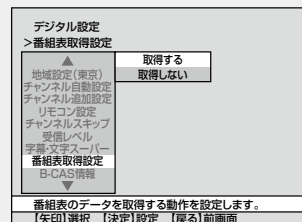
“セットアップ”画面が表示されます。

2 ▲/▼で“デジタル設定”を選び、［決定］を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“番組表取得設定”を選び、［決定］を押す

“番組表取得設定”画面が表示されます。

4 ▲/▼で“取得する”を選び、［決定］を押す

5 ［セットアップ］を押す

通常画面に戻ります。

●　●　●お知らせ●　●　●

- 番組表取得設定で“取得しない”を設定した場合、電源「切」時の待機状態での番組表データの更新を行ないません。

その他の機能　（つづき）

放送メールを確認する

放送局などから、視聴者にお伝えする情報などが“放送メール”として送信される場合があります。また、ソフトウェアのダウンロード[➡47ページ]が完了した場合も、ダウンロードが完了したことを“放送メール”としてお伝えします。

1 セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2 **▲/▼で“デジタル設定”を選び、** **を押す**

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 **▲/▼で“放送メール”を選び、決定 を押す**

“放送メール”画面が表示されます。

4 **▲/▼で確認したいメールを選び、**

を押す

5 **メールの内容を確認し、戻る を押す**

6 **手順 4、5 を繰り返し、確認したいメールを選び、情報を見る**

7 **セットアップ を押す**

通常画面に戻ります。

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロード機能とは、本機の地上デジタル放送に関係するソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行なうためのものです。
本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応しておりますので、操作や設定を行なうことなく常に最新版で更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 本機が自動でダウンロードの実施を判断します

- アップデートが必要であることを判断した場合、電源「入」時(地上デジタル視聴中)にテレビ画面に

  ソフトウェアのアップデートが実施されます
  xxxx年xx月xx日AM (PM) xx:xxの前後30分は待機状態にしてください

  というメッセージを表示します。
- 表示された時間帯には、電源「切」(待機) 状態にしておいてください。
- ダウンロード実行中は表示管に“data”と表示されます。故障の原因となりますので、“data”表示中は電源プラグを抜かないでください。

■ ダウンロードが正常に終了すると

- “放送メール”にダウンロード完了のお知らせが届きます。
- メニューの“放送メール”を選択して確認することができます。
  （放送メールを確認する[➡47ページ]）

■ ソフトウェアのバージョンを確認するには

- メニューの“バージョン情報”を選択して確認します。
  （バージョン情報を確認する[➡48ページ]）

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 放送メールは最大 7 通まで保存され、以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。
- 放送メールは手動で削除することはできません。
- ソフトウェアアップデート実施時間帯に、電源「入」状態　または　予約録画中の場合はアップデートは行なわれません。

その他の機能　（つづき）

各種情報を確認する

■ B-CAS番号を確認する

1

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“デジタル設定”を選び、

を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3

▲/▼で“B-CAS情報”を選び、

を押す

“B-CAS情報”表示画面が表示されます。

4

を押す

通常画面に戻ります。

■ バージョン情報を確認する
＜本機の地上デジタル放送に関係するソフトウェア情報＞

1

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“デジタル設定”を選び、

を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3

▲/▼で“バージョン情報”を選び、

を押す

“バージョン情報表示”画面が表示されます。

4

を押す

通常画面に戻ります。

B-CASカードのテストを行なう

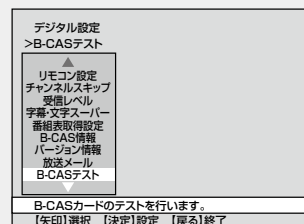
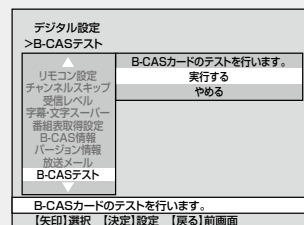
1 セットアップ ボタンを押す

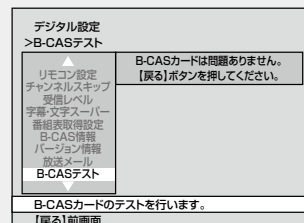
“セットアップ”画面が表示されます。

2 ▲/▼で“デジタル設定”を選び、決定を押す

“デジタル設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“B-CASテスト”を選び、決定を押す

“B-CASテスト”画面が表示されます。

4 ▲/▼で“実行する”を選び、決定を押す

5 カードに問題がない場合は、戻るを押す

- カードに問題がある場合は、メニューを終了して電源プラグをコンセントから抜いてください。B-CASカードをセットする[➡23ページ]を参照になり、B-CASカードが奥まで確実に差し込まれているか、カードが正しい方向で差し込まれているかを確認してください。

6 テスト結果を確認し、セットアップを押す

通常画面に戻ります。

お知らせ

- 手順 4 で“やめる”を選択すると、テストを実行せずに“B-CASテスト”を終了します。

ディスクのフォーマット

未使用ディスクのフォーマット

DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード

本機では、未使用のディスクを挿入すると、フォーマット選択画面が表示され、フォーマットの選択ができます。デジタル放送を録画する場合は、VRモード（CPRM対応ディスク）でフォーマットしてください。
未使用のディスクを挿入したときは、以下の操作を行なってください。

1 電源 **を押し、本機の電源を入れる**

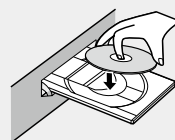
次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本機のDVD操作用ランプを点灯させます。

2 トレイ開閉/取出し **でディスクトレイを開ける**

ディスクトレイが開きます。

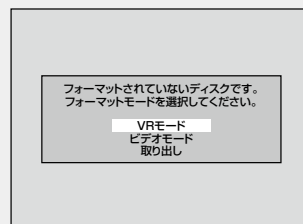
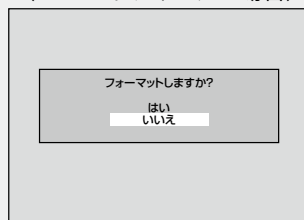
3 **録画できるディスクをトレイにのせる**

ディスクの印刷されている面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4 トレイ開閉/取出し **でディスクトレイを閉じる**

本機がディスク情報を確認します。

この操作はディスクを認識するのに時間がかかる場合があります。

5 **▲/▼でモードを選び、** **を押す**

確認画面が表示されます。

〈VRモードディスクの場合〉

〈ビデオモードディスクの場合〉

6 **▲/▼で"はい"を選び、** **を押す**

フォーマットが始まります。

7 **フォーマットが完了する**

フォーマットが完了すると画面上にディスクの種類とモードが表示されます。

- ディスクを取り出すときは、[**トレイ開閉/取出し ▲**]ボタンを押してください。
また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- すでにタイトルを記録したディスクに追加録画する場合は、そのタイトルと同じ録画モードで録画されます。1枚のディスクにVRモードのタイトルとビデオモードのタイトルを混在させることはできません。
- 本機の電源「入」のときに電源コード抜き差しまたは停電によって電源が切れると、前回正常に電源を切ったときの録画モードを記憶しています。
- 未使用のDVD-RAMディスクやDVD+RW/+Rディスクを挿入すると、エラーメッセージ（"非対応ディスク"）が表示されます。本機はDVD-RAMディスクやDVD+RW/+Rディスクへの録画には対応していません。
- DVD-Rディスクの場合は、未使用ディスクに限り、ビデオモードにフォーマットしたあとであっても、未記録状態であれば、VRモードにフォーマットしなおすことができます。
- VRモード（CPRM対応）では地上デジタル放送を録画できますが、ビデオモードでは地上デジタル放送は録画できません。
- 手順 5 の〈VRモードディスクの場合〉の確認画面で、"デジタル放送を録画するにはCPRM対応のディスクをご使用ください。"とメッセージが表示された場合はCPRM非対応ディスクが挿入されていますので、デジタル放送を録画する場合はCPRM対応ディスクをご使用ください。

ディスクのフォーマット （つづき）

DVD-RWディスクの再フォーマット

DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード

DVD-RWディスクの場合は、“フォーマット”でディスクフォーマットしなおすことができます。“フォーマット”でディスクのフォーマットを行なうと、記録されているすべての内容が消去されます。
DVD-Rディスクの場合は、ビデオモードにフォーマットしたあとであっても、未記録状態であれば、VRモードにフォーマットしなおすことができます。[➡50ページ]

1 セットアップ を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2 ▲/▼で“ディスク管理”を選び、決定 を押す

“ディスク管理”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“フォーマット”を選び、決定 を押す

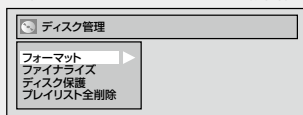
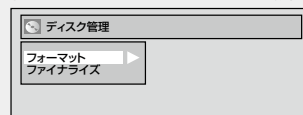
“フォーマット”選択画面が表示されます。

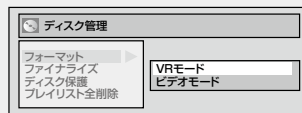
- ディスクに録画されたタイトルがないときは、“ファイナライズ”、“ディスク保護”、“プレイリスト全削除”は選択できません。

〈VRモードディスクの場合〉

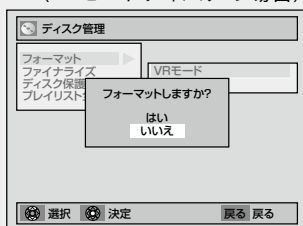
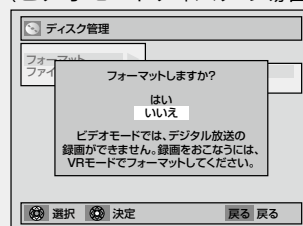
ディスク管理
フォーマット
ファイナライズ
ディスク保護
プレイリスト全削除

〈ビデオモードディスクの場合〉

ディスク管理
フォーマット
ファイナライズ

4 ▲/▼で“VRモード”または“ビデオモード”を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

5 ▲/▼で“はい”を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

〈VRモードディスクの場合〉

〈ビデオモードディスクの場合〉

- デジタル放送を録画する場合は、VRモード(CPRM対応ディスク)でフォーマットしてください。ビデオモードでフォーマットするとデジタル放送の録画ができません。

ディスクのフォーマット　（つづき）

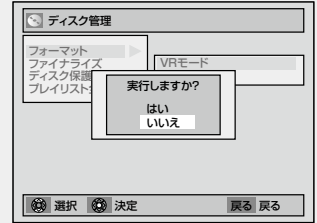
6

▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

フォーマットが始まります。

この操作は時間がかかる場合があります。

〈VRモードディスクの場合〉

ディスク管理
フォーマット
ファイナライズ
ディスク保護
プレイリスト
VRモード
実行しますか?
はい
いいえ
選択　決定　戻る 戻る

7

フォーマットが完了する

● ● ● お知らせ ● ● ●

- フォーマットのみを行なったディスクは、本機以外のDVDビデオレコーダーではそのまま使用することはできません。ほかのDVDレコーダーで使用するときは、そのレコーダーでディスクのフォーマットを再度行なってください。
- VRモードで録画した場合、「オリジナル」とともに「プレイリスト」が自動的に作成されます。
- 一度フォーマットが始まると、途中でキャンセルすることはできません。
- 手順 5 の〈VRモードディスクの場合〉の確認画面で、“デジタル放送を録画するにはCPRM対応のディスクをご使用ください。”とメッセージが表示された場合はCPRM非対応ディスクが挿入されていますので、デジタル放送を録画する場合はCPRM対応ディスクをご使用ください。

ディスクへの録画

テレビ番組の録画（DVD）

DVD+R VIDEOモード　DVD+R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード

地上デジタル放送を録画する場合は、**VRモード（CPRM対応）**のディスクをお使いください。外部入力端子から録画する場合は、ビデオモードでも録画できます。ただしデジタル放送など、1回だけ録画可能の番組を録画する場合は、**VRモード（CPRM対応）**ディスクをお使いください。

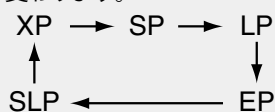
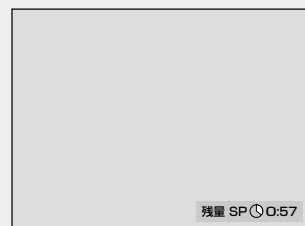
1 **50ページの手順 1 ～ 4 を行なう**

2 録画モード **で録画モードを選ぶ**

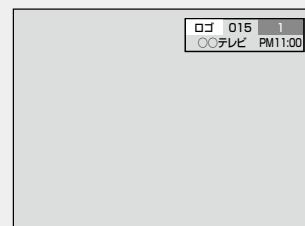
録画モードとディスク残量時間が表示されます。

- **[録画モード]**ボタンを押すごとに下記のように変わります。

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」を参照してください。

残量 SP 0:57

3 **地上デジタル放送を録画する場合：**

チャンネル **/** チャンネル **、数字ボタンまたは** 入力切換 **ボタンで録画したいチャンネルを選択する**

ロゴ 015 1
○○テレビ PM11:00

外部入力端子から録画する場合：
[入力切換]ボタンで“L1”または“L2”を選択してください。
L1：後面入力端子のとき選択
L2：前面入力端子のとき選択

4 録画 **を押す**

録画が始まります。
録画マークが約3秒間表示されます。

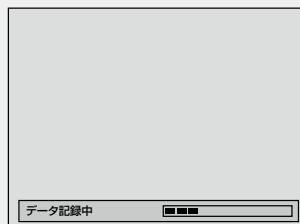
一時停止をするには：
[一時停止 ❚❚]ボタンを押す
[録画]ボタンまたは再度**[一時停止 ❚❚]**ボタンを押すと録画を再開します。

録画マーク

5

停止
■ を押す

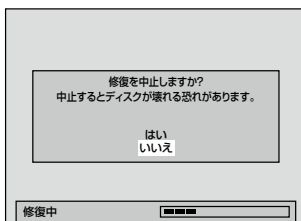
録画を停止します。その後、**[トレイ開閉/取出し ▲]**ボタンまたは**[電源]**ボタンを押すと、データ記録が開始されます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● **お知らせ** ● ● ●

- デジタル放送を録画する場合は、**VRモード**（**CPRM対応**）のディスクをご使用ください。
- ビデオモードのディスクは外部入力を録画する場合に使用できます。ただし、外部入力に「1回だけ録画可能（コピーワンス）」の映像を入力している場合は**VRモード**（**CPRM対応**）ディスクをご使用ください。
- DVD-R/DL（2層）ディスクには録画できません。
- 録画するチャンネルが同じであれば、DVDとビデオの両方に録画することができます。
- 録画中に**[電源]**ボタンを押すと録画が停止し、ディスクに書き込み終了後電源が切れます。このときビデオに録画中の場合は、ビデオに切り換わり、ビデオの録画は継続されます。
- デジタル放送を録画した場合は、録画開始時の放送番組名がタイトル名となります。5分以上の録画を行なった場合は、録画開始から約5分後の放送番組名がタイトル名となります。ただし、録画開始から5分以内に一時停止した場合は、録画開始時の放送番組名がタイトル名となります。

デジタル放送を録画中に、アナログ放送／ビデオを見るには…

- アナログ放送を見るときは、テレビ側のチャンネルで番組を選択してください。（テレビ側にもアンテナ接続が必要です。[➡25ページ]）
  ※地上アナログ放送は2011年7月24日までに終了します。
- ビデオを見るときは、**[ビデオ]**ボタンを押してください。（D/S映像出力端子のみで接続されているときに、DVD側で録画中の場合は、ビデオを見ることができませんので基本接続が必要です。）[➡24ページ]）
- 録画中やファイナライズ中に停電などで電源が切れた場合、再度電源を入れ直すと自動的に“修復中”の画面になります。修復が終了するまでしばらくお待ちください。

- 上記の修復をキャンセルするには、本体の**[トレイ開閉 ▲]**ボタンを押して下記の画面を出してください。

- **カーソルボタン[▲/▼]**で“はい”を選んで**[決定]**ボタンを押すと修復がキャンセルされます。

  ただし、修復をキャンセルされた場合、ディスクの状態については保証できません。

ワンタッチタイマー録画

DVD VIDEOモード　DVD VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。
ワンタッチタイマー録画を始める前に録画するディスクに設定した録画予約時間分の空きがあるかどうか確認してください。
地上デジタル放送を録画する場合は、**VRモード（CPRM対応）**のディスクをお使いください。

1 **[電源]を押し、本機の電源を入れる**

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

- 録画できるディスクを入れます。
- 本機がディスク情報を確認します。

この操作はディスクを認識するのに時間がかかる場合があります。

2 **[録画モード]で録画モードを選ぶ**

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」を参照してください。

3 **[チャンネル∧] / [チャンネル∨]、数字ボタンまたは[入力切換]ボタンで録画したいチャンネルを選択する**

4 **テレビ画面にお好みの録画時間（30分〜8時間）が表示されるまで、[録画]を繰り返し押す**

● 0:30　残量 SP 0:57

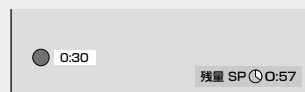
録画が始まります。

- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。そのあと本機を使用する場合は、**[電源]**ボタンを押してください。
- 録画予約が入っている場合は、録画時間が終了すると自動的に予約待機状態になります。DVDの予約待機中に引き続きDVD側を使用する場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押し、予約待機状態を解除してください。ビデオ側を使用する場合は、**[電源]**ボタンを押してください。操作終了後は**[タイマーセット]**ボタンを押し、予約待機状態にしてください。

ワンタッチタイマー録画中に録画時間を変更するには：
[録画]ボタンを押す

指定した時間より前にワンタッチタイマーを停止するには：
[停止 ■]ボタンを押す

録画時間セットについて

- リモコンまたは本体の**[録画]**ボタン（DVD側）を押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

ワンタッチタイマー録画中は

- ビデオの再生または録画中にDVDでのワンタッチタイマー録画が終わると、DVDは録画停止しますが、ビデオは再生または録画を続けます。
- 本体の**[録画]**ボタン（録画時間変更）、本体とリモコンの**[停止 ■]**ボタン（録画停止）、**[電源]**ボタン（録画停止後に電源「切」）、リモコンの**[表示]**ボタン、**[録画]**ボタン以外は働きません。一時停止などもできません。ただし、簡易追っかけ再生が可能な場合は、簡易追っかけ再生が行なえます。詳しくは89ページを参照してください。
- 空きディスク容量がなくなると、自動的に録画を停止し、電源が切れます。
- 停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。
- **[電源]**ボタンを押すと録画が停止し、電源が切れます。

録画時間表示について

- ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。（残りの録画時間を確認するには**[表示]**ボタンを押してください。）
- ワンタッチタイマー録画中は、本体表示管にワンタッチタイマー録画の残り時間が表示されます。

オートチャプターを設定する

DVD VIDEOモード　DVD VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

お買い上げ時：10分
設定時間ごとにマークをつけて、録画を区分することができます。

1

セットアップ
 を押す

"セットアップ"画面が表示されます。

2

▲/▼で"基本設定"を選び、 を押す

"基本設定"画面が表示されます。

3

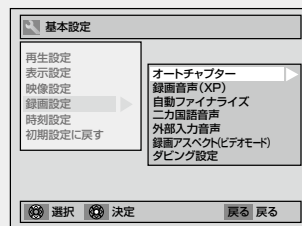
▲/▼で"録画設定"を選び、 を押す

"録画設定"画面が表示されます。

4

▲/▼で"オートチャプター"を選び、 を押す

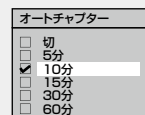
"オートチャプター"設定画面が表示されます。

基本設定
再生設定
表示設定
映像設定
録画設定
時刻設定
初期設定に戻す
オートチャプター
録画音声（XP）
自動ファイナライズ
二カ国語音声
外部入力音声
録画アスペクト(ビデオモード)
ダビング設定
選択　決定　戻る 戻る

5

▲/▼でお好みの時間を選び、
 を押す

設定が有効になり、"録画設定"画面に戻ります。
設定した時間ごとにチャプターマークが設定されます。

オートチャプター
切
5分
10分
15分
30分
60分

6

セットアップ
 を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

オートチャプターについて

- ビデオモードでは選択したチャプターマークの時間と、実際にチャプターマークが設定される時間とは最大約1分異なる場合があります。
- 録画時間によっては、最後に映像のないチャプターが作成される場合があります。
- チャプターマークは、オートチャプターで設定された時間ごとに自動的に設定されます。（録画一時停止では、チャプターマークが設定されません。）
- VRモードのDVD-RW/-Rディスクでは、タイトルに任意の場所にチャプターマークを追加できます。110ページの「チャプターマークを追加/消去する」をご覧ください。
- ビデオモードのDVD-RWディスクでは、ひとつのタイトルに一定時間ごとにチャプターマークを設定できます。116ページの「チャプターマークを設定/消去する」をご覧ください。
- DVD-Rのビデオモード時は、チャプターマークの設定/消去はできません。

ディスクへの録画　（つづき）

録画音声を設定する

DVD -R VIDEOモード　DVD -R VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

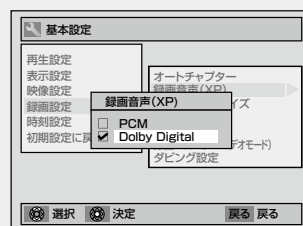
お買い上げ時：Dolby Digital
XPモードで録画する音声を設定をすることができます。

1 **56ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、"録画設定"画面を表示する**

2 **▲/▼で"録画音声（XP）"を選び、****を押す**

"録画音声（XP）"設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、決定を押す**

設定が有効になり、"録画設定"画面に戻ります。

PCM：
高音質（リニアPCM）で録画するとき。

Dolby Digital：
通常の音質（ドルビーデジタル）で録画するとき。

4 **セットアップを押す**

通常画面に戻ります。

二カ国語音声を設定する

DVD -R VIDEOモード　DVD -R VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード　テープ

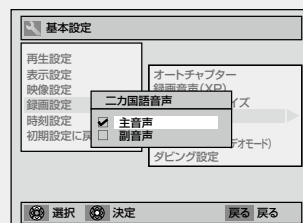
お買い上げ時：主音声
二重音声放送の場合には、"二カ国語音声"で選ばれている、主音声/副音声の一方の音声のみが記録されます。この場合、再生時の音声は選べません。

1 **56ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、"録画設定"画面を表示する**

2 **▲/▼で"二カ国語音声"を選び、決定を押す**

"二カ国語音声"設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、決定を押す**

設定が有効になり、"録画設定"画面に戻ります。

主音声：日本語の音声を記録するとき
副音声：外国語の音声を記録するとき

4 **セットアップを押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- デジタル放送では、二カ国語放送は、マルチ音声放送と二重音声放送の二種類があり、マルチ音声は複数のストリームで放送しています。
- デジタル放送のマルチ音声を記録する場合は、
  - 現在視聴中の番組を録画するときは、視聴中の音声が記録されます。
  - 本機の予約待機状態から録画予約の録画を実行するときは、放送波からの初期設定音声が記録されます。
  - 本機の電源が入った状態から録画予約の録画を実行するときは、録画開始の直前に選ばれていた音声が記録されます。

ディスクへの録画　（つづき）

外部入力音声を設定する

DVD -R VIDEOモード　DVD -R VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

お買い上げ時：ステレオ
外部入力から録画をする場合、録画する音声を“ステレオ”、“二カ国語”のどちらかに設定することができます。また、この設定は、本機のビデオからDVDへダビングするときの録画音声の設定にも使用します。

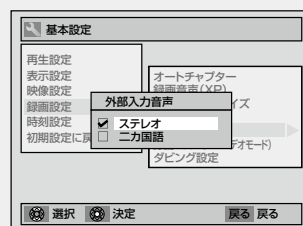
1 **56ページの手順 1 ～ 3 を行ない、“録画設定”画面を表示する**

2 **▲/▼で“外部入力音声”を選び、決定 を押す**

“外部入力音声”設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、**

 を押す

設定が有効になり、“録画設定”画面に戻ります。

ステレオを選択した場合：

使用するディスク	記録される音声
ビデオモード	ステレオ（L+R ch入力）で記録されます。
VRモード	

二カ国語を選択した場合：
- 主音声（Lch）/副音声（Rch）

使用するディスク	記録される音声
ビデオモード	“二カ国語音声”設定で選択した音声が記録されます。
VRモード	主音声と副音声が同時に記録されます。再生の際に主音声/副音声/主+副音声の選択ができます。

4 セットアップ

 を押す

通常画面に戻ります。

録画アスペクト

DVD -R VIDEOモード　DVD -RW VIDEOモード

お買い上げ時：自動
DVD-RW（ビデオモード）、DVD-R（ビデオモード）に録画時の画面の縦横比を設定します。

1 **56ページの手順 1 ～ 3 を行ない、"録画設定"画面を表示する**

2 **▲/▼で"録画アスペクト（ビデオモード）"を選び、** **を押す**

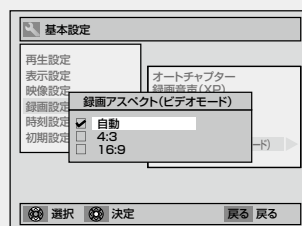
"録画アスペクト（ビデオモード）"設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、** **を押す**

設定が有効になり、"録画設定"画面に戻ります。

自動：
番組の録画開始時のアスペクトにしたがって録画されます。通常は、この設定でお使いください。

4:3：
アスペクト比が4：3に固定されて録画されます。

16:9：
アスペクト比が16：9に固定されて録画されます。

4 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

ディスクをファイナライズする

ファイナライズ

本機で録画したディスクをほかのDVDプレーヤー/レコーダーで再生するためには、録画したディスクをファイナライズする必要があります。

1

セットアップ

を押す

"セットアップ"画面が表示されます。

2

▲/▼で"ディスク管理"を選び、決定 を押す

"ディスク管理"画面が表示されます。

3

▲/▼で"ファイナライズ"を選び、決定 を押す

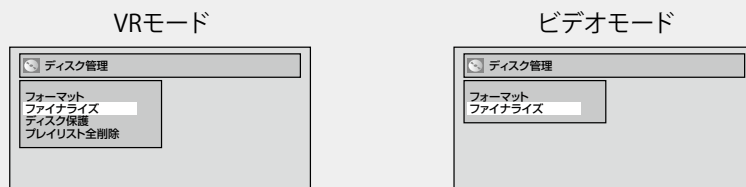
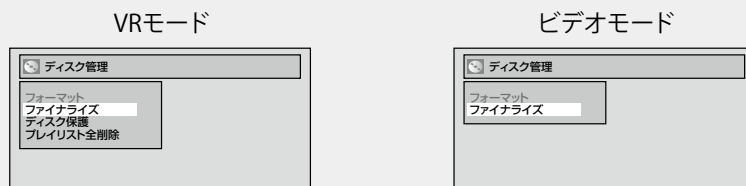
〈DVD-RWディスクの場合〉

VRモード

ビデオモード

〈DVD-Rディスクの場合〉

VRモード

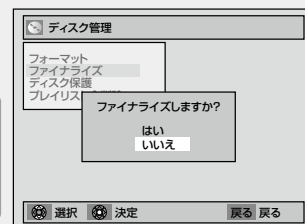
ビデオモード

- ディスクに録画されたタイトルがないときは、"ファイナライズ"、"ディスク保護"、"プレイリスト全削除"は選択できません。

"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

4

▲/▼で"はい"を選び、決定 を押す

ファイナライズが始まります。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

5

ファイナライズが完了する

- ファイナライズが完了したあと、本機は停止状態になり通常画面に戻ります。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズした場合、完了したあと自動的に"タイトルメニュー"画面が表示されます。

●●● お知らせ ●●●

- DVD-RWディスク(VRモード)以外は、ファイナライズをすると、編集や録画、タイトル削除はできなくなります。
  - DVD-RWディスク(VRモード)に関しては、ファイナライズ後でも本機で編集や録画、タイトル削除ができます。
  - DVD-RWディスク(ビデオモード)に関しては、ファイナライズを解除すると、編集や録画、タイトル削除ができるようになります。[➡61ページ]
  - DVD-Rディスク(ビデオモード / VRモード)に関しては、ファイナライズの解除はできません。

ディスクをファイナライズする　（つづき）

■ ファイナライズを止めたいとき

1

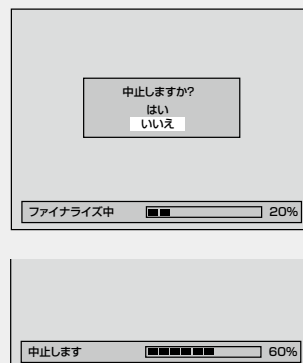
ファイナライズ中に [停止 ■] を押す

DVD-Rディスクのファイナライズは一度開始すると、中止することができません。

2

▲/▼で"はい"を選び、決定 を押す

ファイナライズを中止し、本機は停止します。

- **[停止 ■]**ボタンを押したときに"⊘"が表示された場合、ファイナライズは中止できません。
- "いいえ"を選択して**[決定]**ボタンまたは**[戻る ↩]**ボタンを押した場合、ファイナライズは継続されます。
- ファイナライズの中止は、ディスクの状態により行なうことができない場合があります。

■ ファイナライズの解除

本機でファイナライズしたDVD-RWディスクを挿入した場合、"ファイナライズ"の代わりに"ファイナライズ解除"が表示されます。

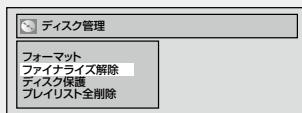
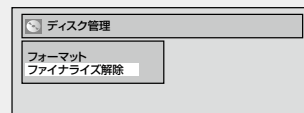
1

60ページの手順 ❶ ～ ❷ を行なう

"ディスク管理"画面が表示されます。

2

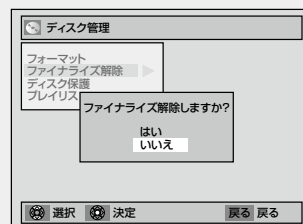
▲/▼で"ファイナライズ解除"を選び、決定 を押す

〈VRモードディスクの場合〉

〈ビデオモードディスクの場合〉

"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

3

▲/▼で"はい"を選び、決定 を押す

ファイナライズ解除が始まります。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

4

ファイナライズ解除が完了する

- ファイナライズ解除が完了したあと、本機は停止状態になり通常画面に戻ります。

自動ファイナライズ

お買い上げ時：切
録画しているディスクに空きがなくなったり、録画予約が終わったら、自動的にファイナライズをすることができます。VRモードで録画されたディスクは、自動ファイナライズを行ないません。

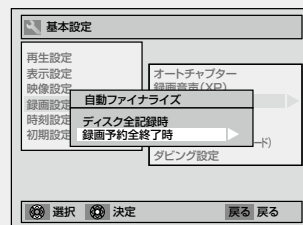
1 56ページの手順 1 ～ 3 を行ない、“録画設定”画面を表示する

2 ▲/▼で“自動ファイナライズ”を選び、決定 を押す

“自動ファイナライズ”画面が表示されます。

3 ▲/▼でお好みの項目を選び、決定 を押す

“ディスク全記録時”の場合：
録画しているディスクに空きがなくなったときに行ないます。

“録画予約全終了時”の場合：
DVD録画予約が終了し、ディスクに書き込みが終わったときに行ないます。

4 ▲/▼で“入”を選び、決定 を押す

設定が有効になります。
録画予約全終了時では、DVD予約に毎週、毎日予約がある場合は、自動ファイナライズは行ないません。（ビデオ予約に毎週、毎日予約があっても自動ファイナライズします。）

5 セットアップ を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVD-RW/-Rのビデオモードの場合、“録画予約全終了時”を“入”にすると、録画予約が終了したあと自動的にファイナライズ動作を行ない、ファイナライズ完了後に録画スタンバイ状態となります。
- DVD側のタイマー録画でエラーとなった場合には、自動ファイナライズは実行されません。
- DVD-RW（ビデオモード）/DVD-Rディスクは、ファイナライズを行なうとディスクに空き容量があっても追加録画ができなくなります。
- 本機で録画したDVD-RW（ビデオモード）ディスクはファイナライズを解除すると追加録画が行なえます。

ディスクをファイナライズする　（つづき）

ディスク保護設定

誤ってディスクの上書きや編集、消去をしないよう、保護することができます。

1

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

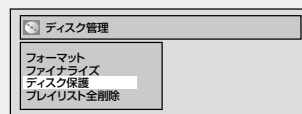
2

▲/▼で“ディスク管理”を選び、決定を押す

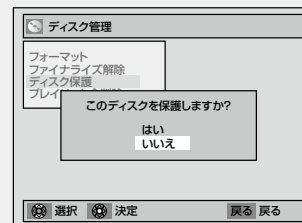
“ディスク管理”画面が表示されます。

3

▲/▼で“ディスク保護”を選び、決定を押す

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

4

▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

ディスクが保護され、“ディスク管理”画面が表示されます。その後、**[トレイ開閉/取出し ⏏]**ボタンまたは**[電源]**ボタンを押すと、データ記録が開始されます。

■ディスク保護の解除

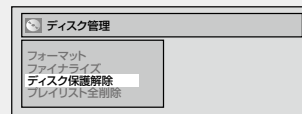
本機でディスク保護設定をしたVRモードのDVD-RW/-Rディスクを挿入している場合、“ディスク保護解除”が表示されます。

1

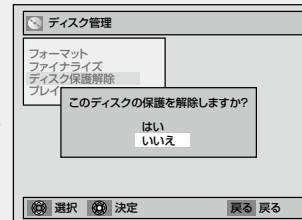
上記の手順 ❶ 〜 ❷ を行なう

2

”ディスク保護解除”が選択されていることを確認し、決定を押す

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

3

▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

ディスクが保護が解除され、“ディスク管理”画面が表示されます。その後、**[トレイ開閉/取出し ⏏]**ボタンまたは**[電源]**ボタンを押すと、データ記録が開始されます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- VRモードで記録されたDVD-RW/-Rディスクのみディスク保護設定をすることができます。

録画予約

日時を指定して録画予約する

本機では1カ月先までの12のプログラムを設定することができます。さらに、毎日または毎週のプログラム録画の設定が可能です。

- 録画予約を行なう前に必ず時計合わせをしてください。[➡34ページ]
- 録画可能なディスクを挿入してください。

地上デジタル放送を録画する場合は、**VRモード(CPRM対応)**のディスクをお使いください。

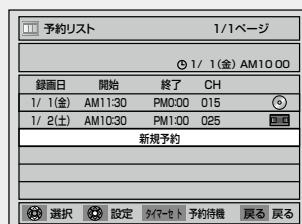
1

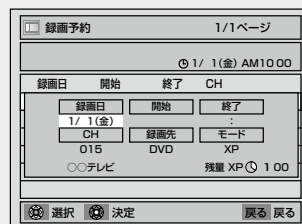
予約リスト

停止状態で を押す

"予約リスト"画面が表示されます。

2

▲/▼で"新規予約"を選び、決定を押す

3

▲/▼で日付を入力し、▶を押す

現在の日付けでカーソルボタン[▲/▼]を押す

「録画日」は以下のように変わります。
例　現在が1月1日の場合

カーソルボタン[▲]	1/2 → 1/3‥‥　(1日ずつすすむ) ※ **カーソルボタン[▼]**で前の設定へ戻ることができます。
カーソルボタン[▼]	毎日→月〜土→月〜金→毎週土→毎週金‥‥ 毎週日→1/31→1/30‥‥ ※ **カーソルボタン[▲]**で前の設定へ戻ることができます。

4

▲/▼/◀/▶で開始時刻と終了時刻を入力し、▶を押す

- 同様の操作で"AM"(午前)または"PM"(午後)を選んだあと、時刻を設定します。
- 開始時刻と終了時刻に、過ぎた時刻を入力した場合、日付けを再度入力する必要があります。
- 12時間以上の予約は設定できません。

5

▲/▼で録画するチャンネル番号を選び、▶を押す

外部入力端子から録画する場合：
"L1"または"L2"を選択してください。
L1：後面入力端子のとき選択
L2：前面入力端子のとき選択

録画予約（つづき）

6 ▲/▼で録画先に、“DVD”を選び、▶を押す

7 ▲/▼で録画モードを選ぶ

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」を参照してください。

8 すべての項目にお好みの設定を入力後、(決定)を押す

メッセージが10秒間表示され、予約設定が確定されます。

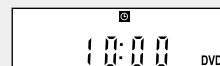
【タイマーセット】ボタンを押すと電源が切れて予約完了します。続けて録画予約を行うには【番組表】ボタンを押すか、もしくは「新規予約」を選択してください。

ビデオ予約している場合はテープ残量を確認してください。

続けてほかの予約をするには：
手順 2 ～ 8 を繰り返す

終了するには：
[予約リスト]ボタンを押す

9 セット を押す

予約をセットします。
ランプと“DVD”が点灯し、予約待機状態になります。
本体の表示管は約5秒後に消灯します。

- **録画予約実行中に停止したいときは本体側の[停止 ■]ボタンを押してください。**
  リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押しても、録画を止めることができます。“予約録画を中断しますか？”とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で“はい”を選び、**[決定]**ボタンを押して録画を止めてください。

録画モードの自動選択機能

予約設定時のディスクの残量と録画時間から、最後まで録画できる一番高画質の録画モードに設定されて録画できます。（録画途中での録画モードの自動切換はできません。）

設定方法：

- 録画モードを“自動”に設定する。
- 録画先にDVDを選択している予約のうち、1つの予約にのみ設定可能です。

※ ディスクの残量によっては、番組の最後まで録画できないことがあります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクが本機に挿入されていない場合や録画できないディスクが挿入されている場合、予約待機状態にすると本体表示管の“DVD”が点滅し、録画予約は実行されません。録画可能なディスクを挿入しなおしてください。
- DVDビデオやファイナライズされたビデオモードのDVD-RW/-Rディスクが挿入された状態で電源を入れ、録画予約を設定中にディスクの読み込みが完了すると、自動再生が始まり“予約リスト”画面がキャンセルされる場合があります。“予約リスト”画面に戻すには、リモコンの **[DVD]** ボタンを押したあと、**[停止 ■]** ボタンを押してディスクの再生を停止し、手順 1 から再度、録画予約の設定を行なってください。
- DVD-R/DL（2層）ディスクには録画できません。
- 録画予約の設定中にディスクトレイを開閉すると、“予約リスト”画面がキャンセルされます。録画できるディスクをあらかじめ挿入しておいてください。
- 開始時刻に過ぎた時刻を入力した場合、**[タイマーセット]**ボタンを押すとすぐに録画が開始されます。
- 日にちをまたぐ予約設定をするには、録画開始日を入力し、録画開始時刻をPM、終了時刻をAMに設定してください。
  （例）午後11時から午前1時の録画予約を設定する場合は、録画開始日を入力し、録画開始時刻をPM11:00、終了時刻をAM1:00に設定します。
- DVDの予約録画終了後、DVD側の録画予約の終了時刻とビデオ側の録画予約の開始時刻を同じ時刻に設定した場合、本体表示管の 、RECや録画時間が表示されない場合があります。本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンまたはリモコンの**[ビデオ]**ボタンを押して表示の切り換えを行なってください。
- 手順 3 ～ 7 で**[戻る ↩]**ボタンを押すと入力したすべての項目の設定が消去され、“予約リスト”画面に戻ります。
- 録画開始時刻の約5分前になっても電源が入っている場合は、“録画予約時刻になりますので**[タイマーセット]**ボタンを押してください。”とメッセージが表示されます。その場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押して本機を予約待機状態にしてください。
- 録画予約が重なった場合、“予約時刻が重なっています。”のメッセージが表示され、重なっている予約は“予約リスト”画面で青色で表示されます。
- 予約待機中に、停電や電源プラグをコンセントから抜いた状態が30秒以上続いた場合、予約内容は消え録画されません。

まだ時計を設定していないときは

手順 1 で時計を設定する画面が“予約リスト”画面の代わりに現れます。録画予約をする前に34ページの「時計合わせ」の手順 5 以降を行なってください。

録画予約 （つづき）

番組表から録画予約する

DVD VRモード　DVD -RW VRモード　テープ

"番組表"を使うと、簡単に番組を録画予約でき、番組名を自動的にタイトル名として記録することができます。デジタル放送を録画予約するには**VRモード（CPRM対応）**のDVD-RW/-Rディスクをご使用ください。ビデオモードのディスクでは録画することができません。

1

電源

を押し、本機の電源を入れる

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1）などに切り換える

2

番組表

を押す

"番組表"画面が表示されます。

- 本機の入力切換が外部入力(L1、L2)の場合は、先に［**入力切換**］ボタンでデジタルチャンネルに切り換えたあと、操作を行なってください。

3

録画したい番組を▲/▼/◀/▶で選び、

を押す

"録画予約"画面が表示されます。
予約内容を変更する場合は64ページの「日時を指定して録画予約する」をご覧ください。

- 選択した番組がすでに放送終了時間を迎えている場合、"録画予約"画面には切り換わりません。

番 組 表
番組B　1/ 1(金) AM11 30　PM 0 00

	○○テレビ 041 042 043	○○テレビ 061 062 063	○○テレビ 081 082
AM 11時	番組A / 番組B	番組F	番組J
PM 0時	番組C	番組G	番組K
PM 1時	番組D	番組H	番組L
PM 2時	番組E	番組I	番組M

【番組詳細】詳細 【決定】録画予約 【番組表】終了 【スキップ】前/翌日

4

予約内容を確認し、
を押す

確認画面が表示されます。

続けてほかの予約をするには：
手順 **2** ～ **4** を繰り返す

終了するには：
[予約リスト]ボタンを押す

録画予約　1/1ページ
番組B
1/ 1(金) AM10 00
録画日　開始　終了　CH

録画日	開始	終了
1/ 1(金)	AM11 30	PM0:00
CH	**録画先**	**モード**
015	DVD	XP

○○テレビ　残量 XP 0 30
選択　決定　戻る 戻る

5

セット

を押す

ランプと録画先表示ランプ（"DVD"、"VCR"または両方）が点灯し、予約待機状態になります。

- **予約待機中は予約したDVDまたはビデオの操作ができなくなります。**

  操作を行なう場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押して、予約待機状態を解除してください。

- 録画予約実行中に停止したいときは本体側の**[停止 ■]**ボタンを押してください。リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押しても、録画を止めることができます。"予約録画を中断しますか？"とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で"はい"を選び、**[決定]**ボタンを押して録画を止めてください。

- 予約設定後に予約内容の修正/取り消しをするには、67、68ページをご覧ください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 番組表から予約した場合、録画予約画面および予約リストのタイトル名に 字・二・S・… などの特殊文字は表示されません。特殊文字はスペースに置き換わります。
- 予約したタイトル名は最大28文字（全角）しか表示できませんので、番組によっては途中で途切れる場合があります。
- 本機の番組表はジャンル検索/キーワード検索には対応しておりません。
- 本機の録画予約はスポーツ延長や追跡録画、イベントリレー機能などには対応しておりません。
- 番組表からの録画予約で、"録画日"を"毎日"、"月～土"、"月～金"、"毎週土"、…"毎週日"に設定した場合、録画予約が終了しても、その予約のタイトル名は最初に録画予約を設定した際の番組名のままとなります。ただし、録画したディスクのタイトル名は録画した際の番組名がタイトル名となります。

録画予約の確認、修正、消去

DVD VIDEOモード / DVD VRモード / DVD -RW VIDEOモード / DVD -RW VRモード / テープ

■ 録画予約の確認をする

1 セット **を押す**

ランプが消灯し、電源が入ります。

2 予約リスト **を押す**

"予約リスト"画面が表示され予約の確認ができます。

3 予約リスト **を押す**

通常画面に戻ります。

4 セット **を押す**

ランプと録画先表示ランプ（"DVD"、"VCR"または両方）が点灯し、予約待機状態になります。

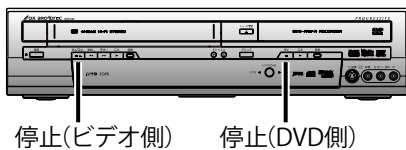
● ● ● お知らせ ● ● ●

- 録画予約で設定したとおりに録画されなかった場合は、エラー番号が表示されます。[➡154ページ]
- DVDとビデオの両方に録画予約されている場合に録画予約の確認を行なうときは、**[タイマーセット]**ボタンを押して電源を入れたあと、**[予約リスト]**ボタンを押してください。予約内容の確認後は、必ず**[タイマーセット]**ボタンを押し、予約待機状態にしてください。
- 録画予約動作中、実行しているプログラムは赤色で表示されます。この場合、ほかのプログラムを確認することはできますが、予約内容の修正/消去はできません。
- 予約待機中または録画予約の録画実行中は、録画予約の修正および追加は行なうことができません。
- 録画予約はDVDとビデオで同時に実行することはできません。同じ時間とチャンネルの録画予約がDVDとビデオで同時に設定されている場合、優先される予約だけが実行されます。[➡76ページ]

録画予約動作終了後の本機のご使用について

- 録画予約動作が終了すると、本体の ランプが点滅します。（本体の表示管は消灯していますので、確認するには**[表示]**ボタンを押してください。）このとき本機の操作はできませんので、再び本機をご使用になるには、**[タイマーセット]**ボタンまたは**[電源]**ボタンを押し、ランプの点滅が解除されたことを確認してください。

録画予約（つづき）

停止(ビデオ側)　　停止(DVD側)

■ 予約を修正する

1

セット

を押す

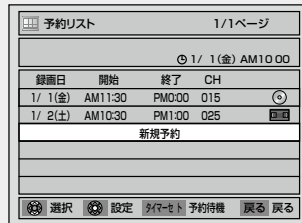
ランプが消灯し、電源が入ります。

2

予約リスト

を押す

“予約リスト”画面が表示され予約の確認ができます。

3

▲/▼で修正したい予約を選び、 **を押す**

4

▲/▼で“修正”を選び、決定を押す

“録画予約”画面が表示されます。

5

▲/▼/◀/▶で録画予約を修正する

6

決定を押す

メッセージが10秒間表示され、修正内容が確定されます。

【タイマーセット】ボタンを押すと電源が切れて予約完了します。続けて録画予約を行うには【番組表】ボタンを押すか、もしくは「新規予約」を選択してください。

ビデオ予約している場合はテープ残量を確認してください。

7

予約リスト

を押す

通常画面に戻ります。

8

セット

を押す

ランプと録画先表示ランプ(“DVD”、“VCR”または両方)が点灯し、予約待機状態になります。

■ 予約を取り消す

1. 手順 4 で“消去”を選び、**[決定]**ボタンを押す

2. 確認画面で“はい”を選び、**[決定]**ボタンを押す
予約が取り消されます。

実行中の録画予約を止めるには：

- DVDに録画実行中は本体の**[停止 ■]**ボタン(DVD側)、ビデオに録画実行中は本体の**[停止/取出し ■ ▲]**ボタン(ビデオ側)を押す。
- リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押しても、録画を止めることができます。“予約録画を中断しますか？”とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で“はい”を選び、**[決定]**ボタンを押して録画を止めてください。

予約待機中や録画予約実行中にビデオまたはDVDを使いたいとき

予約待機中や録画予約実行中のとき、予約の入っていない側の操作は可能です。

■ 予約待機中のとき

1 **電源 を押す**

映像出力が切り換わり、録画予約をしていない側の操作ができます。

2 **操作を行なう**

3 **操作終了後、電源 を押す**

ランプと録画先表示ランプ（“DVD”または“VCR”）が点灯し、予約待機状態になります。本体の表示管は約5秒後に消灯します。

■ 録画予約実行中のとき

1 **電源 を押す**

映像出力が切り換わり、ランプと録画先表示ランプ（“DVD”または“VCR”）が消灯します。このとき、操作切換ができます。

2 **DVD または ビデオ を押し、操作を行なう**

録画予約終了後：
予約の入っていない側が停止状態のときは、録画予約が終了すると自動的に電源が切れます。（通常録画や再生中など本機を使用中のときは電源は切れません。）引き続き使用したい場合は**[電源]**ボタンまたは**[タイマーセット]**ボタンを押して電源を入れてください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- タイマースタンバイ中にビデオをご使用の場合、テレビとの接続がS映像出力端子またはD1/D2映像出力端子のみで接続されているときに、録画予約時刻の2分前になると、ビデオ側の再生映像は出力されなくなります。（DVD予約待機中は可能です。）接続方法については25～27ページの手順 4 をご確認ください。
- 録画予約が終了した場合、**[タイマーセット]**ボタンと**[電源]**ボタンの両方で予約待機状態を解除することができます。録画予約が残っている場合は、**[電源]**ボタンでは予約待機状態を解除することはできません。
- DVDとビデオの両方に録画予約があり、予約待機中のときは、電源が入りません。**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。

DVDまたはビデオのどちらかが予約待機中に[電源]ボタンを押し、予約していない側の操作で録画を開始した場合 [➡70～73ページ]

- 録画開始したチャンネルが予約待機中のチャンネルと異なるチャンネルのとき、録画予約開始の5分前に“録画予約時刻になりますのでまもなく録画を停止します”とメッセージが表示され、2分前に録画が自動停止します。録画を続けたい場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。その場合タイマー予約は実行されません。

DVDまたはビデオのどちらかが予約待機中に[電源]ボタンを押して本機の電源を入れた場合 [➡70～73ページ]

- DVDまたはVCRのモードのうち、予約待機中でない方のモードでのみ操作できます。そのとき、操作モードの切り換えはできません。（本体の**[ビデオ/DVD]**ボタン、リモコンの**[ビデオ]**ボタン、**[DVD]**ボタンは効きません。）
- **[セットアップ]**ボタンによる設定変更、ディスク編集はできません。

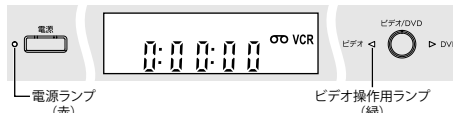
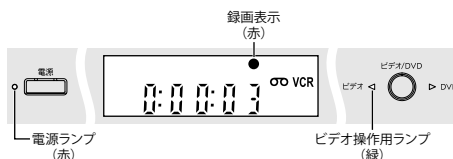
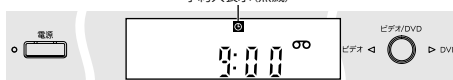
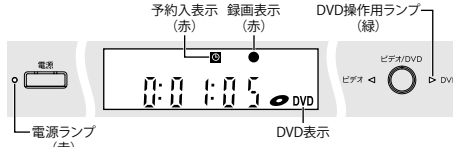
録画予約（つづき）

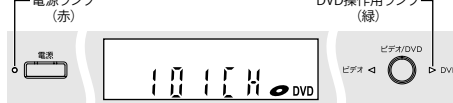
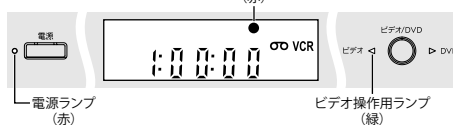
予約待機中や録画予約実行中の動作について

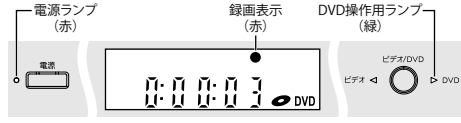
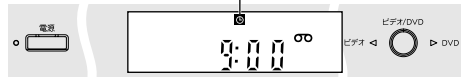
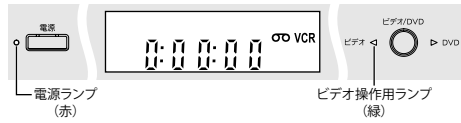
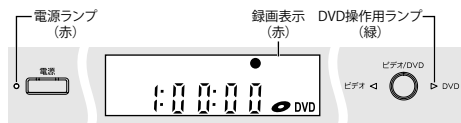
本機の状態	ビデオのみの録画予約設定後、[タイマーセット]ボタンで予約待機状態にした場合
予約待機状態	**[タイマーセット]**ボタンで予約待機状態にします。 状態1 予約入表示（赤） 8:00
録画予約実行中	状態2 予約入表示（赤） 録画表示（赤） VCR表示（注1） 0:00:03 VCR 電源ランプ（赤） ビデオ操作用ランプ（緑）
録画終了後、予約待機状態	状態3 予約入表示（赤）（注2） 8:55
通常操作状態	**[タイマーセット]**ボタンで予約待機状態を解除した場合 状態4 （例）ビデオの表示管 VCR表示（注3） 0:00:00 VCR 電源ランプ（赤） ビデオ操作用ランプ（注4）
（録画予約ある側）予約待機状態維持 （録画予約ない側）通常操作状態	予約待機状態、録画予約実行中に**[電源]**ボタンを押した場合 状態5 DVD操作用ランプ（緑） 101CH DVD 電源ランプ（赤） ● 録画予約が終了すると、本機の電源は切れます。 ● 予約待機中に、再度**[電源]**ボタンを押した場合は（状態1）になります。 ● 録画予約実行中に、再度**[電源]**ボタンを押した場合は（状態2）になります。

（注1）ツメ折れビデオテープ挿入またはテープなしなど、録画予約実行不可状態の場合は点滅します。
（注2）ほかに予約がない場合は点滅し、ほかに予約がある場合やサテライト予約待機中の場合は点灯します。
（注3）ほかに予約がない場合は消灯し、ほかに予約がある場合やサテライト予約待機中は点灯します。
（注4）前回の電源「入」時の出力にしたがい、点灯または消灯します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 録画予約実行中は本体またはリモコンの**[電源]**ボタンで本機の電源を切ることはできません。
- 表示管は電源を切ったあと、または録画の予約待機状態に移行したあと、5秒後に完全に消灯します。予約待機中やサテライト予約待機中に**[表示]**ボタンを押すと、本機の状態を表示管に5秒間表示します。

録画予約（つづき）

本機の状態	DVDのみの録画予約設定後、[タイマーセット]ボタンで予約待機状態にした場合 ＊テープが挿入されている場合、σο が表示されます。	ビデオとDVD両方の予約設定後、[タイマーセット]ボタンで予約待機状態にした場合
予約待機状態	**[タイマーセット]**ボタンで予約待機状態にします。 状態6 予約入表示（赤） 8:00 DVD DVD表示（注4）	**[タイマーセット]**ボタンで予約待機状態にします。 状態11 予約入表示（赤） VCR表示（注1） 8:00 σο VCR DVD DVD表示（注4）
録画予約実行中	状態7 予約入表示（赤） 録画表示（赤） DVD操作用ランプ（緑） 0:00:03 DVD 電源ランプ（赤） DVD表示	ビデオ録画実行中は、状態2 DVD録画実行中は、状態7
録画終了後、予約待機状態	状態8 予約入表示（赤）（注2） 8:55 DVD DVD表示（注3）	状態12 予約入表示（赤）（注2） VCR表示（注3） 8:55 σο VCR DVD DVD表示（注3）
通常操作状態	**[タイマーセット]**ボタンで予約待機状態を解除した場合 状態9 （例）DVDの表示管 DVD操作用ランプ（注5） 101CH DVD 電源ランプ（赤）	状態4 または 状態9
（録画予約ある側）予約待機状態維持 （録画予約ない側）通常操作状態	予約待機状態、録画予約実行中に**[電源]**ボタンを押した場合 状態10 101CH σο VCR 電源ランプ（赤） ビデオ操作用ランプ（緑）	予約待機状態、録画予約実行中に**[電源]**ボタンを押した場合 電源は入りません。

（注1）ツメ折れビデオテープ挿入またはテープなしなど、録画予約実行不可状態の場合は点滅します。
（注2）ほかに予約がない場合は点滅し、ほかに予約がある場合やサテライト予約待機中の場合は点灯します。
（注3）ほかに予約がない場合は消灯し、ほかに予約がある場合やサテライト予約待機中は点灯します。
（注4）市販DVDビデオディスクなどの録画不可ディスク挿入時、ディスク未挿入時など、録画予約実行不可状態の場合は点滅します。
（注5）前回の電源「入」時の出力にしたがい、点灯または消灯します。

録画予約（つづき）

本機の状態	● DVD予約待機中に、ビデオに手動録画を行なった場合 ● DVDサテライト予約待機中に、ビデオに手動録画を行なった場合
電源 入	予約待機中に**[電源]**ボタンを押します。 状態1 0:00:00 VCR 電源ランプ（赤）　ビデオ操作用ランプ（緑）
ビデオ側に録画予約と同一チャンネルまたは違うチャンネルを録画	下記の表示管は同一チャンネルの場合 状態2 録画表示（赤） 0:00:03 VCR 電源ランプ（赤）　ビデオ操作用ランプ（緑） 違うチャンネルを録画した場合 録画予約時刻の5分前に"録画予約時刻になりますのでまもなく録画を停止します"と画面表示し、2分前になると録画を停止しチャンネルを予約のチャンネルに切り換えます。それ以降、違うチャンネルの録画はできません。 ■ **すべての録画予約が終了した場合** 予約入表示（点滅） 9:00 ● **[電源]**ボタンまたは**[タイマーセット]**ボタンを押すと、予約入表示は消えます。
録画予約中にDVD側に操作を切り換えた場合	**[DVD]**ボタンで操作を切り換えます。 状態3 予約入表示（赤）　録画表示（赤）　DVD操作用ランプ（緑） 0:01:05 DVD 電源ランプ（赤）　DVD表示

ビデオの手動録画中にDVDの録画予約が終了の状態
■ **録画予約中にビデオ側からDVD側に操作を切り換えた場合** 状態4 電源ランプ（赤）　DVD操作用ランプ（緑） 10 1CH DVD ● 予約録画は予約時間に終了しますが、ビデオの録画は継続中です。
■ **録画予約中にビデオ側からDVD側に操作を切り換えなかった場合** 状態4 録画表示（赤） 1:00:00 VCR 電源ランプ（赤）　ビデオ操作用ランプ（緑） ● 予約録画は予約時間に終了しますが、ビデオの録画は継続中です。

録画予約（つづき）

本機の状態	● ビデオ予約待機中に、DVDに手動録画を行なった場合 ● ビデオサテライト予約待機中に、DVDに手動録画を行なった場合
電源入	予約待機中に[**電源**]ボタンを押します。 状態1 電源ランプ（赤）　DVD操作用ランプ（緑） 101CH DVD
DVD側に録画予約と同一チャンネルまたは違うチャンネルを録画	下記の表示管は同一チャンネルの場合 状態2 電源ランプ（赤）　録画表示（赤）　DVD操作用ランプ（緑） 0:00:03 DVD 違うチャンネルを録画している場合 録画予約時刻の5分前に"録画予約時刻になりますのでまもなく録画を停止します"と画面表示し、2分前になると録画を停止しチャンネルを予約のチャンネルに切り換えます。それ以降、違うチャンネルに切り換えることはできません。 ■ **すべての録画予約が終了した場合** 予約入表示（点滅） 9:00 ● [**電源**]ボタンまたは[**タイマーセット**]ボタンを押すと、予約入表示は消えます。
録画予約中にビデオ側に操作を切り換えた場合	[**ビデオ**]ボタンで操作を切り換えます。 状態3 予約入表示（赤）　録画表示（赤）　VCR表示 0:00:05 VCR 電源ランプ（赤）　ビデオ操作用ランプ（緑）

DVDの手動録画中にビデオの録画予約が終了の状態

■ **録画予約中にDVD側からビデオ側に操作を切り換えた場合**

状態4

● 予約録画は予約時間に終了しますが、DVDの録画は継続中です。

■ **録画予約中にビデオ側からDVD側に操作を切り換えなかった場合**

状態4

● 予約録画は予約時間に終了しますが、DVDの録画は継続中です。

サテライト予約

サテライト予約

外部チューナー（BSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタル放送など）を本体後面の入力端子"L1"（映像入力）に接続することで、そのチューナーの信号に連動して録画ができます。（24時間以内に始まる番組の録画予約が可能です。）
サテライト予約の設定をする前に本機とBSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナーなどを接続してください。
デジタル放送を録画する場合は、**VRモード（CPRM対応）**のディスクをお使いください。

1

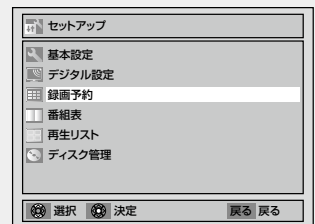
セットアップ
を押す

"セットアップ"画面が表示されます。

2

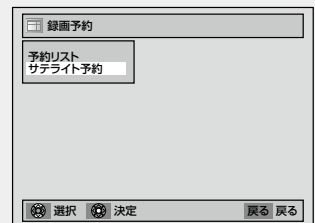
▲/▼で"録画予約"を選び、決定を押す

"録画予約"選択画面が表示されます。

セットアップ
基本設定
デジタル設定
録画予約
番組表
再生リスト
ディスク管理
選択 決定 戻る 戻る

3

▲/▼で"サテライト予約"を選び、

決定を押す

"サテライト予約"設定画面が表示されます。

4

決定を押す

カーソルが"AM"または"PM"に移動します。

5

▲/▼で"AM"または"PM"を選び、▶を押す

- 時、分についても同様の操作で合わせます。
- **カーソルボタン[◀]**を押すとカーソルが左へ移動します。

6

▲/▼で"DVD"または"ビデオ"を選び、▶を押す

7

▲/▼で録画モードを選ぶ

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」または15ページの「録画モードについて」を参照してください。

サテライト予約 （つづき）

8

すべての設定後、 を押す

カーソルが“予約待機へ移行”に移動します。

9

決定 を押す

- 自動的にサテライト予約待機状態になります。
- ランプと録画先表示ランプ（“DVD”または“VCR”）が点灯し電源が切れます。

※ ディスクおよびテープが挿入されていない場合は、本体表示管の“DVD”および“VCR”が点滅しますので**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除したあと、ディスクおよびテープを挿入してください。その際は、再度手順❶からやり直してください。サテライト予約待機移行後、本体の表示管は約5秒後に消灯します。サテライト予約待機状態を確認するには**[表示]**ボタンを押してください。

サテライト予約を解除するには：

サテライト予約待機中に、**[タイマーセット]**ボタンを押してください。サテライト予約で録画が行なわれたあとも、サテライト予約待機中です。本機を操作するには、サテライト予約をキャンセルしてください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVDビデオやファイナライズされたビデオモードのDVD-RW/-Rディスクが挿入された状態で電源を入れ、サテライト予約を設定中にディスクの読み込みが完了すると、自動再生が始まり“サテライト予約”画面がキャンセルされる場合があります。“サテライト予約”画面に戻すには、**[停止 ■]**ボタンを押してディスクの再生を停止し、手順❶から再度、サテライト予約の設定を行なってください。
- サテライト予約の設定中にディスクトレイを開閉すると、“サテライト予約”画面がキャンセルされます。録画できるディスクをあらかじめ挿入しておいてください。
- 24時間以上先の予約については、通常の録画予約を行なってください。
- サテライト予約録画終了後、引き続きサテライト予約録画を行なわない場合や、本機の操作をするときは録画**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。
- 「1回だけ録画可能」番組を録画するときは、VRモードのDVD-RW/-R（CPRM対応）ディスクのみに録画できます。[➡14ページ]

DVDまたはビデオのどちらかがサテライト予約待機中に、[電源]ボタンを押し、予約していない側の操作で録画を開始した場合

- 録画開始したチャンネルがL1以外のチャンネルのとき、録画予約開始の5分前に“録画予約時刻になりますのでまもなく録画を停止します”とメッセージが表示され、2分前に録画が自動停止します。録画を続けたい場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押してサテライト予約待機状態を解除してください。その場合サテライト予約は実行されません。
- サテライト予約で設定した開始時間を経過している場合は、L1以外のチャンネルに切り換えることができません。

DVDまたはビデオのどちらかがサテライト予約待機中に、[電源]ボタンを押して本機の電源を入れた場合

- DVDまたはVCRのモードのうち、予約待機中でない方のモードでのみ操作できます。そのとき、操作モードの切り換えはできません。

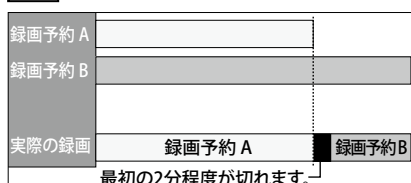
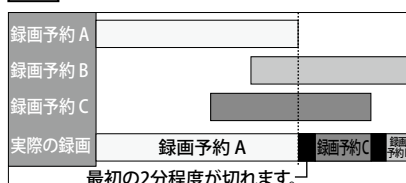
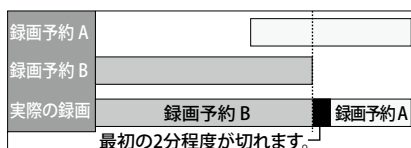
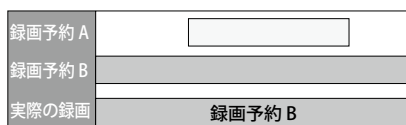
サテライト予約、録画予約の両方に予約があり一方がDVD、もう一方がビデオの場合

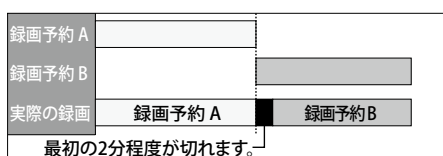
- 予約待機状態では、**[タイマーセット]**ボタンのみ使用できます。

録画予約のヒント

予約が重なったとき

録画予約が重なった場合、本機は優先順位をつけて録画を実行します。
録画予約が重なっていないかチェックしてください。

■ 開始時刻が同じ場合：
先に設定した予約(録画予約A)が優先されます。

■ 開始時刻と終了時刻が異なる場合：
開始時刻の早い番組の順に、録画が優先されます。

■ 録画時刻が部分的に重なった場合：
録画予約Bの録画が終了してから録画予約Aが始まります。

■ 録画時刻が完全に重なった場合：
録画予約Aは録画されません。

■ 現在録画されている予約の終了時刻が続けて録画される予約の開始時刻と同じかまたは予約時間と重なる場合：
録画予約Bの最初の２分程度は録画されません。

録画予約 A
録画予約 B
実際の録画　録画予約 A　録画予約B
最初の2分程度が切れます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 複数の予約がある場合、開始時刻の早い（予約リストの最上段にある）プログラムが優先されます。
- DVDへの録画では、前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じかまたは重なった場合、次の番組の最初が最大で2分程度録画されません。

■ 録画予約とサテライト予約が重なった場合：
録画予約とサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。

	例1	例2	例3
録画予約 サテライト予約			
実際の録画			

● ● ● お知らせ ● ● ●

- サテライト予約は前面入力端子（L2）では動作しません。
- サテライト予約待機中に、設定した開始時刻を経過すると、本体の表示管に“Ｓａｔ”を表示します。待機状態で本体表示管が消灯している場合は、**[表示]**ボタンを押してください。
- BSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナーの信号を感知してから本機が動作を開始するため、録画開始時間に数秒間の遅れが生じる場合があります。
- BSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナー側で予約を設定する場合、本機の録画準備のために番組の開始時刻の2分前に録画予約開始時刻を設定してください。
- 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合もあります。
- サテライト予約の録画中に録画を止めるには、本体の**[停止 ■]**ボタン（DVD側）、**[停止/取出し ■ ▲]**ボタン（ビデオ側）を押します。リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押しても、録画を止めることができます。“予約録画を中断しますか？”とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で“はい”を選び、決定を押して録画を止めてください。
- 例2の場合、サテライト予約が終わったら録画予約へ移行します。
- S映像入力端子に接続して実行することもできます。S映像入力端子で実行したい場合は、サテライト予約設定前に、“映像入力設定”の“L1（後面）”または“L2（前面）”を“S映像入力”に変更してください。[➡119ページ]
- 停電または本機の電源プラグを30秒以上抜いた場合、時計設定とすべての録画予約は消去されます。
- 録画予約実行中に空きディスク容量がなくなると自動的に録画を停止し、電源が切れます。
- 設定したDVD録画の開始時刻が2分以内の場合、電源を切るとすぐにまた電源が入り、録画開始の準備をします。ビデオ録画の場合、電源は開始時刻の少し前になると入ります。

再生

ディスクの再生

DVD / DVD-R VIDEOモード / DVD-R VRモード / DVD-RW VIDEOモード / DVD-RW VRモード / CD / JPEG

1

[電源] を押し、本機の電源を入れる

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

2

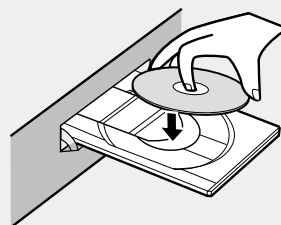
[トレイ開閉/取出し ▲] でディスクトレイを開ける

ディスクトレイが開きます。

3

再生するディスクをトレイにのせる

ディスクの印刷されている面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4

[トレイ開閉/取出し ▲] でディスクトレイを閉じる

- ファイルリストを表示するディスクの場合、ディスクの読み込み終了後、自動的に"ファイルリスト"画面が表示されます。

5

[再生 ►] を押す

再生が始まります。
DVDビデオディスクを再生しているときは、メニュー画面が表示される場合があります。ディスクメニューについて詳しくは79ページをご参照ください。

再生を停止するには：
[停止 ■]ボタンを押す
再生が止まります。

- ディスクを取り出すときは、**[トレイ開閉/取出し ▲]**ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクを裏表逆に入れると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- 電源「切」の状態でも、本体の **[トレイ開閉 ▲]** ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
- ディスプレイメニュー画面を表示していない状態で音楽用CDを再生すると、自動的にディスプレイメニュー画面が表示されます。

再生　（つづき）

■ 記録したDVDディスクの再生

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

- **[トップメニュー]**ボタンを押しても“再生リスト”画面が表示されます。その場合は手順 4 へ進んでください。

2

▲/▼で“再生リスト”を選び、決定 を押す

“再生リスト”画面が表示されます。

3

▲/▼で“オリジナル”または“プレイリスト”を選び、決定 を押す

- ビデオモードディスクの場合、この操作は必要ありません。
  “オリジナル“または“プレイリスト“の選択画面は表示されず、手順 4 の“再生リスト“画面が表示されます。

4

▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルを選び、

を押す

- VRモードの場合は**[メニュー/リスト]**ボタンを押して“オリジナル”と“プレイリスト”を切り換えることができます。
- タイトルが7つ以上ある場合、画面下に矢印が表示されます。

<VRモードディスクで“オリジナル”を選択した場合>

5

▲/▼で“最初から再生”を選び、決定 を押す

- 手順 4 でお好みのタイトルを選んだ状態で、**[再生 ▶]**ボタンを押しても再生することができます。

再生を停止するには:
[停止 ■]ボタンを押す
再生が止まります。

- ディスクを取り出すときは、**[トレイ開閉/取出し ⏏]**ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- すでにファイナライズされたDVD-RW/-R（ビデオモード）の場合、ディスクの読み込みが完了すると、自動再生したり“タイトルメニュー”が表示されます（サムネイル画面は表示されません）。

タイトルメニュー						
1	10/ 1/ 8	AM	0:37	ビデオ	XP	
2	10/12/ 4	PM	5:40	ビデオ	XP	
3	10/ 3/ 2	AM	12:34	ビデオ	LP	
4	10/ 5/ 4	PM	2:02	ビデオ	LP	
5	10/11/11	AM	11:30	ビデオ	SLP	

- プレイリストを編集したディスクを再生する場合は、“セットアップ”-“再生リスト”で、“プレイリスト”を選択するか、**[トップメニュー]**ボタンを押して、“再生リスト”を表示させ、**[メニュー/リスト]**ボタンを押して、“再生リスト（プレイリスト）”に切り換えてください。
- ディスクの再生を停止したところから再び再生することができます。つづき（リジューム）再生について詳しくは83ページをご参照ください。
- ディスクによっては自動的に再生が始まるものがあります。
- ほかのDVDレコーダーなどで録画したディスクでは、表示できない文字は“＊＊＊＊･･･”表示となります。本機が表示できる文字は漢字、ひらがな、カタカナ、半角カタカナ、英字、数字、記号です。表示できる文字の種類は109ページをご覧ください。

ディスクメニューから再生する

DVDビデオには、内容についての記述や再生方法の設定を変更するためのディスクメニューが含まれているものがあります。字幕言語、特典映像、チャプター選択に関する選択画面などが表示されます。
また、ディスクメニューには再生を始めると自動的に表示されるものもあります。

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

メニュー/リスト

 を押す

DVDビデオにディスクメニューが含まれている場合は、DVDディスクメニュー画面が表示されます。

2

▲/▼/◀/▶で項目を選択し、決定 を押して確認する

お好みの機能をすべて設定するか、メニューからディスクを再生し始めるまでこの手順を続けます。
[メニュー/リスト]ボタン：
DVDディスクメニューを表示します。表示される内容はディスクによって異なります。
カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]：
画面でカーソルを動かします。
[決定]ボタン：
メニュー項目で強調されているものを選択します。
数字ボタン：
番号のついたメニュー項目を選択します。（一部のディスクのみ有効）続けて**[決定]**ボタンを押します。

3

メニュー/リスト

 を押す

メニューを終了します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 市販のDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。
- ディスプレイメニュー画面が表示されている間は、ディスクメニューの操作ができません。**[表示]**ボタンを押して、ディスプレイメニュー画面を消してから操作してください。

タイトルメニューから再生する

DVDビデオによっては、タイトルメニューを含んでいるものがあります。タイトルメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

トップメニュー

 を押す

ディスクにタイトルメニューが含まれている場合は、"タイトルメニュー"画面が表示されます。

2

▲/▼/◀/▶で再生するタイトルを選び、を押して確認する

選択したタイトルの再生が始まります。

[トップメニュー]ボタン：
ディスクに含まれるDVDディスクの"タイトルメニュー"を表示します。

カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]：
画面でカーソルを動かします。

[決定]ボタン：
メニュー項目で強調されているものを選択します。

数字ボタン：
番号のついたメニュー項目を選択します。（一部のディスクのみ有効）続けて**[決定]**ボタンを押します。

3

トップメニュー

 を押す

メニューを終了します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 一部のDVDビデオでは**[トップメニュー]**ボタンが使えない場合があります。
- メニューはディスクによって変わります。詳しくは、ディスクに付属の解説をご覧ください。
- ディスプレイメニュー画面が表示されている間は、ディスクメニューの操作ができません。**[表示]**ボタンを押して、ディスプレイメニュー画面を消してから操作してください。

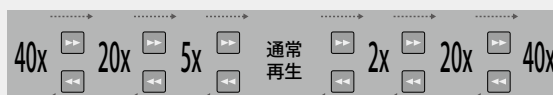
早送り/早戻し

DVD　DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード　CD

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

- DVDディスクでは[▶▶]ボタンまたは[◀◀]ボタンを押すたびに、再生速度が以下のように変わります。

- 音楽用CDでは、再生速度は8倍に固定され音声がでます。
- タイトルをまたぐ早送り/早戻しはできません。
- DVDディスクでは、早送り/早戻しの再生中には音声は出ません。

2

通常の再生に戻すときは、再生 ▶ を押す

通常の再生速度に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 早送り/早戻しの再生速度は、以下のようなアイコンで表示されます。

早送り（目安の速度）		早戻し（目安の速度）	
2x：	▶▸	5x：	▶◂
20x：	▶▸▸	20x：	▶◂◂
40x：	▶▸▸▸	40x：	▶◂◂◂

x1.3/0.8再生

DVD　DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード

0.8倍速と1.3倍速の再生が楽しめます。
x1.3/0.8再生は、ディスクに記録されている音声がドルビーデジタルの場合のみ可能です。

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に x1.3/0.8再生 を押す

- 1回押すと：画面に"▶x0.8"が表示され、0.8倍速の再生とともに音声が出ます。
- 2回押すと：画面に"▶x1 3"が表示され、1.3倍速の再生とともに音声が出ます。

2

通常の再生に戻すときは、画面に"▶"が表示されるまで x1.3/0.8再生 を繰り返し押す

通常の再生速度に戻ります。

- **[再生 ▶]**ボタンを押しても通常の再生速度に戻ります。

再生 （つづき）

一時停止

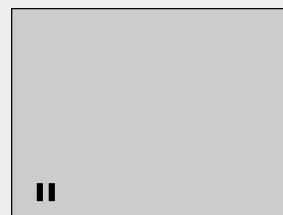
DVD DVD-R VIDEOモード DVD-R VRモード DVD-RW VIDEOモード DVD-RW VRモード CD JPEG

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 一時停止 を押す

再生が一時停止し、消音されます。

2

通常の再生に戻すときは、 再生 ► を押す

通常の再生に戻ります。

コマ送り/コマ戻し再生

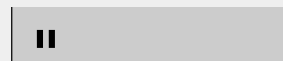
DVD DVD-R VIDEOモード DVD-R VRモード DVD-RW VIDEOモード DVD-RW VRモード

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 一時停止 を押す

再生が一時停止し、消音されます。

2

スキップ/頭出し ►►I を繰り返し押す

再生は音声がでないまま**[スキップ/頭出し ►►I]**ボタンを押すごとに1コマ（または1ステップ）前に進みます。

コマ戻しするには：
[スキップ/頭出し I◄◄]ボタンを押すごとに、再生は1コマずつ戻ります。

3

通常の再生に戻すときは、 再生 ► を押す

通常の再生速度に戻ります。

スロー再生

DVD / DVD-R VIDEOモード / DVD-R VRモード / DVD-RW VIDEOモード / DVD-RW VRモード

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に [一時停止 ❚❚] を押す

再生が一時停止し、消音されます。

2

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に [▶▶] または [◀◀] を押す

[▶▶]ボタンまたは**[◀◀]**ボタンを押すたびに、再生速度は以下のように変わります。（音声はでません。）

3

通常の再生に戻すときは、[再生 ▶] を押す

通常の再生速度に戻ります。
最後にディスクの再生を停止したところから続けて再生することができます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- スロー送り/スロー戻しの再生速度は、以下のようなアイコンで表示されます。

スロー送り（目安の速度）	スロー戻し（目安の速度）
1/16x：❚▶▸	1/16x：❚▶◂
1/8x：❚▶▸▸	1/8x：❚▶◂◂
1/3x：❚▶▸▸▸	1/4x：❚▶◂◂◂

つづき（リジューム）再生

DVD / DVD-R VIDEOモード / DVD-R VRモード / DVD-RW VIDEOモード / DVD-RW VRモード / CD / JPEG

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に [停止 ■] を押す

リジューム 入

リジュームメッセージが表示されます。

2

[再生 ▶] を押す

最後に停止したポイントから続けて再生します。本機の電源を切っても同じポイントから続けて再生することができます。

つづき（リジューム）再生をキャンセルするには：
再生停止中にもう一度**[停止 ■]**ボタンを押す

● ● ● お知らせ ● ● ●

- つづき（リジューム）再生情報は次の操作を行なった場合も解除されます。
  - ディスクトレイを開閉したとき
  - DVD-RW/-R（VRモード）のディスクにて、**[メニュー/リスト]**ボタンを押してオリジナルとプレイリストを切り換えたとき
- JPEGディスクの場合は、つづき（リジューム）再生を行なうと停止したポイントからではなく、そのファイルの先頭から再生されます。

応用再生

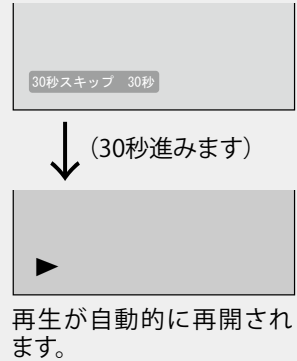
30秒スキップ

30秒単位でテレビコマーシャルなどを早送りすることができ、中断することなく録画された番組を楽しむことができます。

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 30秒スキップ を押す

- 押したところから30秒後の再生が始まります。
- 繰り返し押すと30秒ずつ180秒まで早送りする間隔をのばすことができます。

再生が自動的に再開されます。

ズーム再生

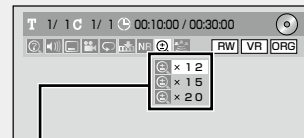
1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に ズーム を押す

ズームメニュー画面が表示されます。

- **[表示]**ボタンを押し、**カーソルボタン[◀/▶]**で を選んでもズームメニュー画面が表示されます。

〈DVDディスクの場合〉

4つの選択肢
（1.0x、1.2x、1.5x、2.0x）から、現在の設定以外のズーム率が表示されます。

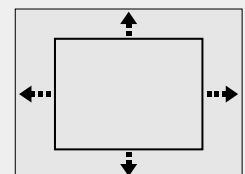
2

▲/▼でお好みのズーム率を選び、 を押す

ズーム領域が表示されます。

3

▲/▼/◀/▶でお好みのズーム位置を選び、 を押す

ズーム再生が始まります。

ズーム機能をキャンセルするには：
[ズーム]ボタンを押し、**カーソルボタン[▲/▼]**で"x1.0"を選び、**[決定]**ボタンを押す
JPEGディスクの場合は、**[再生 ▶]**ボタンを押すとズーム機能をキャンセルしてスライドショーが再開されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 現在の画面サイズよりも小さい倍率を選んだ場合、ズーム領域は表示されません。
- ズームメニュー画面を消すには、手順 1 で**[表示]**ボタンを押してください。
- ズーム機能は再生を停止してもキャンセルされます。

応用再生（つづき）

マーカー設定

DVD　DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード　CD

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に［表示］を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

〈DVDディスクの場合〉

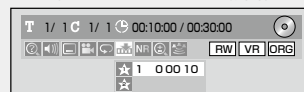
T 1/ 1 C 1/ 1 00:10:00 / 00:30:00　RW VR ORG

2

◀/▶で［マーカー］を選ぶ

マーカー設定画面が表示されます。

〈DVDディスクの場合〉

3

▲/▼でお好みのマーカー番号を選び、［決定］を押す

マーカーが設定されます。

設定したマーカーのシーンを再生するには：
マーカー設定画面で、**カーソルボタン[▲/▼]**で頭出ししたいマーカー番号を選び、**[決定]**ボタンを押す

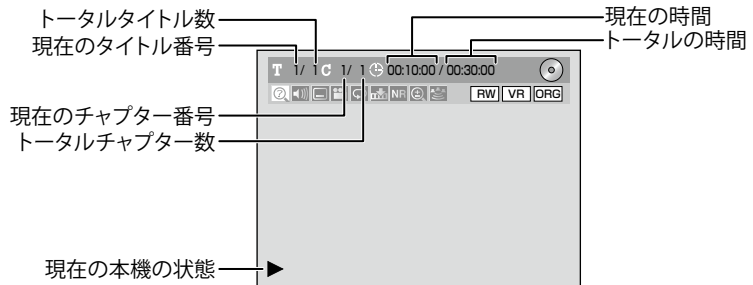
マーカーを消去するには：
消去したいマーカー番号を選び、**[クリア]**ボタンを押す
- 以下の操作をすると、すべてのマーカーが消去されます。
  - ディスクトレイを開く。
  - 電源を切る。
  - 録画のできるディスクに録画する。
  - オリジナルとプレイリストのモードを切り換える。（VRモード）

● ● ● お知らせ ● ● ●

- マーカーは6個まで設定することができます。

サーチ

■ ディスプレイメニューの説明

(例) DVDディスクの場合

● ● ● お知らせ ● ● ●

数字ボタンを使う場合…

- **数字ボタン[10/0]**を押すと"0"が入力されます。"10"を入力するには**数字ボタン[1]**を押したあと、続けて**数字ボタン[10/0]**を押します。
- ディスプレイメニュー画面からのタイトルサーチ/チャプターサーチ/トラックサーチは停止状態でも操作が行なえます。

タイトル/チャプターサーチ

DVD　DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード

[スキップ/頭出し |◀◀ / ▶▶|]ボタンを使う場合：

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に スキップ/頭出し ▶▶| を押す

現在のタイトルまたはチャプターを飛び越し、次へ移動します。

- 1回押すごとにタイトルまたはチャプターがひとつ先に進みます。

[スキップ/頭出し |◀◀]ボタン：

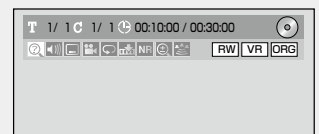
1回押すと、現在のタイトルまたはチャプターの先頭に戻ります。さらに押すと前のタイトルまたはチャプターに戻ります。

[表示]ボタンを使う場合：

1

再生中に 表示 を押す

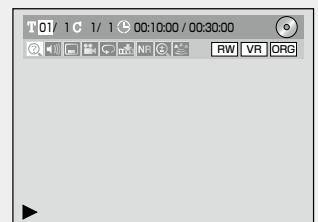
ディスプレイメニュー画面が表示されます。

<DVDディスクの場合>

2

◀/▶で 🔍 を選び、 決定 を押す

T(タイトル)の[番号]が選択されています。
このとき(タイトル番号選択中)再生しているチャプター番号は更新されません。

T(タイトル)：
カーソルボタン[▲/▼]または**数字ボタン**でサーチするタイトル番号を入力し、**[決定]**ボタンを押す
タイトルサーチが始まります。

C(チャプター)：
カーソルボタン[▶]でカーソルをCの[番号]に移動します。
カーソルボタン[▲/▼]または**数字ボタン**でサーチするチャプター番号を入力し、**[決定]**ボタンを押す
チャプターサーチが始まります。

トラックサーチ

[スキップ/頭出し |◀◀ / ▶▶|]ボタンを使う場合：

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に スキップ/頭出し ▶▶| を押す

現在のトラックを飛び越し、次へ移動します。
- 1回押すごとにトラックがひとつ先に進みます。

[スキップ/頭出し |◀◀]ボタン
1回押すと、現在のトラックの先頭に戻ります。さらに押すと前のトラックに戻ります。

[表示]ボタンを使う場合：

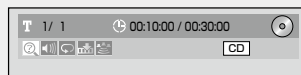
1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

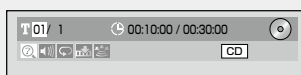
再生中に 表示 を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

〈音楽用CDの場合〉

2

◀/▶で を選び、決定 を押す

T（トラック）の[番号]が選択されています。

〈音楽用CDの場合〉

3

▲/▼または数字ボタンでサーチするトラック番号を入力し、決定 を押す

トラックサーチが始まります。

ダイレクトサーチを使う場合：

再生中に数字ボタンでトラック番号を選ぶ

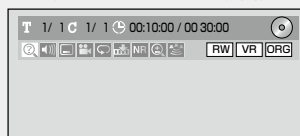
選んだトラックがサーチされます。ただし、ディスプレイ画面表示中はダイレクトサーチはできません。
- JPEGディスクではダイレクトサーチは使用できません

タイムサーチ

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

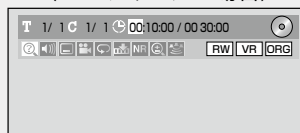
再生中に［表示］を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

〈DVDディスクの場合〉

2

◀/▶で［?］を選び［決定］を押す

- 現在再生中のT（タイトルまたはトラック）の番号が選択されています。
- **カーソルボタン[▶]**で時間を入力したい桁へカーソルを移動させます。

〈DVDディスクの場合〉

3

▲/▼または数字ボタンを押してサーチする時間を入力し、［決定］を押す

タイムサーチが始まります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- タイムサーチ機能は同じトラックおよびタイトルの中でのみ可能です。
- リジューム再生"入"のときは、停止状態からでもタイムサーチすることができます。[➡83ページ]

簡易追っかけ再生

簡易追っかけ再生

録画中の番組を、録画を続けながら番組の冒頭から見ることができます。

録画中または予約録画中に、[再生 ▶] を押す

録画中の番組を冒頭から再生します。
- 再生中の映像が表示されます。
- 録画開始から約1分以内は再生できません。
- 簡易追っかけ再生中はワンタッチタイマー録画は使用できません。**[停止 ■]**ボタンを押して一旦録画中の画面にしてから、ワンタッチタイマー録画を設定してください。

■ 簡易追っかけ再生、簡易同時録画再生 [➥89、90ページ] が可能なディスクについて

- 2倍速・4倍速・6倍速対応のDVD-RWディスクにVRモードで録画した場合のみ可能です。（DVD-Rディスクでは本機能は働きません。）
- 録画モードが、LP、EP、SLPの場合に可能です。

● ● ● お知らせ ● ● ●

簡易追っかけ再生、簡易同時録画再生中は
- 再生中は早送り・早戻し、コマ送り再生、スロー再生などの操作ができます。
- 再生中に**[▶▶]**ボタンまたは**[◀◀]**ボタンを押すたびに再生速度は以下のように変わります。

（2倍速の早送り再生はできません。）

- 再生中はx1.3/0.8再生はできません。
- 早送り再生で録画中の番組の約1分手前に追いついた場合は、通常の再生に戻ります。
- 予約録画時の再生中に録画が終了しても、電源は切れずに再生は継続します。
- 再生中に画像が少し止まることがありますが、録画には影響ありません。

簡易追っかけ再生 （つづき）

簡易同時録画再生

DVD -RW VRモード

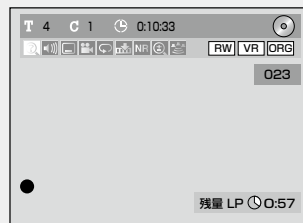
録画中にすでに録画してある番組を見ることができます。

1

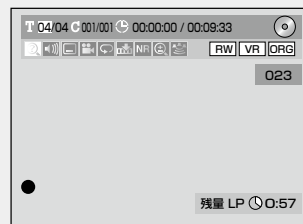
録画中または予約録画中に、

表示

を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

◀/▶で を選び 決定 を押す

- 現在録画中のT（タイトル）の番号が選択されています。

T（タイトル）：
カーソルボタン[▲/▼]または**数字ボタン**で見たいタイトル番号を入力し、**[決定]**ボタンを押すと再生が始まります。

C（チャプター）：
カーソルボタン[▶]でカーソルをCの"番号"に移動する
カーソルボタン[▲/▼]または**数字ボタン**で見たいチャプター番号を入力し、**[決定]**ボタンを押すと再生が始まります。

■ 簡易追っかけ再生中または簡易同時録画再生中に再生や録画を停止する

1

再生中に 停止 ■ を押す

停止位置を記憶したまま再生は停止し、録画は継続します。

再生を再開するには：

[再生 ▶]ボタンを押す
再生を停止した位置から再生が再開されます。

2

もう一度 停止 ■ を押す

録画が停止します。

予約録画を停止するには：

- 本体の**[停止 ■]**ボタン（DVD側）を押す。
- リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押しても、録画を止めることができます。"予約録画を中断しますか？"とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で"はい"を選び、**[決定]**ボタンを押して録画を止めてください。）

リピート/ランダム/プログラム再生

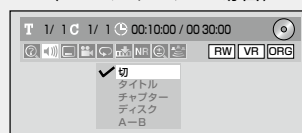
リピート再生

1

再生中に [リピート] を押す

リピートメニュー画面が表示されます。

- **[表示]**ボタンを押し、**カーソルボタン[◀/▶]**で を選んでもリピートメニュー画面が表示されます。

〈DVDディスクの場合〉

2

▲/▼でリピートの項目を選び、[決定]を押す

選択したリピート再生が始まります。

タイトル：
現在のタイトルが繰り返し再生されます。(DVDディスクのみ)

チャプター：
現在のチャプターが繰り返し再生されます。(DVDディスクのみ)

ディスク：
現在のディスクが繰り返し再生されます。
(音楽用CD、DVD-RW/-R(VRモードのみ)、JPEG)

A-B：
A-B間(指定した2点間)が繰り返し再生されます。
"A-B"が選択されている間に**[決定]**ボタンを押すと点(A)入力待ちになります。再度**[決定]**ボタンを押すと開始点(A)が決まります。もう一度**[決定]**ボタンを押すと、終了点(B)が決まります。(DVDディスク、音楽用CD)

グループ：
現在のフォルダが繰り返し再生されます。(JPEGのみ)

トラック：
現在のトラックが繰り返し再生されます。(音楽用CD、JPEG)

リピート再生をキャンセルするには：
[停止 ■]ボタンまたは手順 **2** で"切"を選ぶ

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- A-Bリピート再生は現在のタイトル(DVDディスクの場合)および現在のトラック(音楽用CDの場合)の中でのみ設定することができます。

ランダム再生

この機能ではオリジナルの順番で再生するのではなく、ディスクを順不同に再生することができます。ランダム再生を行なうには、ディスクを停止して、設定を行なってください。

1

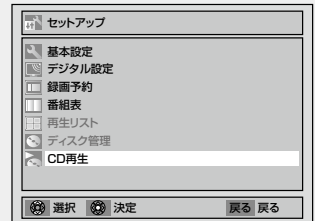
を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“CD再生”を選び、 **を押す**

“CD再生”画面が表示されます。

- JPEGディスク挿入時は“フォト”が表示されますので**[決定]**ボタンを押してください。

3

▲/▼で“ランダム再生”を選び、 **を押す**

ランダム再生が始まります。

ランダム再生をキャンセルするには：
ランダム再生中に、**[停止 ■]**ボタンを2回押す
画面右上に“オフ”が表示され、ランダム再生は解除されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ランダム再生は、ディスクトレイを開けたり、電源を切ると解除されます。

リピート/ランダム/プログラム再生　（つづき）

プログラム再生

CD

お好みの順番で再生するために、ディスクをプログラムすることができます。プログラム再生を行なうには、ディスクを停止して設定を行なってください。

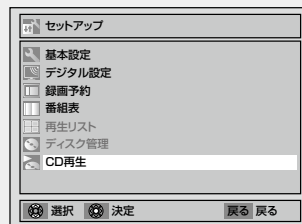
1

セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

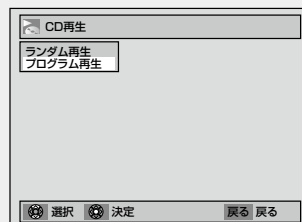
2

▲/▼で“CD再生”を選び、決定を押す

“CD再生”画面が表示されます。

3

▲/▼で“プログラム再生”を選び、

決定を押す

“プログラム再生”画面が表示されます。

4

▲/▼または数字ボタンでトラックを選び、決定または▶を押す

カーソルが次に移動します。

- この操作を繰り返して、2曲目以降を設定します。
- “プログラム再生”画面にはプログラムしたトラックのトータル時間が表示されます。

5

再生

▶ を押す

プログラム再生が始まります。

プログラム再生を解除するには：

プログラム再生中に、**[停止 ■]**ボタンを2回押す

画面右上に“オフ”と表示されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 選択したトラックを削除するには、**[クリア]**ボタンを押します。
- プログラムは50個まで設定できます。
- プログラム再生中は、ディスクトレイを開けたり、電源を切ると解除されます。
- 本機能は音楽用CDディスクでのみご使用になれます。

機能設定を変更する

再生しているディスクの内容によっては、お好みに応じて音声と映像の設定を選択することができます。

音声（言語）を切り換える

■ DVDディスクを再生しているとき

2つ以上の音声（言語：異なる言語の場合があります）が記録されたDVDディスクを再生している場合、再生中に音声（言語）を切り換えることができます。

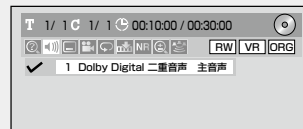
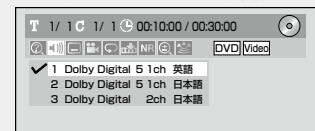
[音声切換]ボタンを使う場合：

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 音声切換 を押す

音声メニュー画面が表示されます。

〈DVD-RW VRモード〉
二重音声記録の場合：

〈DVDビデオの場合〉

2

▲/▼でお好みの音声(言語) を選び、**を押す**

〈DVD-RW VRモード〉
二重音声記録の場合：

カーソルボタン[▲/▼]でお好みの音声チャンネルを選び、[決定]ボタンを押す
音声チャンネルが切り換わります。

[表示]ボタンを使う場合：

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

<DVDディスクの場合>

再生中に 表示 を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

◀/▶で 🔊 を選ぶ

音声メニュー画面が表示されます。

3

上記の「[音声切換]ボタンを使う場合」の手順 2 を行なう

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては音声（言語）の変更はディスクメニューからしかできない場合があります。ディスクメニューを表示するには**[トップメニュー]**ボタンまたは**[メニュー/リスト]**ボタンを押してください。
- VRモードで記録されたDVD-RW/-Rの中には主音声と副音声の両方が入っているものがあります。このとき、“主音声”、“副音声”、“主：副”（左に主音声、右に副音声）を切り換えることができます。本機では“外部入力音声”設定を“二カ国語”設定にし、外部入力 または ダビングした場合に二重音声として記録されます。
- 二重音声のデジタル放送の録画では主音声と副音声を同時に記録することはできません。ディスクに記録したい音声は、57ページの「二カ国語音声を設定する」で設定してください。
- 音声（言語）には、“日本語”や“英語”のほかに、4桁の言語コードで表示される場合があります。詳しくは126ページを参照してください。

機能設定を変更する　（つづき）

■ 音楽用CDを再生しているとき

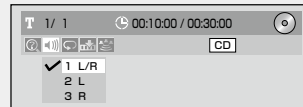
CD

ステレオ（L/R）、左チャンネル（L）のみ、右チャンネル（R）のみを切り換えることができます。

[音声切換]ボタンを使う場合：

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 音声切換 を押す

音声メニュー画面が表示されます。

2

▲/▼でお好みの音声チャンネルを選び、 **を押す**

音声チャンネルが切り換わります。

[表示]ボタンを使う場合：

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 表示 を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

◀/▶で 🔊 を選ぶ

音声メニュー画面が表示されます。

3

上記の「[音声切換]ボタンを使う場合」の手順 2 を行なう

バーチャル3D

DVD　DVD-R VIDEOモード　DVD-R VRモード　DVD-RW VIDEOモード　DVD-RW VRモード　CD

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 表示 を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

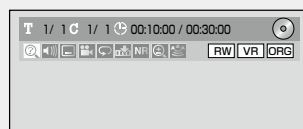
◀/▶で を選ぶ

バーチャル3D画面が表示されます。

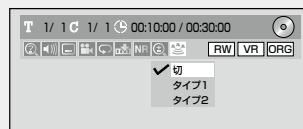
<DVDディスクの場合>

3

▲/▼でお好みの設定を選択し、 **を押す**

T 1/ 1 C 1/ 1 00:10:00 / 00:30:00 RW VR ORG
切
タイプ1
タイプ2

バーチャル3D設定が切り換わります。

切：　オリジナルの音声を再生します。
タイプ1：　サラウンド（標準）
タイプ2：　サラウンド（強）

x1.3/x0.8再生中は、バーチャル3Dの設定は変更できません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
- 音がひずむ場合は、バーチャル3Dを“切”にしてください。
- 音楽用CDでサウンドモードを“L/R”以外（“L”または“R”選択時）に設定している場合は、バーチャル3Dを切り換えることはできますが、出力される音声は切り換わりません。

字幕を切り換える

DVDビデオディスクの中には、複数の言語の字幕が記録されているものがあります。通常切り換え可能な字幕言語についてはディスクのパッケージに記載されています。また、字幕言語は再生中に切り換えることができます。

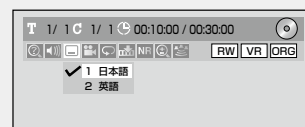
[字幕]ボタンを使う場合：

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 字幕 を押す

字幕メニュー画面が表示されます。

2

▲/▼でお好みの字幕言語を選び、 決定 を押す

選択された字幕言語に切り換わります。

- "切"を選択すると、字幕は表示されません。

[表示]ボタンを使う場合：

1

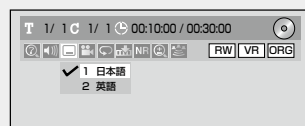
リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に 表示 を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

◀/▶で を選ぶ

字幕メニュー画面が表示されます。

3

上記の「[字幕]ボタンを使う場合」の手順❷を行なう

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては字幕の変更はディスクメニューからしかできない場合があります。ディスクメニューを表示するには**[トップメニュー]**ボタンまたは**[メニュー/リスト]**ボタンを押してください。
- 字幕言語には、"日本語"や"英語"のほかに、4桁の言語コードで表示される場合があります。詳しくは126ページを参照してください。
- 変更した字幕が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。

機能設定を変更する　（つづき）

カメラアングルを切り換える

DVD

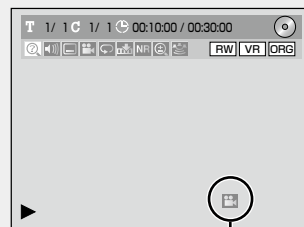
DVDビデオディスクには、2つ以上のアングルから場面を撮影したものがあります。詳しくはディスクのパッケージをご確認ください。マルチアングル場面が含まれている場合、パッケージにアングルマーク（ ）がつけられています。

1

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

表示

再生中に を押す

ディスプレイメニュー画面が表示されます。

カメラアングルが切り換えできる場合は、アングルマークが表示されます。
“セットアップ”—“基本設定”—“再生設定”の“アングルアイコン”でアングルマークの表示・非表示を設定できます。[➡128ページ]

2

◀/▶で を選び、決定 を押す

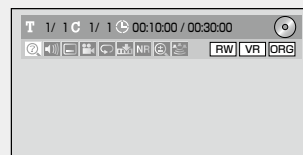
[決定]ボタンを押すたびにアングルが切り換わります。

機能設定を変更する　（つづき）

ノイズリダクション/黒レベルを設定する

DVD / DVD-R VIDEOモード / DVD-R VRモード / DVD-RW VIDEOモード / DVD-RW VRモード

1

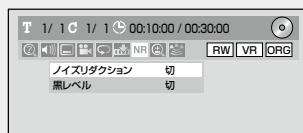
リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させます。

再生中に［表示］を押す

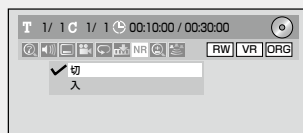
ディスプレイメニュー画面が表示されます。

2

◀/▶で NR を選ぶ

“ノイズリダクション”/“黒レベルメニュー”画面が表示されます。

3

▲/▼でお好みの項目を選び、［決定］を押す

- ノイズリダクションを選択したとき、“ノイズリダクションメニュー”画面が表示されます。
- 黒レベルを選択したとき、“黒レベルメニュー”画面が表示されます。

4

▲/▼でお好みの設定を選び、［決定］を押す

設定が有効になります。

ノイズリダクションの設定

切：DVDビデオディスクのようなノイズのほとんどないディスクを再生する場合に最適です。
入：再生画像のノイズを低減します。SLPのような長時間録画のできるモードで録画されたディスクを再生する場合に最適です。

黒レベルの設定

切：標準の映像で楽しみたいときに選択します。
入：画面の暗いところを見やすくします。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- “ノイズリダクション”を“入”に設定してXP等の高画質モードで録画されたディスクを再生すると、ノイズが発生する場合があります。このときは、“ノイズリダクション”を“切”に設定してください。

JPEGファイル / ピクチャーCDを再生する

JPEGディスクの再生

JPEGが記録されたディスクを挿入する

- "ファイルリスト"画面が表示されます。
- JPEGディスクによっては、サムネイル画面が表示される場合があります。
- グループ（フォルダ）が存在する場合は"□"が表示されます。
- JPEGトラック（ファイル）には"□"が表示されます。

- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す"⇩"が表示されます。前のページがある場合には"⇧"が表示されます。
- 画面右上に現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。このとき、**[スキップ/頭出し ▶▶|]**ボタンを押すと次ページに移動し、**[スキップ/頭出し |◀◀]**ボタンを押すと前ページに移動します。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- **カーソルボタン[◀]**または**[戻る ↩]**ボタンを押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

▲/▼で再生したいグループまたはトラックを選択し、

または

を押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。

グループを選択した場合
カーソルボタン[▶]または**[決定]**ボタンを押し、次に **カーソルボタン[▲/▼]**でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、**[再生 ▶]**ボタンまたは**[決定]**ボタンを押すと再生が始まります。

- **[トップメニュー]**ボタンを押すとファイルリストの表示/非表示を切り換えます。
- 再生しているトラックは、ファイルリスト上でトラック名の色が赤色に変わります。

再生を停止するときは

を押す

セットアップ画面からJPEGディスクを再生するには：

1. 停止状態で**[セットアップ]**ボタンを押す
2. **カーソルボタン[▲/▼]**で"再生リスト"を選び、**[決定]**ボタンを押す
3. "フォト"が選ばれていることを確認し、**[決定]**ボタンを押すと、"ファイルリスト"が表示される
4. **カーソルボタン[▲/▼]**で再生したいグループまたはトラックを選択し、**[再生 ▶]**ボタンまたは**[決定]**ボタンを押す

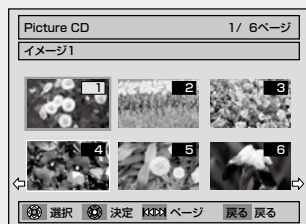
● ● ● お知らせ ● ● ●

- グループ名/トラック名は14〜29文字（表示する文字によって異なります）まで表示できます。漢字、英数、アルファベット、ひらがな、カタカナ、半角カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- 希望するタイムカウントからの再生はできません。
- プログレッシブ形式のJPEG画像は再生できません。
- JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

JPEGファイル / ピクチャーCDを再生する（つづき）

ピクチャーCDの再生

本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDを再生することができます。これらのCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。
※ピクチャーCDは、フィルムやプリント、デジカメのデータなどを、長期保存可能なCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細はコダック(株)の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。

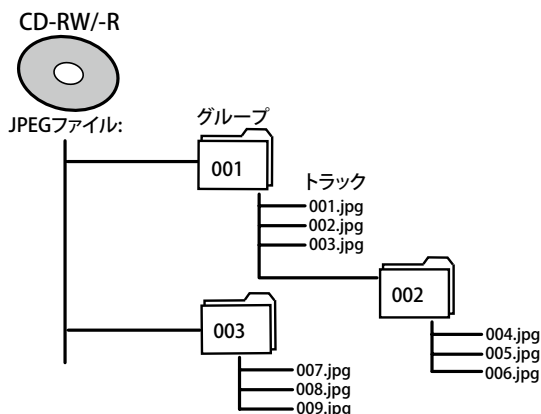
1 ピクチャーCDを挿入する

- 画像一覧が自動で表示されます。
  自動で表示されなければ**[トップメニュー]**ボタンを押してください。
- ページの切り替えは画面内表示の通り、**[スキップ/頭出し|◀◀]**ボタンまたは**[スキップ/頭出し▶▶|]**ボタンで操作します。
- 現在のページ数と総ページ数は画面右上に表示されます。
- すべてのサムネイル画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 ▲/▼/◀/▶で再生したい画像を選び、

- 選択された画像から再生が始まります。画像は“CD再生”の“スライドショー”で設定された時間、“5秒”または“10秒”で表示され、次の画像に移ります。

3 再生を停止するときは 停止 ■ を押す

JPEGファイル形式について

- 「.jpg（JPG）」または「.jpeg（JPEG）」という拡張子がついたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- ディスクに記録されたJPEGファイルはトラックとよばれ、下図のようにグループとよばれるフォルダに分類されます。

- 本機ではExif規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
  ＊Exif（Exchangeable Image File format）はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA（Japanese Electronic Industry Development Association）によって制定されたものです。
- 拡張子が「.jpg（JPG）」と「.jpeg（JPEG）」以外のファイルはJPEGメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.jpg（JPG）」または「.jpeg（JPEG）」がついたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズがでることがあります。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。

再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 12MB以下	最大：6,300×5,100ピクセル 最小：32×32ピクセル

- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- JPEGファイル/ピクチャーCDの画像が表示されている間は、ディスプレイメニュー画面が表示されていない状態で**カーソルボタン[▶]**を押すごとに時計まわりに、**カーソルボタン[◀]**を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。
- グループ名/トラック名は14〜29文字（表示する文字によって異なります）まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- “CD再生”の“スライドショー”表示時間設定が、“5秒”または“10秒”であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

スライドショーの設定

JPEG

1

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“CD再生”を選び、 決定 を押す

“CD再生”画面が表示されます。

3

決定 を押す

4

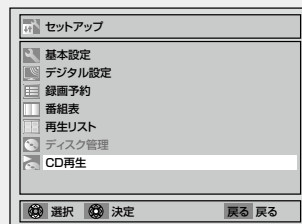
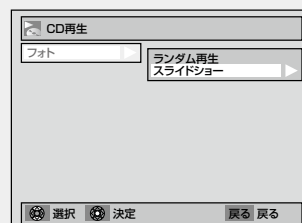
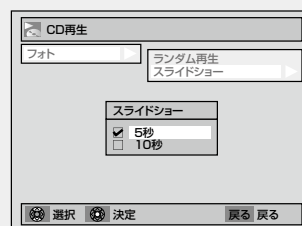
▲/▼で“スライドショー”を選び、 決定 を押す

5

▲/▼でお好みの設定を選び、

を押す

設定が有効になります。

6

セットアップ

を押す

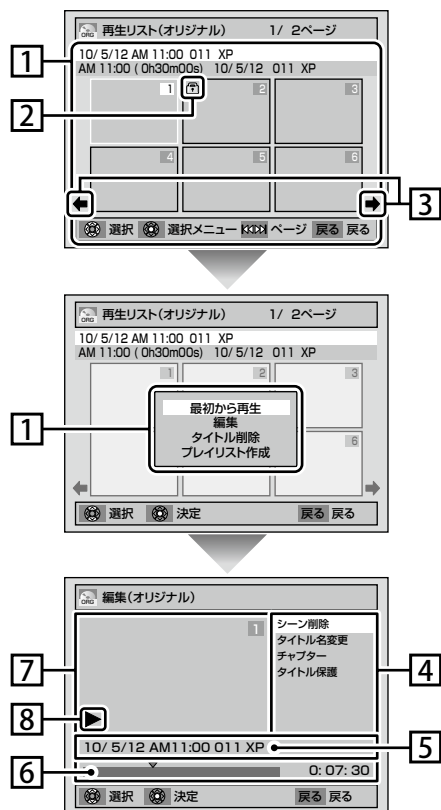
通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- JPEGファイルの容量が大きいと、設定した時間より表示時間が長くなる場合があります。

ディスク編集について

再生リスト画面について

再生リスト画面ではディスクに記録されたタイトルを容易にチェックすることができます。
この画面から編集するタイトルを選び、お好みで容易にタイトルを編集することができます。

1 ディスクに記録されたタイトルです。タイトルにカーソルを合わせて**[決定]**ボタンを押すと再生リストメニュー画面が表示されます。"最初から再生"を選択するとタイトルが再生され、"編集"を選択すると編集画面に移ります。"タイトル削除"を選択すると選択したタイトルが削除され、"プレイリスト作成"を選択するとプレイリストの作成ができます。

2 タイトルが保護されているときに表示される保護アイコンです。(VRモードのオリジナルの場合のみ)

3 再生リストに次または前のページがあることを示す矢印アイコンです。アイコンの方向に合わせて**カーソルボタン[◀/▶]**あるいは**[スキップ/頭出し |◀◀ / ▶▶|]**ボタンを押してください。

4 タイトルをお好みに合わせて編集するためのメニューです。メニューはディスクの種類と録画モードにより変わります。

5 タイトル名を表示します。

6 タイトルの経過時間表示バーです。

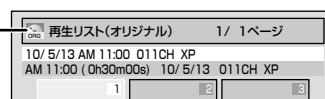
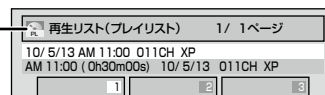
7 選択されたタイトルを縮小してフレーム表示します。

8 選択されたタイトルの再生状態です。

より精度の高い編集をしたいとき

映像は、1秒当たり30コマ(30フレーム)で記録されます。より細かくシーンを選びたいときには、1コマずつ映像を選択できます。
フレーム表示では一時停止、コマ送り・コマ戻しを使いながらシーン削除などの編集を行ないます。

VRモードのタイトルを編集するとき

VRモードのDVD-RW/-Rディスクでは、再生リスト表示のときに、[メニュー/リスト]ボタンを押して"オリジナル"と"プレイリスト"を切り換えます。
編集には、共通項目と、"オリジナル"のみ、"プレイリスト"のみの項目があります。[➡103ページ]

ディスク編集について　（つづき）

編集の操作でできること

本機では、以下の編集機能を使い、お好みに合わせてディスクを編集することができます。

対象	やりたいこと	操作方法
VRモード（プレイリスト／オリジナル）、ビデオモード	● **タイトルを消したい** いらないタイトルを消せます。	**タイトル削除（104ページ）**
VRモード（プレイリスト／オリジナル）、ビデオモード	● **タイトル名を変えたい** タイトル名を変えられます。	**タイトル名の変更（108、109ページ）**
プレイリスト／オリジナル	● **チャプターを追加したい/消去したい** 頭出しがしやすいように、チャプターをさらに細かく分けられます。 また、いくつかのチャプターを消去することもできます。	**チャプターマークを追加/消去する（110、111ページ）**
プレイリスト／オリジナル	● **いらないシーンを消したい** 消したい部分の「はじまり」と「終わり」を指定して消せます。 削除開始点　削除終了点	**シーン削除（106,107ページ）**
プレイリスト／オリジナル	● **プレイリストを追加したい** プレイリストを作ります。	**プレイリストの作成（105ページ）**
プレイリスト	● **タイトルを分割したい/結合したい** お好みの箇所でタイトルを分割できます。また、タイトル同士をつなげることもできます。	**タイトルを分割/結合する（112、113ページ）**
プレイリスト	● **プレイリストのすべてのタイトルを削除したい** プレイリストのすべてを一括して消せます。	**プレイリスト全削除（117ページ）**
VRモードオリジナル	● **タイトルを保護したい** 誤って削除しないようにタイトル保護の設定ができます。	**タイトル保護/解除（114、115ページ）**
ビデオモード（DVD-RWのみ）	● **ひとつのタイトルに一定時間ごとにチャプターを設定したい/消去したい** 頭出しがしやすいように、チャプターを等間隔で設定/消去できます。	**チャプターマークを設定/消去する（116ページ）**

タイトル削除について

■ VRモードのオリジナルタイトルを削除する
VRモードで記録されたオリジナルのタイトルを削除すると、元に戻すことはできません。またプレイリスト上のタイトルも削除されます。

■ VRモードのプレイリストを削除する
オリジナルのタイトルを消すことなく、プレイリストのタイトルを削除しても、再作成ができます。

■ ビデオモードのタイトルを削除する
ビデオモードで記録されたタイトルを削除すると、元に戻すことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVD-Rディスクを一度ファイナライズすると、編集や録画、タイトル削除はできません。
- プレイリストはビデオモードのDVD-RW/-Rディスクに作成することはできません。

タイトルを消したい

タイトルを削除する

DVD VIDEOモード　DVD VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

不要なタイトルを削除することができます。
一度削除されたタイトルを元に戻すことはできません。VRモードのDVD-RWディスクの場合、オリジナルのタイトルを削除すると録画できるディスクスペースが増えます。ビデオモードのDVD-RWディスクの場合、再生リストの最後にあるタイトルを削除すると、録画できるディスクスペースが増えます。DVD-Rディスクの場合、録画できるディスクスペースは増えません。

1

トップメニュー

 を押す

"再生リスト"画面が表示されます。

- 再生リストの上部に、現在選ばれているリスト(タイトルメニュー、オリジナルまたはプレイリスト)が表示されます。
- VRモードのDVD-RW/-Rディスクでは、**[メニュー/リスト]**ボタンを押して、編集したいタイトルが含まれている小画面一覧(オリジナルまたはプレイリスト)を選びます。

2

▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルを選び、

 を押す

"再生リスト"メニュー画面が表示されます。

3

▲/▼で"タイトル削除"を選び、

 を押す

"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

4

▲/▼で"はい"を選び、 **を押す**

確認画面が表示されます。

5

▲/▼で"はい"を選び、 **を押す**

タイトルが削除されます。

6

トップメニュー

 を押す

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

> **この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。**
> メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVD-Rディスクは、ファイナライズを行なうと編集できないため"タイトル削除"は選べません。
- DVD-RW(ビデオモード)ディスクはファイナライズを解除すればタイトルの削除ができます。
- オリジナルのタイトルを削除した場合、そのタイトルを含むプレイリストのタイトルも削除されます。
- プレイリストを編集したディスクを再生する場合は、**[メニュー/リスト]**ボタンを押してプレイリストを表示してください。
- プレイリストのタイトルを削除しても、録画できるディスクスペースは増えません。
- VRモードのオリジナルのタイトルを削除した場合、録画できるディスクスペースが増えるのはDVD-RWディスクのみです。DVD-Rディスクの場合、録画できるディスクスペースは増えません。
- VRモードのプレイリストのタイトルを削除しても、オリジナルのタイトルは削除されません。

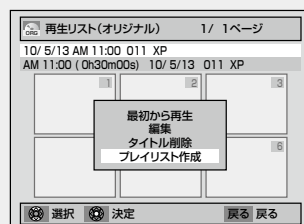
タイトルを追加したい（プレイリスト）

プレイリストにタイトルを追加する

DVD -R VRモード　DVD -RW VRモード

お好みによりプレイリストにタイトルを追加/消去することができます。プレイリストには99タイトルまで追加することができます。

1 **104ページの手順 ❶ ～ ❷ を行ない、“再生リスト（オリジナル）”メニュー画面を表示する**

2 **▲/▼で“プレイリスト作成”を選び、決定を押す**

3 **▲/▼で“はい”を選び、決定を押す**

タイトルが追加されます。

4 トップメニュー

を押す

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

> **この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。**
> メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

いらないシーンを消したい（オリジナル/プレイリスト）

シーンを削除する

タイトルから選択した部分を削除することができます。
DVD-RWディスクの場合、プレイリストからシーンを削除しても、オリジナルのタイトルのシーンは残りますが、録画できるスペースは増えません。また、オリジナルからシーンを削除すると、録画できるスペースが増えますが、関連するプレイリストは削除されます。
DVD-Rディスクの場合、シーンを削除しても、録画できるスペースは増えません。

1

 トップメニュー **を押す**

"再生リスト"画面が表示されます。

- 再生リストの上部に、現在選ばれているリスト（オリジナルまたはプレイリスト）が表示されます。
- VRモードのDVD-RW/-Rディスクでは、**[メニュー/リスト]**ボタンを押して、編集したいタイトルが含まれている小画面一覧（オリジナルまたはプレイリスト）を選びます。

2

▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルを選び、 **決定 を押す**

"再生リスト"メニュー画面が表示されます。

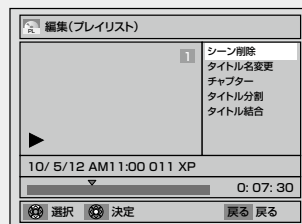
3

▲/▼で"編集"を選び、 **決定 を押す**

"編集"メニュー画面が表示されます。

4

▲/▼で"シーン削除"を選び、 **決定 を押す**

"シーン削除"設定画面が表示されます。
"開始"のみ選択できます。

5

再生、スキップ/頭出し / スキップ/頭出し、◀◀、▶▶ で削除したいシーンの開始点を選び、   **一時停止 を押す**

6

"開始"を選び、 決定 を押す

カーソルは"終了"に移動します。
シーン削除する範囲は赤色のバーで表示されます。

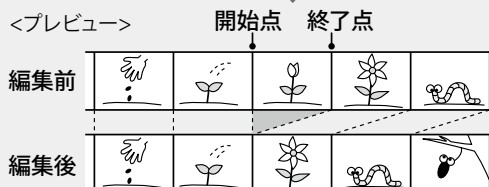
いらないシーンを消したい（オリジナル/プレイリスト）（つづき）

7

手順 5 と同様に削除したいシーンの終了点を選び、 **を押し、**[決定] **を押す**

カーソルはプレビューに移動します。

確認するには:

- カーソルがプレビューにあることを確認し**[決定]**ボタンを押します。
  プレビュー画面で編集後の映像を確認することができます。

- プレビューで、消去後の映像を確認中に"消去"を選んだ場合は、画面の映像がしばらく静止状態になります。映像が静止状態のときは、プレビューをキャンセルするための処理を行なっております。

8

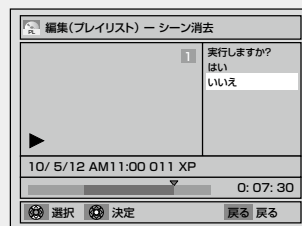
▲/▼で"消去"を選び、[決定] **を押す**

"消去しますか？"とメッセージが表示されます。

9

▲/▼で"はい"を選び、[決定] **を押す**

"実行しますか？"とメッセージが表示されます。

10

▲/▼で"はい"を選び、[決定] **を押す**

タイトルの一部が削除されます。

11

戻る

 を押す

"再生リスト"が表示されます。

12

トップメニュー

を押す

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 開始地点を選んだあと、タイトルの終了地点まで、再生（早送り）したときは、タイトルの最後が終了地点として選ばれます。
- 次に再生するときは、新しく作成されたタイトルからスタートします。

タイトル名を変えたい

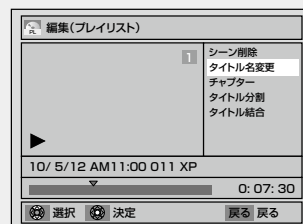
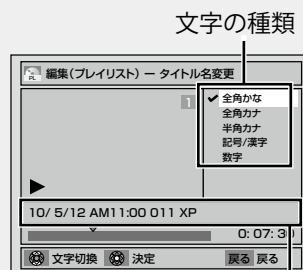
タイトルに名前をつける／名前を変える

DVD -R VIDEOモード　DVD -R VRモード　DVD -RW VIDEOモード　DVD -RW VRモード

この画面では、タイトルに名前をつけたり、名前を変えることができます。
タイトルにつけられた名前は再生リストに表示されます。本機ではデジタル放送を録画したタイトル名の漢字表示には対応しておりますが、タイトル名変更での漢字変換入力には対応しておりません。

1 **106ページの手順 1 ～ 3 を行ない、“編集”メニュー画面を表示する**

2 **▲/▼で“タイトル名変更”を選び、決定 を押す**

タイトル名入力画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの文字の種類を選び、決定 を押す**

文字の種類

タイトル名入力領域

タイトル名を変えたい　（つづき）

4 **下記のリストにしたがって、数字ボタンを押す**

<table>
<tr><th>選択✔ / 押す</th><th>全角かな</th><th>全角カナ</th><th>半角カナ</th><th>記号/英字</th><th>数字</th></tr>
<tr><td>記号 あ 1</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>ｱｲｳｴｵ
ｧｨｩｪｫ</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + , - . /
: ; < = > ? @ [ ] ^ _ { | }</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ABC か 2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ｶｷｸｹｺ</td><td>ABCabc</td><td>2</td></tr>
<tr><td>DEF さ 3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>ｻｼｽｾｿ</td><td>DEFdef</td><td>3</td></tr>
<tr><td>GHI た 4</td><td>たちつてと
っ</td><td>タチツテト
ッ</td><td>ﾀﾁﾂﾃﾄ
ｯ</td><td>GHIghi</td><td>4</td></tr>
<tr><td>JKL な 5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>ﾅﾆﾇﾈﾉ</td><td>JKLjkl</td><td>5</td></tr>
<tr><td>MNO は 6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>ﾊﾋﾌﾍﾎ</td><td>MNOmno</td><td>6</td></tr>
<tr><td>PQRS ま 7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>ﾏﾐﾑﾒﾓ</td><td>PQRSpqrs</td><td>7</td></tr>
<tr><td>TUV や 8</td><td>やゆよ
ゃゅょ</td><td>ヤユヨ
ャュョ</td><td>ﾔﾕﾖ
ｬｭｮ</td><td>TUVtuv</td><td>8</td></tr>
<tr><td>WXYZ ら 9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>ﾗﾘﾙﾚﾛ</td><td>WXYZwxyz</td><td>9</td></tr>
<tr><td>゛゜ 10/0</td><td>濁点 半濁点</td><td>濁点 半濁点</td><td>濁点 半濁点</td><td>ー</td><td>0</td></tr>
<tr><td>スペースわをん 11</td><td>わをんゎ
ー、。</td><td>ワヲンヮ
ー、。</td><td>ﾜｦﾝｰ
､｡</td><td>スペース</td><td>ー</td></tr>
</table>

- 漢字の入力はできません。

文字を消すには:
[クリア]ボタンを押す

- 長押しでハイライトより右側をすべて消去し、続けて長押しで1秒後に左側をすべて消去します。

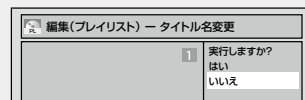
次の文字を入力するには:
カーソルボタン[▶]を押す

- VRモードの場合は全角28文字/半角56文字分、ビデオモードの場合は全角15文字/半角30文字分を入力することができます。
- **カーソルボタン[◀]**を押すとカーソルが左側へ移動します。入力する文字は、カーソルで選択された文字の左側に挿入されます。

5 **を押す**

入力を終了します。
"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

6 **▲/▼で"はい"を選び、** **を押す**

入力した名前がタイトルとなります。

7 戻る **を押す**

"再生リスト"が表示されます。

8 トップメニュー **を押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

チャプターを追加したい/消去したい(オリジナル/プレイリスト)

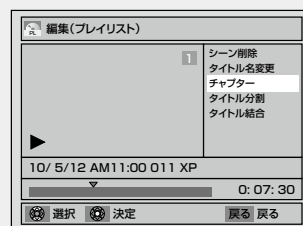
チャプターマークを追加/消去する

各タイトルのお好みの場所にチャプターマークを追加することができます。一度チャプターがマークされれば、チャプターサーチ機能を使ってチャプターを頭出しすることができます。オリジナルとプレイリストに合計999個のチャプターマークをつけることができます。

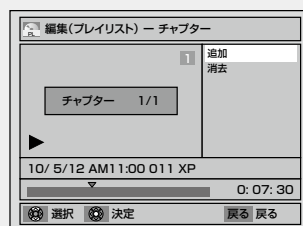
■ チャプターマークを追加する

1 **106ページの手順 1 ～ 3 を行ない、"編集"メニュー画面を表示する**

2 **▲/▼で"チャプター"を選び、決定を押す**

"チャプター"設定画面が表示されます。

3 **再生、スキップ/頭出し ⏮ / スキップ/頭出し ⏭、⏪、⏩ で設定したい箇所を選び、一時停止 を押す**

4 **▲/▼で"追加"を選び、決定を押す**

"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

5 **▲/▼で"はい"を選び、決定を押す**

チャプターマークが追加されます。

6 **戻るを2回押す**

"再生リスト"が表示されます。

7 **トップメニューを押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

チャプターを追加したい/消去したい（オリジナル/プレイリスト）（つづき）

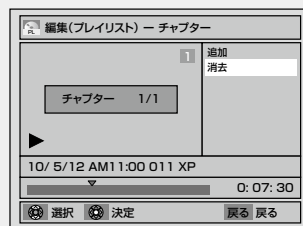
■ チャプターマークを消去する

1

110ページの手順 ❹ で"消去"を選び、

を押す

"はい"、"いいえ"の選択画面が表示されます。

- 各タイトルの1番目のチャプターを消去することはできません。

2

▲/▼で"はい"を選び、決定を押す

選択したチャプターマークが消去されます。

3

戻る を2回押す

"再生リスト"が表示されます。

4

トップメニュー を押す

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

タイトルを分割したい/結合したい(プレイリスト)

ひとつのタイトルを分割する

DVD -R VRモード　DVD -RW VRモード

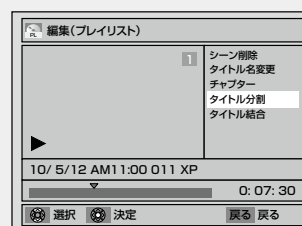
ひとつのタイトルをお好みの箇所で分割し、ふたつのタイトルにすることができます。

1 **106ページの手順 1 ～ 3 を行ない、“編集”メニュー画面を表示する**

2 再生 ▶ 、スキップ/頭出し ⏮ / スキップ/頭出し ⏭ 、⏪、⏩ **を押し、分割したい箇所で 一時停止 ⏸ を押す**

3 **▲/▼で“タイトル分割”を選び、決定 を押す**

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

編集(プレイリスト)
シーン削除
タイトル名変更
チャプター
タイトル分割
タイトル結合
10/ 5/12 AM11:00 011 XP
0: 07: 30
選択　決定　戻る 戻る

4 **▲/▼で“はい”を選び、決定 を押す**

タイトルが分割されます。

5 トップメニュー **を押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 分割後のタイトル名は、両方とも分割元のタイトル名になります。
- プレイリストの総チャプター数が999のとき、タイトル分割はできません。
- プレイリストのタイトル数が99のとき、タイトル分割はできません。

タイトルを分割したい/結合したい(プレイリスト)（つづき）

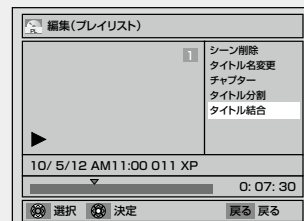
ふたつのタイトルを結合する

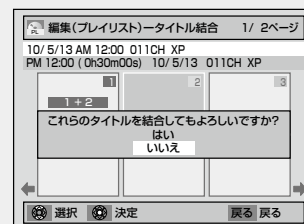
DVD -R VRモード　DVD -RW VRモード

ふたつのタイトルをひとつのタイトルに結合することができます。

1 **106ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“編集”メニュー画面を表示する**

2 **▲/▼で“タイトル結合”を選び、決定を押す**

“プレイリスト”が表示されます。

3 **▲/▼/◀/▶で結合したいタイトルを選び、決定を押す**

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

4 **▲/▼で“はい”を選び、** **を押す**

タイトルが結合されます。

5 トップメニュー **を押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

> **この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。**
> メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 先に選択されたタイトル、後に選択されたタイトルの順に結合されます。
- 結合後のタイトル名は、先に選択されたタイトルのものになります。

タイトルを保護したい（オリジナル）

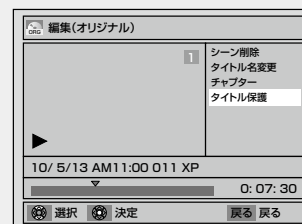
タイトル保護設定

DVD -R VRモード　DVD -RW VRモード

オリジナルでは、タイトルを誤って編集、削除しないように保護することができます。保護されたタイトルは、小画面に“🔒”が表示されます。

1 **106ページの手順 1 ～ 3 を行ない、“編集”メニュー画面を表示する**

2 **▲/▼で“タイトル保護”を選び、決定を押す**

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

3 **▲/▼で“はい”を選び、決定を押す**

保護されたタイトルは、フレーム表示部分に“🔒”のアイコンが表示されます。

4 **戻るを押す**

“再生リスト”が表示されます。

5 **トップメニューを押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

ディスク全体を保護するには:
DVD-RW/-RのVRモードのみ保護できます。
“セットアップ”メニューの“ディスク管理”画面で“ディスク保護”を選び、“はい”を選びます。[➡63ページ]

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 保護されたタイトルを再度編集したいときは、“タイトル保護解除”をする必要があります。

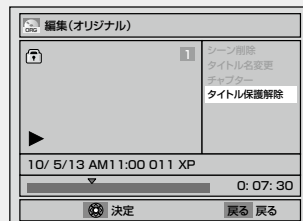
タイトルを保護したい(オリジナル)　（つづき）

タイトル保護解除

タイトル保護によって保護されているタイトルを解除することができます。

1 **106ページの手順 1 ～ 3 を行ない、保護されたタイトルの“編集”メニュー画面を表示する**

2 **“タイトル保護解除”が選ばれていることを確認し、決定 を押す**

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

3 **▲/▼で“はい”を選び、決定 を押す**

4 **戻る を押す**

“再生リスト”が表示されます。

5 **トップメニュー を押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

> **この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。**
> メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

ひとつのタイトルに一定時間ごとにチャプターを設定したい/消去したい（ビデオモード）

チャプターマークを設定/消去する

DVD -RW VIDEOモード

各タイトルにチャプターマークをつけることができます。一度チャプターがつけられると、チャプターサーチ機能を使ってチャプターの頭出しができます。5分以上のタイトルに対してお好みの時間を選択し、設定します。

1 **106ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“編集”メニュー画面を表示する**

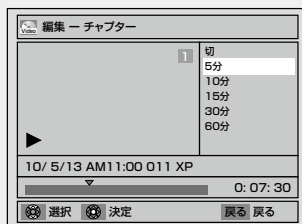
106ページの手順 ❶ ～ ❸

2 **▲/▼で“チャプター”を選び、 を押す**

“チャプター”設定画面が表示されます。

- DVD-RW（ビデオモード）ディスクの場合、5分以上のタイトルでなければ“チャプター”は選択できません。
- DVD-R（ビデオモード）ディスクの場合、“チャプター”は選択できません。

3 **▲/▼でお好みの時間を選び、 を押す**

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

4 **▲/▼で“はい”を選び、 を押す**

選択された時間ごとにチャプターマークが追加されます。
チャプターマークを消去するには:
“切”を選び、“はい”を選ぶ

5 **戻る を押す**

“再生リスト”が表示されます。

6 **トップメニュー を押す**

通常画面に戻ります。
変更内容がディスクに書き込まれます。

> **この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。**
> メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- タイトルの長さを超えてチャプターマークを入力する時間を選択することはできません。
- 手順 ❸ で選択した時間より、チャプター間隔が若干長く（または短く）なることがあります。（最大約1分）
- 5分以上のタイトルでなければ“チャプター”は選択できません。

すべてのタイトルを削除したい(プレイリスト)

プレイリストを削除する

DVD -R VRモード　DVD -RW VRモード

不要になったプレイリストをすべて削除することができます。

1

セットアップ
を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

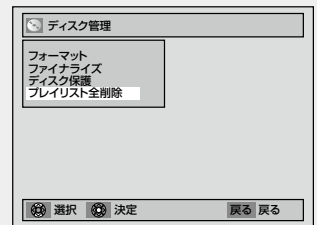
▲/▼で“ディスク管理”を選び、決定を押す

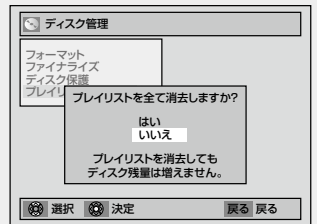
“ディスク管理”画面が表示されます。

3

▲/▼で“プレイリスト全削除”を選び、決定を押す

“はい”、“いいえ”の選択画面が表示されます。

4

▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

確認画面が表示されます。

5

▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

全てのプレイリストが削除されます。

- プレイリストの全削除を実行すると“データ記録中”の表示後、通常画面に戻ります。

変更内容がディスクに書き込まれます。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
メッセージが表示されている間は、DVDの操作を行なうことはできません。

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- プレイリストを消去しても、録画できるディスクスペースは増えません。

設定一覧

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、お買い上げ時の設定を一覧表にしています。

- ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。

設定名	設定項目（　　はお買い上げ時）			設定内容
1. 入力/テレビ画面の設定 119、120ページ	映像入力設定	L1（後面）	映像入力 S映像入力	接続する映像コードの種類を設定
		L2（前面）		
	テレビ画面サイズ		4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン 16:9 ワイド	接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定
2. 音声の設定 121、122ページ	音声設定		DRC　入 切	音声の強弱の幅を調整、またはオリジナル音源のままで出力するかを設定
			ダウンサンプリング 48kHz 96kHz	96kHzのPCMで録音された音声信号を、96kHzで出力するか48kHzに変換して出力するかを設定
			Dolby Digital PCM ストリーム	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
			DTS　入 切	
3. 映像の設定 123、124ページ	プログレッシブ出力		入 切	プログレッシブスキャンの設定
	静止画モード		自動 フィールド フレーム	一時停止中の画質の設定
4. 言語の設定 125ページ	ディスクメニュー言語		日本語 英語 その他の言語	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	音声言語		オリジナル 日本語 英語 その他の言語	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語		切 日本語 英語 その他の言語	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
5. 視聴制限の設定 127ページ	視聴制限の設定		切 8〜1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
6. 表示画面の設定 128〜130ページ	アングルアイコン		入 切	アングルアイコンを表示するか設定
	スクリーンセーバー		切 1分 5分 10分 15分	スクリーンセーバー起動までの時間を設定
	表示管の明るさ		明るい 暗い	本体表示管の照度設定
7. 初期化の設定 131ページ	初期設定に戻す		はい いいえ	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻すかを設定

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 設定を変更すると、その内容は電源を切ったり、ディスクトレイの開閉を行なったときでも保持されます。
- 停止状態でないと、"セットアップ"画面の表示はできません。
- メニュー画面つきDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- ビデオ側がタイマー録画中、または予約待機中の場合、再生設定は利用できます。

入力/テレビ画面の設定

映像入力設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、映像入力設定の変更が必要です。外部機器を接続している場合は、必ずこの設定を行なってください。

(お買い上げ時:映像入力)

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1

セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“基本設定”を選び、決定を押す

“基本設定”画面が表示されます。

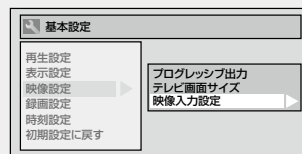
3

▲/▼で“映像設定”を選び、決定を押す

“映像設定”画面が表示されます。

4

▲/▼で“映像入力設定”を選び、決定を押す

“映像入力設定”画面が表示されます。

5

▲/▼で“L1(後面)”または“L2(前面)”を選び、決定を押す

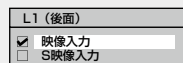
6

▲/▼で接続されている端子を選び、決定を押す

- 映像端子(コンポジット)を使いたいときは、“映像入力”を選択します。
- S映像端子を使いたいときは、“S映像入力”を選択します。

設定が有効になり、“映像入力設定”画面に戻ります。

7

を押す

通常画面に戻ります。

入力/テレビ画面の設定　（つづき）

テレビ画面サイズの設定

お手持ちのテレビ（4:3標準または16:9ワイドスクリーン）に合わせて画面の縦横比を選択することができます。

（お買い上げ時：4:3レターボックス）

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1

セットアップ

を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“基本設定”を選び、 **を押す**

“基本設定”画面が表示されます。

3

▲/▼で“映像設定”を選び、 **を押す**

“映像設定”画面が表示されます。

4

▲/▼で“テレビ画面サイズ”を選び、

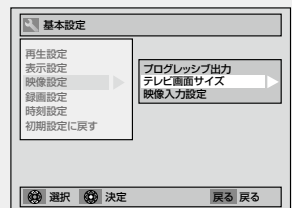
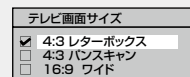
 を押す

“テレビ画面サイズ”設定画面が表示されます。

5

▲/▼でお好みの設定を選び、

 を押す

テレビ画面サイズ
- ☑ 4:3 レターボックス
- ☐ 4:3 パンスキャン
- ☐ 16:9 ワイド

4:3レターボックス：
4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。

4:3パンスキャン：
4:3パンスキャン設定は再生時に有効です。本設定にしてもデジタル放送受信時の映像は4:3レターボックスで表示されます。
4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。
パンスキャン指定のないDVDビデオソフトはレターボックスで表示されます。

16:9ワイド：
16:9ワイドテレビで見るときに選びます。

6

セットアップ

 を押す

通常画面に戻ります。

音声の設定

音声の設定

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1

セットアップ **を押す**

"セットアップ"画面が表示されます。

2

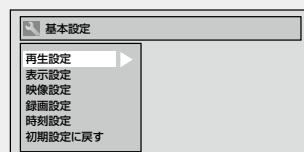
▲/▼で"基本設定"を選び、 決定 を押す

"基本設定"画面が表示されます。

3

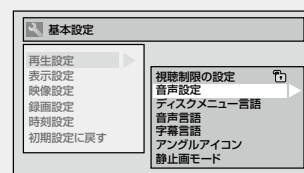
▲/▼で"再生設定"を選び、

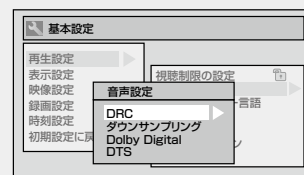
決定 を押す

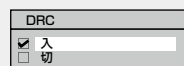
"再生設定"画面が表示されます。

4

▲/▼で"音声設定"を選び、

決定 を押す

デジタル音声出力を設定します。

▲/▼でお好みの項目を選び、 決定 を押す

音声設定項目画面が表示されます。
手順A、B、CまたはDに進みます。

A DRC(ダイナミックレンジコントロール)(お買い上げ時:入)

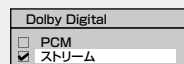
音声の強弱の幅を調整するには"入"に設定します。

B ダウンサンプリング(お買い上げ時:48kHz)

ダウンサンプリング
48kHz
96kHz

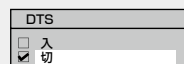
48kHz:
アンプ/デコーダーが96kHzPCM対応でない場合は、"48kHz"を選択します。96kHz音声は48kHzで出力されます。

96kHz:
アンプ/デコーダーが96kHzPCM対応の場合は、"96kHz"を選択します。96kHz音声が出力されます。

C Dolby Digital(ドルビーデジタル)(お買い上げ時:ストリーム)

PCM:
ドルビーデジタルをPCM(2チャンネル)に変換します。
アンプ/デコーダーがドルビーデジタル対応でない場合は、"PCM"を選択してください。

ストリーム:
ドルビーデジタル信号を出力します。
アンプ/デコーダーがドルビーデジタル対応の場合は、"ストリーム"を選択してください。

D DTS(お買い上げ時:切)

入:DTS信号を出力します。
切:DTS信号は出力されません。

音声の設定　（つづき）

5

▲/▼でお好みの設定を選び、 **を押す**

設定が有効になります。

6

セットアップ

 を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DRC機能は、ドルビーデジタル音声で記録されたディスクを、アナログ音声出力した場合または"Dolby Digital"の設定を"PCM"にしてデジタル音声出力した場合にのみ有効です。

二重音声で録画されたVRモードのDVD-RW/-Rディスクを再生しているときは…

- 音声がドルビーデジタルで記録されている場合、"ドルビーデジタル"の設定で"PCM"を選択すると、アンプ/デコーダーでデジタル出力を"主音声"、"副音声"または"主:副"に切り換えることができます。

コピー禁止されたディスクの再生時やバーチャル3D設定が"タイプ1"、"タイプ2"のときは…

- ダウンサンプリングの設定で"96kHz"が選択されていても、デジタル音声は48kHzで出力されます。

映像の設定

プログレッシブ出力の設定

プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は28ページをご覧ください。

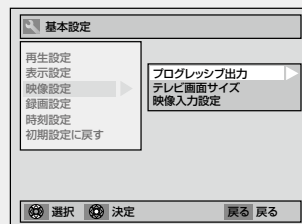
（お買い上げ時：切）

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 **119ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“映像設定”画面を表示する**

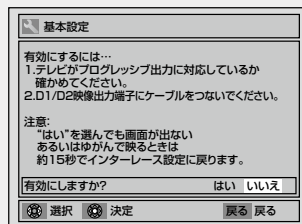
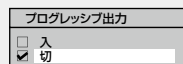
2 **▲/▼で“プログレッシブ出力”を選び、**

を押す

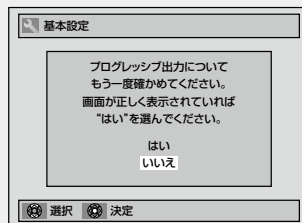
“プログレッシブ出力”設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、決定を押す**

プログレッシブ出力
入
切

- “プログレッシブ出力”を“入”にしたときは、右記画面に移ります。

右記画面で“はい”を選択すると再度確認画面に移ります。

右記画面で“はい”を選択すると“映像設定”画面に戻ります。

4 セットアップ

を押す

通常画面に戻ります。

映像の設定 （つづき）

静止画モードの設定

一時停止の画質を設定します。

（お買い上げ時：自動）

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 **121ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“再生設定”画面を表示する**

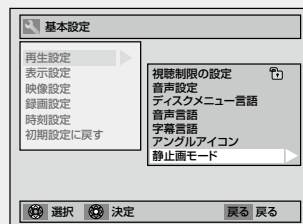
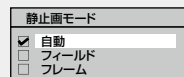
2 **▲/▼で“静止画モード”を選び、**

を押す

“静止画モード”設定画面が表示されます。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、**

を押す

静止画モード
☑ 自動
☐ フィールド
☐ フレーム

設定が有効になり、“再生設定”画面に戻ります。

自動：
表示する静止画の情報を元に“フレーム”/“フィールド”のどちらかで表示されます。

フィールド：
“自動”に設定しても画像のブレが発生するとき設定します。“フィールド”を設定すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

フレーム：
動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。“フレーム”を選択すると、画像は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

4 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

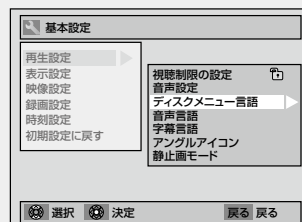
- テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。
  “静止画モード”の“自動”を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

言語の設定

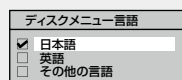
言語の設定

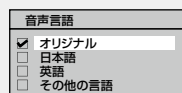
ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 **121ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“再生設定”画面を表示する**

2 **▲/▼で“ディスクメニュー言語”、“音声言語”または“字幕言語”を選び、** **を押す**

■ ディスクメニュー言語（お買い上げ時：日本語）

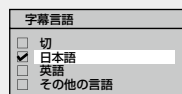
ディスクメニュー言語
☑ 日本語
☐ 英語
☐ その他の言語

ディスクメニュー言語を設定します。

■ 音声言語（お買い上げ時：オリジナル）

音声言語
☑ オリジナル
☐ 日本語
☐ 英語
☐ その他の言語

音声言語を設定します。

- オリジナルが選択されているときは、ディスクの初期設定の音声言語で再生します。

■ 字幕言語（お買い上げ時：日本語）

字幕言語を設定します。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、** **を押す**

設定が有効になり、“再生設定”画面に戻ります。

4 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

“ディスクメニュー言語”、“音声言語”、“字幕言語”で“その他の言語”を選択した場合：
“コード入力”画面が表示されます。
「言語コード一覧表」をご参照ください。
[➡126ページ]
数字ボタンで4桁のコード番号を入力し、[決定]ボタンを押す
“再生設定”画面に戻ります。

<“ディスクメニュー言語”設定の場合>

コード入力
- - - -

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては音声（言語）設定ができない場合があります。
- ディスクによっては字幕の変更や非表示への設定をディスクメニューで行なう場合があります。[➡79ページ]
- ※のついている言語は、ディスクメニュー、音声、字幕設定画面で「言語コード一覧表」[➡126ページ]の言語表示のまま表示されます。それ以外の言語は4桁の言語コードで表示されます。

言語の設定　（つづき）

言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語、オロモ語	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

視聴制限の設定

視聴制限の設定

視聴制限のあるDVDビデオディスクがあります。設定したレベルを超えると再生は停止し、ディスクを再生する前に暗証番号の入力が要求されます。この機能はお子様が不適当な内容を視聴することを防ぎます。

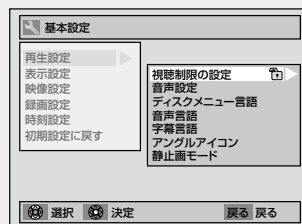
ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 121ページの手順 ❶ 〜 ❸ を行ない、“再生設定”画面を表示する

121ページの手順 ❶ 〜 ❸

2 ▲/▼で“視聴制限の設定”を選び、決定 を押す

■視聴制限の設定（お買い上げ時：切）

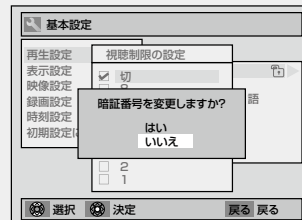
視聴制限レベルを設定します。

切	視聴制限の設定を“切”にします。
レベル8	どのグレードのDVDビデオソフト（成人、一般、子供）でも再生します。
レベル7 から2	一般用と子供向けのDVDビデオソフトのみ再生できます。
レベル1	子供用のDVD ビデオソフトのみ再生できます。

3 ▲/▼で視聴制限レベルを選び、

 を押す

設定が表示されます。
手順AまたはBへ移ります。

A 暗証番号をまだ設定していないとき

“いいえ”を選択すると手順 ❹ で設定した視聴制限レベルで、“再生設定”画面に戻ります。
カーソルボタン[▲/▼]で“はい”を選び、[決定]ボタンを押す

B 暗証番号をすでに設定しているとき

数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力する。

“いいえ”を選択すると暗証番号は前回の設定のままで、“再生設定”画面に戻ります。
カーソルボタン[▲/▼]で“はい”を選び、[決定]ボタンを押す

■ 暗証番号を変更する

数字ボタンで新しい暗証番号を入力し、[決定]ボタンを押す
設定が有効になり、“再生設定”画面に戻ります。
設定が変更され、新しい暗証番号に設定されます。

4

セットアップ を押す

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては視聴制限機能が使えない場合があります。上記の手順で視聴制限機能が操作できるか確認してください。
- 暗証番号は忘れずに記録しておいてください。
- 間違って入力した数字を消すには、**[クリア]**ボタンを押します。
- 暗証番号を忘れてしまったときや視聴制限の設定をすべて消去したい場合は、暗証番号入力画面で**数字ボタン[4]、[7]、[3]、[7]**を入力してください。暗証番号は消去され、視聴制限の設定は“切”になります。

表示画面の設定

アングルアイコンの設定

アングル切換ができるDVDビデオの再生時、画面上にアングルアイコンを表示/非表示します。

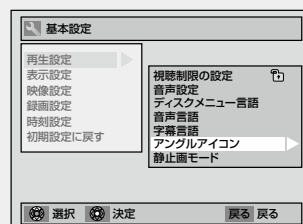
（お買い上げ時：入）

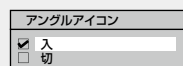
ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 **121ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“再生設定”画面を表示する**

2 **▲/▼で“アングルアイコン”を選び、**

 を押す

“アングルアイコン”設定画面が表示されます。

入：
画面表示をしていなくても、アングルのあるシーンではアングルアイコンが表示されます。

切：
画面表示をしていない場合に、アングルのあるシーンでもアングルアイコンを表示しません。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、決定を押す**

設定が有効になり、“再生設定”画面に戻ります。

4 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

表示画面の設定　（つづき）

スクリーンセーバーの設定

スクリーン上にスクリーンセーバー機能が実行される時間を設定します。
スクリーンに同じ画像を表示したまま放置するとき、テレビ画面の焼き付きを防ぐための設定です。停止状態から設定した時間の無操作でスクリーンセーバーが働きます。[切]を選択したときは、この機能は働きません。

（お買い上げ時：10分）

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 セットアップ を押す

“セットアップ”画面が表示されます。

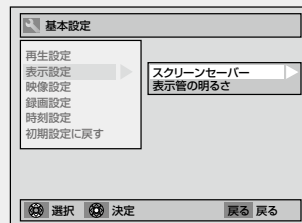
2 ▲/▼で“基本設定”を選び、 決定 を押す

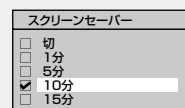
“基本設定”画面が表示されます。

3 ▲/▼で“表示設定”を選び、 決定 を押す

“表示設定”画面が表示されます。

4 ▲/▼で“スクリーンセーバー”を選び、決定 を押す

“スクリーンセーバー”設定画面が表示されます。

5 ▲/▼でお好みの設定を選び、 決定 を押す

設定が有効になり、“表示設定”画面に戻ります。

6 セットアップ を押す

通常画面に戻ります。

表示画面の設定　（つづき）

表示管の明るさの設定

本体表示管の明るさを設定します。

（お買い上げ時：明るい）

ディスクを再生しているときは[停止 ■]ボタンを押す

1 **129ページの手順 ❶ ～ ❸ を行ない、“表示設定”画面を表示する**

2 **▲/▼で“表示管の明るさ”を選び、** **を押す**

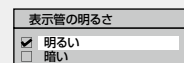
“表示管の明るさ”設定画面が表示されます。

明るい：
本体表示管が明るくなります。

暗い：
本体表示管が暗くなります。

3 **▲/▼でお好みの設定を選び、**

表示管の明るさ
☑ 明るい
□ 暗い

設定が有効になり、“表示設定”画面に戻ります。

4 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 電源切(待機)状態中は、本体表示管は消灯します。状態を確認したい場合は**[表示]**ボタンを押してください。

初期設定に戻す

初期設定に戻す

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 セットアップ を押す

"セットアップ"画面が表示されます。

2 ▲/▼で"基本設定"を選び、決定 を押す

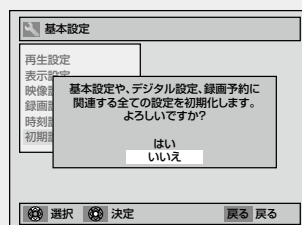
"基本設定"画面が表示されます。

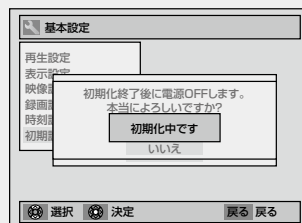
3 ▲/▼で"初期設定に戻す"を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

4 ▲/▼で"はい"を選び、決定 を押す

確認画面が表示されます。

- "いいえ"を選ぶと"基本設定"画面に戻ります。

5 ▲/▼で"はい"を選び、決定 を押す

初期化中はメッセージが表示されます。
初期化が終了すると、電源は自動的にOFFになります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 初期化中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないで下さい。
- DVD、ビデオテープの再生中や録画中またはダビング中の場合は、"初期設定に戻す"はできません。

テープの再生

テープを再生する

1

電源

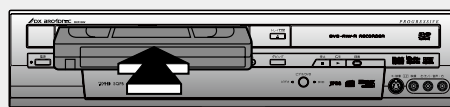
を押し、本機の電源を入れる

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力(ビデオ1など)に切り換える

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

2

ビデオテープを挿入する

- 電源「切」の状態でビデオテープを挿入すると、自動的に電源が入ります。
- ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。

3

再生

▶ を押す

再生が始まります。

4

停止

■ を押す

再生が終了します。

■

ビデオテープを取り出すとき：
ビデオ停止中に**[トレイ開閉/取出し ▲]**ボタンを押す

ビデオのトラッキング調整について

ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズがでる場合があります。その調整を行なうのが、**トラッキング調整で、デジタル調整(自動)とマニュアル調整(手動)の2つの方法**があります。また、テープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行なわれますが、ノイズが少なくならない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

デジタルトラッキング調整

✐ 再生中、自動的に調整します。

マニュアルトラッキング調整

✐ **デジタルトラッキング時**にテレビ画面を見ながら**[チャンネル**∧/∨**]**ボタンで、ノイズが最も少なくなる位置に合わせてください。

- 再生を停止したり、ビデオカセットテープを入れ直すとデジタルトラッキングに戻ります。
- マニュアルトラッキングからデジタルトラッキングにするときは、一度**[停止 ■]**ボタンを押して再生を停止してからもう一度再生してください。

テープの再生　（つづき）

● ● ● お知らせ ● ● ●

テープの再生について

- ビデオテープ挿入直後や、再生停止のあと再び**[再生 ►]**ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。
  （クイックプレイ機能）ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
- テープの再生中、DVDビデオやファイナライズされたビデオモードのDVD-RW、DVD-Rディスクを挿入し、読み込みが完了すると、DVDの自動再生が始まり、映像/音声出力がDVDに切り換わる場合があります。引き続きテープの再生を見るにはリモコンの**[ビデオ]**ボタンまたは本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンを押してから**[再生 ►]**ボタンを押してください。
- デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
- ほかのビデオテープレコーダーで録画したテープを再生/静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
- テープの録画状態により、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。
- テープを最後まで再生したときは、自動的に巻戻されます。テープを先頭まで自動的に巻戻したときは、自動的にテープが排出されます。

画面表示について

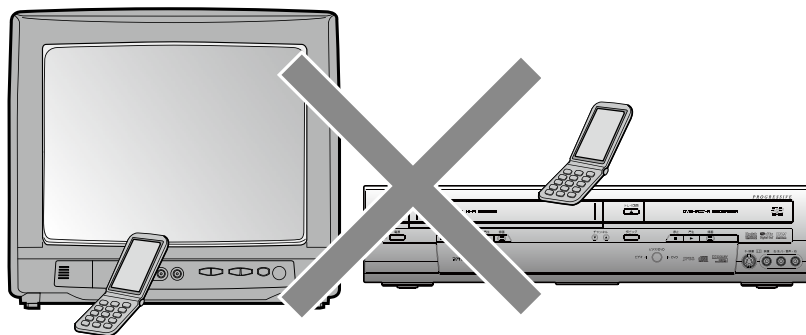
- テープカウンターやチャンネルを画面上に表示させるときは**[表示]**ボタンを押してください。[➡137ページ]
- **[クリア]**ボタンを押すと、テープカウンターをリセットすることができます。

S-VHS簡易再生機能（SQPB）について

S-VHS方式で録画されたビデオテープを簡易的に見ることができます。再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。

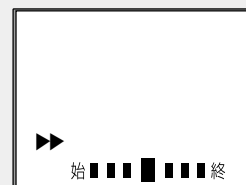
- S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
- S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
- 本機ではS-VHS録画はできません。
- SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
- スピードサーチ/静止のときは、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

携帯電話をご使用になる時はテレビやビデオに近づけないでください

- 音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
  異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

テープの再生　（つづき）

早送り・巻戻し

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。
再生中の場合、[停止 ■]ボタンを押す。

1 **早送りは [►►] を、巻戻しは [◄◄] を押す**

2 停止 **[■] を押す**

早送り・巻戻しを終了します。

スピードサーチ

画面を見ながら、早送り再生/巻戻し再生ができます。（ビデオの音声はでません。）

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

■ スピードサーチ

1 **再生中に [◄◄] または [►►] を押す**

約5倍速で再生します。

2 **通常の再生に戻すときは、** 再生 **[►] を押す**

通常の再生速度に戻ります。

■ 2段階スピードサーチ

1 （録画モード3倍で録画したテープの場合のみ）

再生中に [◄◄] または [►►] を押す

約5倍速と約15倍速の2段階でスピードサーチできます。

- **1回押す**…**約5倍速**で再生します。
- **2回押す**…**約15倍速**で再生します。

録画モード / 操作方法	“標準”	“3倍”
再生中に1回押す	約5倍速で再生	約5倍速で再生
再生中に2回押す		約15倍速で再生

2 **通常の再生に戻すときは、** 再生 **[►] を押す**

通常の再生速度に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- テープを最後まで再生したり、早送りや早送り再生、スロー再生したときは、自動的に巻戻され、テープを先頭まで巻戻したら、自動的にテープが排出されます。
- スピードサーチは再生時以外は操作できません。
- スピードサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
- スピードサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。

テープの再生　（つづき）

スロー再生

テープ

約1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます。
（初期値は約1/12倍速。ビデオの音声はでません。）

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

1 **再生中に 一時停止 を押す**

2 **▶▶ を押す**

- スロースピードを変えるときは・・・
  [▶▶]ボタンを押すと、再生速度が速くなります。
  [◀◀]ボタンを押すと、再生速度が遅くなります。
- スロー再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

3 **通常の再生に戻すときは、 再生 ▶ を押す**

通常の再生速度に戻ります。

●　●　●お知らせ●　●　●

- スロー再生は再生時以外は操作できません。
- 逆スロー再生はできません。

スロー画面でノイズがでるときは…

- **[チャンネル∧/∨]**ボタンでノイズが少なくなるように調整してください。

静止画再生

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。（ビデオの音声はでません。）

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

1 **再生中に 一時停止 を押す**

- 静止画再生中に**[一時停止 ❚❚]**ボタンを押すと、1コマ送ることができます。
- 静止画再生が5分以上続くと、テープ保護のため自動的に停止します。

2 **通常の再生に戻すときは、 再生 ▶ を押す**

通常の再生速度に戻ります。

●　●　●お知らせ●　●　●

- 静止画再生は再生時以外は操作できません。

静止画面でノイズがでるときは…

- 一旦、スロー再生にして**[チャンネル∧/∨]**ボタンでノイズをなくしたあと、もう一度、静止画面に戻してください。
- 画像がブレる場合は、**[チャンネル∧/∨]**ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。
  （場合によっては調整で改善できないことがあります。）
- ほかのビデオテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

テープの再生　（つづき）

テープの頭出し

インデックス記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。
（録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。）

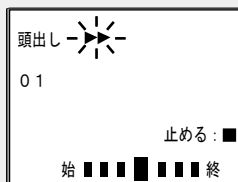
リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

■ 2つ先の番組を頭出しする場合

1

スキップ/頭出し

[▶▶|] を押す

頭出し検索が始まります。

2

例）2つ先の番組を頭出しする場合

スキップ/頭出し

[▶▶|] を再度押し、インデックス番号"02"を選ぶ

- ボタンを押しすぎて、"02"を越えてしまった場合は、**[スキップ/頭出し |◀◀]**ボタンで数字を減らすことができます。
- 頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。
- 頭出しは、最大20まで設定できます。
- 設定した位置にくると、自動的に再生が始まります。

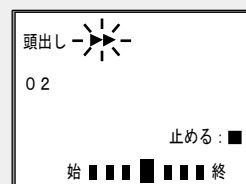
● ● ● お知らせ ● ● ●

頭出しについて

今見ている番組 ▼

ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画

インデックス　03　02　01　01　02　03

|◀◀ 前　　次 ▶▶|

- インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
- テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1～2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
- 手順 ❶ で**[スキップ/頭出し |◀◀]**ボタンを押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。**[スキップ/頭出し |◀◀]**ボタンまたは**[スキップ/頭出し ▶▶|]**ボタンを押すごとにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
- 再生開始位置は若干前後する場合があります。

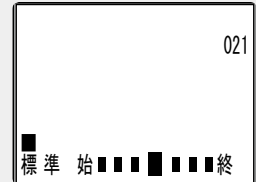
テープの再生　（つづき）

テープポジション

現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

テープポジションが表示されるまで [表示] を押す

- 現在のテープの位置が"■"で表示されます。
- 早送り/巻戻しを行なうと自動的にテープポジション表示になります。（ただし、カウンター表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行なうと、テープポジション表示は消えます。

30秒スキップ

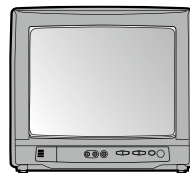
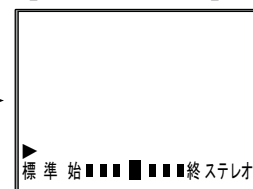
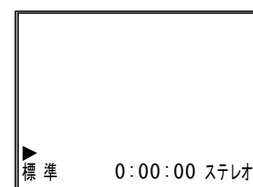
コマーシャルなどを早送りしたいときなどに、テープを30秒単位で早送り再生します。

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

再生中に [30秒スキップ] を押す

ビデオの音声はでません。
- 押すごとに約30秒ずつ加算されます。
（最大180秒の早送り再生ができます。）
1回押すと：約30秒早送り再生します。
2回押すと：約60秒早送り再生します。
3回押すと：約90秒早送り再生します。
- 指定した時間が経過すると、通常の再生に戻ります。

表示ボタンの使いかた

再生中に**[表示]**ボタンを繰り返し押すと、下図のようにテレビ画面が変わります。
デジタル放送を視聴中の場合、**[表示]**ボタンを押すと、視聴中の番組に関する情報が最初に表示されます。

カウンターリセットするときは、**[クリア]**ボタンを押します。

●　●　●　お知らせ　●　●　●

- 録画や再生中にテープポジション表示に切り換えた際、テープ位置を示す"■"が表示されるまで2分ほどかかる場合があります。
- T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、テープ位置が正しく表示されない場合があります。
- ワンタッチタイマー録画中は、**[表示]**ボタンを押すと残り時間が表示されます。
- **[30秒スキップ]**ボタンは再生時以外は操作できません。

テープへの録画

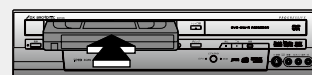
テレビ番組の録画（ビデオ）

1 電源 を押し、本機の電源を入れる

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

2 ツメの折れていないビデオカセットテープを挿入する

ツメが折れている場合は録画できません。

3 録画モード で録画モードを選ぶ

"標準" ⇄ "3倍"

詳しくは、15ページの「録画モードについて」を参照してください。

標 準

4 チャンネル ∧ / ∨、数字ボタンまたは 入力切換 ボタンで録画したいチャンネルを選択する

ロゴ 015 1 ○○テレビ PM11:00

5 録画 を押す

録画が始まります。

● 標 準

6 停止 ■ を押す

録画を終了します。

■

■ 録画中にコマーシャルなどをカットする

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

1 録画中に 一時停止 ❚❚ を押す

テープの走行が一時停止します。

- 画面に"■"マークが表示され、1分で1個ずつ左から消えていきます。また、本体表示管の録画表示が点滅します。
- 最後の"■"マークが点滅し、合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。

■■■■■

2 録画 を押す

録画を再開します。

- **[一時停止 ❚❚]**ボタンを押しても録画を再開します。

● 標 準

● ● ● お知らせ ● ● ●

録画モードについて

- 録画モードを変更するときは、**[録画モード]**ボタンで録画モードを選びます。録画中も変更することができます。
- 画質、音声を優先するときは"標準"、録画可能時間を優先するときは"3倍"で録画してください。ただし"3倍"で録画すると画質/音質は、"標準"より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…

- **[一時停止 ❚❚]**ボタンを押してから**[チャンネル**∧/∨]ボタンで変えます。
- 録画するチャンネルが同じであれば、DVDとビデオの両方に録画することができます。

録画中にテープが終わると…

- 自動的にテープを巻戻し、排出します。

録画中にテレビ/DVDを見るには…

- 他のチャンネルを視聴したい場合は録画を停止してチャンネルを切り換えてください。
- DVDを見るときは、**[DVD]**ボタンを押してください。
- ビデオ録画中に**[電源]**ボタンを押すと録画が停止し、電源が切れます。このときビデオとDVDの両方に録画中の場合は、DVDに切り換わり、DVDへの録画は継続されます。

テープへの録画 （つづき）

ワンタッチタイマー録画

簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

1 138ページの手順 ❶ 〜 ❹ を行なう

138ページの手順 ❶ 〜 ❹

2 テレビ画面にお好みの録画時間が表示されるまで、[録画] を繰り返し押す

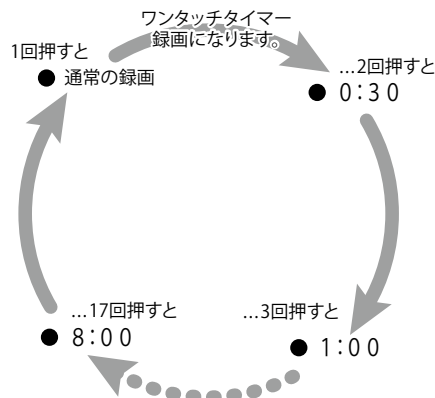
●(0：30)
標 準

- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。そのあと本機を使用する場合は、**[電源]**ボタンを押してください。
  また、録画予約が入っている場合は、録画時間が終了すると自動的に予約待機状態になります。ビデオの予約待機中に引き続きビデオ側を使用する場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押してください。DVD側を使用する場合は、**[電源]**ボタンを押してください。
- ワンタッチタイマー録画中は本体表示管のタイマーセット表示と録画表示が点灯します。

ワンタッチタイマー録画中に録画時間を変更するには：
[録画]ボタンを押す

指定した時間より前にワンタッチタイマーを停止するには：
[停止 ■]ボタンを押す

録画時間セットについて

- 本体の**[録画]**ボタン（ビデオ側）を押すごとに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

ワンタッチタイマー録画中は

- DVDの再生または録画中にビデオでのワンタッチタイマー録画が終わると、ビデオは録画停止しますがDVDは再生または録画を続けます。
- 本体の**[録画]**ボタン（録画時間変更）、**[停止 ■]**ボタン（録画停止）、**[電源]**ボタン（録画停止後に電源「切」）、**[表示]**ボタン、リモコンの**[録画]**ボタン以外は働きません。一時停止などもできません。
- テープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。
- 停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。
- **[電源]**ボタンを押すと録画が停止し、電源が切れます。

録画時間表示について

- ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。（残りの録画時間を確認するには**[表示]**ボタンを押してください。）[➡137ページ]

テープへの録画 （つづき）

音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声（二カ国語）放送を楽しめます。

- **Hi-Fi録画されたテープを再生した場合**
  自動的にステレオモードに切り換わります。
  [音声切換]ボタンを押すことにより音声と音声表示が、“ステレオ”→“左音声”→“右音声”→“モノラル”に切り換わります。

音声モード	Hi-Fiテープ再生時	画面表示
ステレオ	ステレオで聞こえる	“ステレオ”
左（主）	両方のスピーカーから左の音声が聞こえる	“左音声”
右（副）	両方のスピーカーから右の音声が聞こえる	“右音声”
ノーマル	モノラルで聞こえる	“モノラル”

- **二重音声放送（二カ国語放送）を受信した場合**
  音声は自動的に二重音声モードに切り換わります。
  [音声切換]ボタンを押すことにより音声と音声表示が、“主音声”→“副音声”→“主：副”に切り換わります。
  このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

音声モード	二重音声放送受信時	画面表示
ステレオ	左から主音声（日本語）右から副音声（外国語）が聞こえる	“主：副”
左（主）	両方のスピーカーから主音声（日本語）が聞こえる	“主音声”
右（副）	両方のスピーカーから副音声（外国語）が聞こえる	“副音声”

- **二重音声放送（二カ国語放送）を録画したテープを再生した場合**
  デジタル放送の二重音声放送（二カ国語放送）の録画はセットアップの“二カ国語音声”設定に従い、主音声、または副音声のどちらか一方しか記録されません。また、記録したテープを再生中に**[音声切換]**ボタンで“ステレオ”/“左音声”/“右音声”/“モノラル”に切り換えても主音声、または副音声のどちらかとなります。

- 本機は常に次の2つの方法で録音します。
  Hi-Fi録音：
  音声専用回転ヘッドによるFM録音方式を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
  Hi-Fi録音では、ステレオ放送はステレオで二重音声（二カ国語）放送は左右に二カ国語音声設定での主音声、または副音声が、二カ国語設定時の外部入力は左に主音声、右に副音声が記録されます。モノラル放送は、左右に同じ音声が録音されます。
  ノーマル録音：
  従来のビデオと同じ録音方式のモノラルで録音します。
  ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、二重音声（二カ国語）放送は二カ国語音声設定での主音声、または副音声が、二カ国語設定時の外部入力は主音声だけが記録されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。
- Hi-Fi録音されたテープをHi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合は、ノーマル音声になります。
- Hi-Fi録音されたテープをDVDへダビングすると、音声モードはステレオで再生されます。（音声モード設定がノーマルの場合を除く）
- デジタル放送では、二カ国語放送は、マルチ音声放送と二重音声放送の二種類があり、マルチ音声は複数のストリームで放送しています。
- デジタル放送のマルチ音声を記録する場合は、
  - 現在視聴中の番組を録画するときは、視聴中の音声が記録されます。
  - 本機の予約待機状態から録画予約の録画を実行するときは、放送波からの初期設定音声が記録されます。
  - 本機の電源が入った状態から録画予約の録画を実行するときは、録画開始の直前に選ばれていた音声が記録されます。

録画予約

日時を指定して録画予約する

本機では1カ月先までの12の録画プログラムを設定することができます。さらに、毎日または毎週のプログラム録画の設定が可能です。

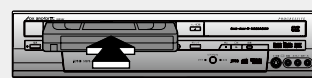
- 録画予約を行なう前に時計を必ずセットしてください。[➡34ページ]

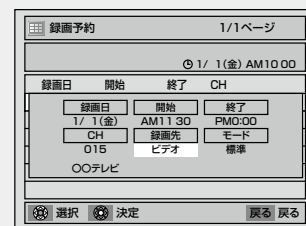
1 電源 を押し、本機の電源を入れる

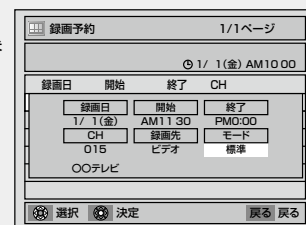
次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

2 **ツメの折れていないビデオテープを挿入する**

ツメが折れている場合は録画できません。

3 **64ページの手順 1 〜 5 を行ない、録画予約の設定をする**

4 **▲/▼で録画先の"ビデオ"を選び、▶を押す**

5 **▲/▼で録画モードを選ぶ**

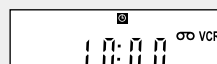
詳しくは、15ページの「録画モードについて」を参照してください。

6 **すべての項目にお好みの設定を入力後、決定 を押す**

予約設定が確定されます。

続けてほかの予約をするには：
"新規予約"を選択し、予約内容を入力してください。

終了するには：
[セットアップ]ボタンを押す

7 セット **を押す**

予約をセットします。
ランプと"VCR"、ビデオテープのアイコンが本体表示管に表示され、予約待機状態になります。

表示は約 5 秒後に自動的に消えます。表示を確認したい場合は、**[表示]**ボタンを押してください。

録画予約（つづき）

● ● ● お知らせ ● ● ●

- テープが本機に挿入されていない場合や、ツメの折れたテープが挿入されている場合、予約待機状態にすると本体表示管の“VCR”が点滅し、録画予約は実行されません。録画可能なテープを挿入し直してください。
- DVDビデオやファイナライズされたビデオモードのDVD-RW、DVD-Rディスクが挿入された状態で電源を入れ、録画予約を設定中にディスクの読み込みが完了すると、自動再生が始まり“予約リスト”画面がキャンセルされる場合があります。“予約リスト”画面に戻すには、[**停止 ■**] ボタンを押してディスクの再生を停止し、手順 ❸ から再度、録画予約の設定を行なってください。
- 録画予約の設定中にディスクトレイを開閉すると、“録画予約”画面がキャンセルされます。
- 開始時刻に過ぎた時刻を入力した場合、**[タイマーセット]**ボタンを押すとすぐに録画が開始されます。
- 日にちをまたぐ予約設定をするには、録画開始日を入力し、録画開始時刻をPM、終了時刻をAMに設定してください。
  （例）午後11時から午前1時の録画予約を設定する場合は、録画開始日を入力し、録画開始時刻をPM11:00、終了時刻をAM1:00に設定します。
- DVDの録画予約終了後、DVD側の録画予約の終了時刻とビデオ側の録画予約の開始時刻を同じ時刻に設定した場合、本体表示管の 🕒、RECや録画時間が表示されない場合があります。本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンまたはリモコンの**[ビデオ]**ボタンを押して表示の切り換えを行なってください。
- 手順 ❹ 、❺ で**[戻る ↩]**ボタンを押すと入力したすべての項目の設定が消去され、”予約リスト”画面に戻ります。
- 録画開始時刻の約5分前になっても電源が入っている場合は、“録画予約時刻になりますので**[タイマーセット]**ボタンを押してください。”とメッセージが表示されますので、**[タイマーセット]**ボタンを押して本機を予約待機状態にしてください。
- 録画予約が重なった場合、“予約時刻が重なっています”のメッセージが表示され、重なっている予約は“予約リスト”画面で青色で表示されます。
- 録画予約実行中に停止したいときは本体側の**[停止 ■]**ボタンを押してください。リモコンの**[停止 ■]**ボタンを押した場合は、“予約録画を中断しますか？”とメッセージが表示されますので、**カーソルボタン[▲/▼]**で“はい”を選び、決定を押して録画を止めてください。
- 録画予約実行中にテープが最終端になると自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。

まだ時計を設定していないときは：

- 手順 ❸ で時計を設定する画面が“予約リスト”画面の代わりに現れます。録画予約をする前に34ページの「時計合わせ」の手順 ❺ 以降を行なってください。

番組表からの予約について

- 番組表を使用して録画予約をすることができます。[➡66ページ]

サテライト予約について

- サテライト予約を使用して録画予約をすることができます。[➡74、75ページ]

ダビングをする

ビデオからDVDへダビングをする

ビデオテープが複製禁止の場合、コピーはできません。

■ ダビングの準備

録画可能なディスクを挿入してください。

ディスクへコピーする場合の注意:

- ディスクが録画可能なディスクであることを確認してください。詳しくは11、12ページを参照してください。

1

セットアップ

を押す

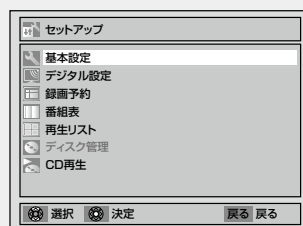
“セットアップ”画面が表示されます。

2

▲/▼で“基本設定”を選び、

決定 を押す

“基本設定”画面が表示されます。

3

▲/▼で“録画設定”を選び、 **を押す**

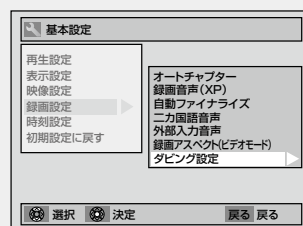
“録画設定”画面が表示されます。

4

▲/▼で“ダビング設定”を選び、

を押す

“ダビング設定”画面が表示されます。

5

▲/▼で“ビデオ→DVD”を選び、

を押す

6

▲/▼で“外部入力音声”を選び 決定 を押す

7

▲/▼で“ステレオ”または“二カ国語”を選び、決定 を押す

- ビデオの音声がステレオ音声のときは、“ステレオ”を選択します。
- ビデオの音声が二カ国語のときは、“二カ国語”を選択します。

8

セットアップ

を押す

通常画面に戻ります。

9

DVD

を押す

DVD操作に切り換えます。
本体のDVD操作用ランプが点灯します。

10

録画モード

で録画モードを選ぶ

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」を参照してください。

11

ビデオ

を押す

ビデオ操作に切り換えます。
本体のビデオ操作用ランプが点灯します。

12

再生 ▶

を押し、録画を始めたいシーンまで再生させてから、

一時停止 II

を押す

再生を一時停止します。

13

ダビング

を押す

ビデオからDVDへのダビングが始まります。

14

停止 ■

を押す

ダビングを停止します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

ビデオからDVDへのダビングについて:

- ダビングを開始したあと、映像が少し乱れることがありますが、これはデジタルトラッキング機能が働いているためで、故障ではありません。画像の乱れがなくなるまでテープを再生し、ダビングを始めたい位置にテープを合わせてから、ダビングを開始するようにしてください。
- 再生される音声は、"モノラル"以外に設定した場合は"ステレオ"になります。詳しくは140ページを参照してください。録画される音声の設定については58ページを参照してください。
- ダビング中に、ビデオテープの再生映像がない状態が約3分間続いた場合は、自動的にダビングを停止します。
- ダビング設定は、ディスクやテープが複製禁止でない場合のみ有効です。DVDやビデオが複製禁止の場合、録画エラーが表示されたり、画像が乱れコピーコントロールが入りダビングはできません。
- ダビング中はビデオとDVDの切り換えはできません。

"外部入力音声"を"ニカ国語"に設定しニカ国語音声のビデオテープをダビングすると:

- VRモードのディスクの場合、その後の再生で"主音声"・"副音声"・"主:副"(左に"主音声"、右に"副音声")と音声を切り換えることができます。再生時に音声を切り換える方法は94ページを参照してください。
- ビデオモードのディスクの場合、"ニカ国語音声"で設定されている音声(主音声または副音声)が記録されます。上記設定でステレオ音声のビデオテープをダビングしても左音声は主音声、右音声は副音声として記録されます。

"外部入力音声"を"ステレオ"に設定しニカ国語音声のビデオテープをダビングすると:

- VRモードのディスクの場合、その後の再生で音声を切り換えることはできません。再生時には左に主音声、右に副音声となります。
- ビデオモードのディスクの場合主音声と副音声が混ざって記録されます。再生時には左に主音声、右に副音声となります。

ダビングをする　（つづき）

DVDからビデオへダビングをする

DVDディスクが複製禁止の場合、コピーはできません。
必要なタイトルを選択してのダビングは出来ません。

■ ダビングの準備

ツメの折れていないテープを挿入してください。
テープへコピーする場合の注意：

- テープのツメが折れていないか確認してください。
- テープにコピーしようとするディスクの長さ以上の録画可能スペースがあるか確認してください。

1 **143ページの手順 1 ～ 4 を行なう**

2 **▲/▼で"DVD→ビデオ"を選び、決定を押す**

3 セットアップ **を押す**

通常画面に戻ります。

4 ビデオ **を押す**

ビデオ操作に切り換えます。
本体のビデオ操作用ランプが点灯します。

5 録画モード **で録画モードを選ぶ**

"標準" ⇄ "3倍"

詳しくは、15ページの「録画モードについて」を参照してください。

6 DVD **を押す**

DVD操作に切り換えます。
本体のDVD操作用ランプが点灯します。

7 再生 **を押し、録画を始めたいシーンまで再生させてから、** 一時停止 **を押す**

再生を一時停止します。

8 ダビング **を押す**

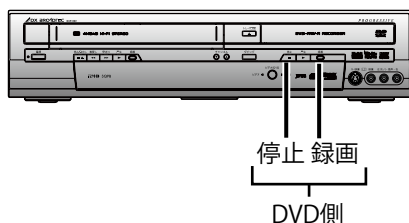
DVDからビデオへのダビングが始まります。

9 **ダビングを終了させたい位置まできたら** 停止 **を押す**

ダビングを停止します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ダビング設定を"DVD→ビデオ"に設定したあとに本機の電源を切ると、次に電源を入れたとき、ダビング設定は自動的に"ビデオ→DVD"設定に戻ります。

ダビングをする　（つづき）

外部機器からDVDへ録画する

外部入力からの録画を始める前に、119ページの「映像入力設定」の説明をご参照ください。

1

電源 を押し、本機の電源を入れる

次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[DVD]ボタンを押し、本体のDVD操作用ランプを点灯させせます。

- 録画できるディスクを入れます。
- 本機がディスク情報を確認します。

この操作はディスクを認識するのに時間がかかる場合があります。

2

入力切換 で本機の入力切換を、接続している外部入力端子に切り換える

"L1""L2"が表示されるまで**[入力切換]**ボタンを押してください。

→ L1 → L2 → 101ch（デジタル放送のチャンネル）

L1：後面入力端子
L2：前面入力端子

3

外部入力音声を選ぶ

ビデオモード：
"外部入力音声"設定を"ステレオ"、"二カ国語"から選びます。
"二カ国語"に設定した場合、"二カ国語音声"設定を"主音声"、"副音声"から選びます。[➡57、58ページ]
VRモード：
"外部入力音声"設定を"ステレオ"、"二カ国語"から選びます。[➡58ページ]

4

録画モード で録画モードを選ぶ

詳しくは、13ページの「DVD録画モードについて」を参照してください。

5

本体の 録画 （DVD側）を押す

録画が始まります。
リモコンの**[録画]**ボタンでも動作します。

6

録画する外部機器の再生ボタンを押す

7

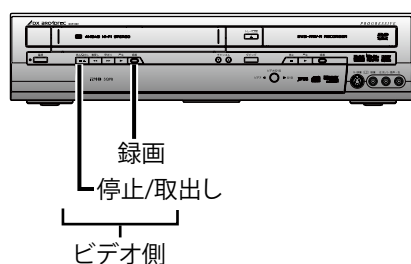
本体の 停止 ■ （DVD側）を押す

録画を終了します。
リモコンの**[停止 ■]**ボタンでも動作します。

この操作はディスクに書き込むのに時間がかかる場合があります。
"データ記録中"と表示されている間は、ディスクに書き込んでいます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ダビングを止めるときは、録画する機器（本機）を止めてから再生する機器を止めてください。
- 誤動作を防ぐために、録画する機器の操作は、本体ボタンを使用することをおすすめします。
- 接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
- BSデジタル/110度CSデジタル/地上デジタルチューナーからデジタル放送の「1回だけ録画可能」番組を録画するときは、VRモードのDVD-RW/-R（CPRM対応）ディスクのみに録画できます。[➡14ページ]

ダビングをする （つづき）

外部機器からテープへ録画する

外部入力からの録画を始める前に、119ページの「映像入力設定」の説明をご参照ください。

1 電源 を押し、本機の電源を入れる
次にテレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に切り換える

リモコンの[ビデオ]ボタンを押し、本体のビデオ操作用ランプを点灯させます。

2 ツメの折れていないビデオテープを挿入する

ツメが折れている場合は録画できません。

3 入力切換 で本機の入力切換を、接続している外部入力端子に切り換える

"L1""L2"が表示されるまで**[入力切換]**ボタンを押してください。

L1 → L2 → 101ch (デジタル放送のチャンネル)

L1：後面入力端子
L2：前面入力端子

4 録画モード で録画モードを選ぶ

"標準" ⇄ "3倍"

詳しくは、15ページの「録画モードについて」を参照してください。

5 本体の 録画 （ビデオ側）を押す

録画が始まります。
リモコンの**[録画]**ボタンでも動作します。

6 録画する外部機器の再生ボタンを押す

7 本体の 停止/取出し ■▲ （ビデオ側）を押す

録画を終了します。
リモコンの**[停止 ■]**ボタンでも動作します。

故障かな?と思ったときは

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または船井サービス㈱カスタマーセンターにお問い合わせください。

■ 共通

症状	主な原因	対応	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがはずれている	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	–
	● 内部の保護回路が働いている可能性があります	● 安全保護装置が働いていることがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜きしばらく(1時間程度)時間をおいて、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。	–
	● DVDとビデオの両方に録画予約(一方がサテライト予約を含む)があり、予約待機状態である	● **[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。	69
リモコンで操作できない	● リモコンが本体の受光部に向いていない	● リモコンを本体の受光部に向けてください。	16
	● リモコンと本体が離れすぎている	● 本体正面より7m以内のところで操作してください。	16
	● リモコンと本体の受光部の間に障害物がある	● 障害物を取り除いてください。	–
	● リモコンの電池が消耗している	● 電池を交換してください。	16
	● リモコンに水など水分を含むものをこぼした	● リモコンの交換が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	163
	● 本体の受光部不良の可能性がある	● デジタルカメラを利用し、次のようなチェックを行なってください。 リモコンのボタンを押したままデジタルカメラ(カメラ付き携帯を含む)に向け、デジタルカメラの液晶画面で送信部が光って見えれば、リモコンは正常です。	–
	● 正しい操作モード(ビデオまたはDVD)が選ばれていない。	● リモコンの**[ビデオ]**、**[DVD]**ボタンまたは本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンを押して、お使いになりたい操作モードに切換えてから操作してください。	17
[セットアップ]ボタンがきかない	● DVDが録画中または再生中である	● **[停止 ■]**ボタンを押して録画/再生を停止してください。	54、65、77
	● DVDが予約待機中またはサテライト予約待機中である	● **[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。	67
テレビの番組が映らない	● 本機に接続されていた同軸ケーブルがはずれている	● 同軸ケーブルを正しくつないでください。	24～27
	● 同軸ケーブルが断線、ショートしている	● 同軸ケーブルを点検してください。	–
	● 本機の受信チャンネルが設定されていない	● 受信チャンネルを設定してください。	38～41
	● テレビの入力切換が本機を接続した外部入力(ビデオ1など)になっていない	● テレビの入力切換を本機を接続した外部入力(ビデオ1など)に設定してください。	–
	● テレビ放送の電波が弱い	● 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときはお買い上げの販売店にご相談ください。	裏表紙
	● B-CASカードが正しく装着されていない	● B-CASカードを挿入する向きが合っているか確認して下さい。 ● B-CASカードが奥まで差し込まれているか確認して下さい。	23
	● テレビにアンテナ線が接続されていない	● テレビ単体で放送を視聴したい場合は、テレビ側にもアンテナ接続が必要です。	25

故障かな?と思ったときは （つづき）

■ 共通

症状	主な原因	対応	参照ページ
録画予約ができない	● 時計合わせが正確に行なわれていない	● 時計合わせを正確に行なってください。	34
	● 録画予約が正しくセットされていない	● 録画予約を正しくセットしてください。	64～75
	● ビデオテープが入っていない	● ビデオテープを入れてください。	138
	● ビデオテープのツメが折れている	● ツメの場所にセロハンテープを貼ってください。	15
	● 録画可能なディスクが入っていない	● 録画可能なディスクを入れてください。	11、12
	● 停電があった	● 電源を入れ、時計合わせを正確に行ない、録画予約をやり直してください。	34、64～75
地上デジタル放送を視聴中に画面にモザイク(四角のノイズ)がでる	● アンテナの向きがずれている	● アンテナの向きを調整してください。	–
	● アンテナの前面に障害物がある	● 障害物がない場所にアンテナを設置してください。	–
	● アンテナおよび同軸ケーブルが適切なものでない	● 適切な仕様(デジタル放送対応)のアンテナおよび同軸ケーブルをご使用ください。	24~27
	● B-CASカードが正しく装着されていない	● B-CASカードを挿入する向きが合っているか確認して下さい。 ● B-CASカードが奥まで差し込まれているか確認して下さい。	23
地上デジタル放送が受信できない	● アンテナが正しく設置されていない	● アンテナが正しく設置されているか確認して下さい。	–
	● 同軸ケーブルが正しく接続されていない	● 同軸ケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。	24~27
	● 地域設定が正しく設定されていない	● “セットアップ”-“デジタル設定”-“地域設定”でお住まいの地域を選択してください。	39
	● 本機の受信チャンネルが設定されていない	● “セットアップ”-“デジタル設定”-“チャンネル自動設定”を選択し、チャンネルのスキャンを行なって下さい。	40
	● 受信可能エリア外である	● お住まいの地域が、地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お近くの電器店または「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」（電話 0570-07-0101）にご相談ください。	–
	● CATVご使用の場合、トランスモジュレーション方式になっている	● ご契約のケーブル会社にご相談ください。	–
番組表が表示されない、または一部表示されない番組がある	● 電源プラグをコンセントに接続した直後などで、番組表データを取得できていない	● データ取得中の可能性がありますので、1分ほど待ってから操作してください。	36
	● 地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴中のチャンネルの番組表データだけが更新されます。	● 見たい番組表の放送局にチャンネルを切り換えて、1分ほど待ってから操作してください。 ● 本機の電源をスタンバイ状態にしてください。しばらくすると番組表データの取得を行ないます。（データ取得中は本体表示管に“data”と表示します。）	36
	● “セットアップ”の“デジタル設定”-“番組表取得設定”で“取得しない”が選択されている。	● “セットアップ”-“デジタル設定”-“番組表取得設定”で“取得する”を選択すれば、本機の電源がスタンバイ状態のとき（表示管に“data”と表示中）に、番組内容が更新されます。	46
字幕や文字スーパーがでない	● 字幕の設定や文字スーパーの設定が“なし”になっている	● “セットアップ”-“デジタル設定”-“字幕・文字スーパー”で“字幕”または“文字スーパー”から“第1言語”または“第2言語を”選択してください。	45
	● 字幕や文字スーパーのある番組を視聴していない。	● 故障ではありません。 放送によっては字幕・文字スーパーに対応していませんので、表示されません。	–

故障かな?と思ったときは （つづき）

■ ビデオ部

症状	主な原因	対応	参照ページ
ビデオの操作ができない	● DVD操作用ランプが点灯している	● 本体の**[ビデオ/DVD]**ボタンまたはリモコンの**[ビデオ]**ボタンを押し、ビデオ操作用ランプを点灯させてください。	17
	● 録画予約がある	● **[タイマーセット]**ボタンを押し、予約待機状態を解除してください。	67
録画ができない	● ビデオテープのツメが折れている	● ツメの場所にセロハンテープを貼ってください。	15
再生の画像がきれいに映らない	● テレビの画面調整が正しくない	● テレビの画面調整を行なってください。	―
音声はでるが再生画がでない、またはグレー一色になる	● ビデオヘッドが汚れている	● ヘッドクリーニングが必要です。クリーニングテープ（市販品）でヘッドクリーニングを行なってください。	15
テレビ画面に白色の“⃠”が表示され、操作できない	● 本機がその操作を禁止している	● 故障ではありません。	―
	● DVD側が予約待機中またはサテライト予約待機中のため、本機がDVDへの操作切換を禁止している	● DVD側の操作を行ないたい場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。	17、67
ビデオのときに再生映像がでない	● テレビにS映像端子またはD映像端子を接続しDVDが録画中である	● DVDが録画中はS/D映像端子接続ではビデオの再生をご覧になれません。この場合、本機の映像/音声出力端子とテレビの映像/音声入力端子に接続してください。	24～29
再生画像、音声共にでない	● テレビの入力切換が本機を接続した外部入力（ビデオ1など）になっていない	● テレビの入力切換を本機を接続した外部入力（ビデオ1など）に設定してください。	―
	● 映像・音声コードがはずれている	● 映像・音声コードを端子の根元までキッチリと差し込んでください。	24、26
ビデオに切り換えても画像がでない。「ブー」音のみがでる	● 映像・音声コードの映像/音声が逆になっている	● 映像・音声コードの映像/音声を正しく接続してください。	24、26、28
録画予約再生画像の一部にノイズがでる	● トラッキングの調整が合っていない	● 見やすい画像になるように、トラッキングを調整してください。	132
	● 別のビデオで録画したビデオテープを再生している	● 見やすい画像になるように、トラッキングを調整してください。	132
	● 傷んだテープを使用している	● 傷んだテープのご使用はおひかえください。	―
市販ビデオソフトをダビングしたら、画像が乱れる	● ビデオソフトはコピーガードの機能でガードされていますので、規格上ダビングできない	● 故障ではありません。	―
テープが完全に巻戻されない	● 巻戻しは2段階で行なう 高速巻戻しから低速巻戻しに変わる際一度停止するので、その時点で取り出されると完全に巻き取られていない場合がある	● 故障ではありません。	―
ビデオテープを入れた直後、ビデオテープがでてきた	● ビデオ本体を保護するための安全機構が働いた	● 一度カセットテープを取り出してから、再度カセットテープをまっすぐに入れ直してください。	―
	● ビデオ内部に異物が入った	● 異物の取り出しが必要です。 異物を確認し、お買い上げの販売店や船井サービス(株)カスタマーセンターにご相談ください。	裏表紙

故障かな?と思ったときは（つづき）

■ DVD部

症状	主な原因	対応	参照ページ
DVDの操作ができない	● ビデオ操作用ランプが点灯している	● 本体の**[ビデオ/DVD]**ボタン、またはリモコンの**[DVD]**ボタンを押し、DVD操作用ランプを点灯させてください。	17
	● 録画予約がある	● **[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。	67
画像が出ない	● 映像コードがはずれている	● 映像コードをしっかり接続してください。	24、26、28、29
	● 違う種類のディスクが入っている	● 本機で使用できるディスク以外のものが入っていないか確認してください。	11、12
	● コピーガード機能が働いている	● 本機とテレビを直接接続してください。	29
	● ビデオ操作用ランプが点灯している	● 本体の**[ビデオ/DVD]**ボタン、またはリモコンの**[DVD]**ボタンを押し、DVD操作用ランプを点灯させてください。	17
	● "プログレッシブ出力"の設定が正しくない	● テレビに合わせてプログレッシブ出力設定を正しくあわせる。（プログレッシブ対応テレビと本機のD1/D2映像出力端子を使って接続している場合のみ、プログレッシブ出力の設定を"入"にしてください。	28、29、123
再生が始まらない	● 結露が発生している	● 電源「入」のまま、しばらく放置してください。	9
	● ディスクが入っていない	● ディスクを入れてください。	77
	● ディスクが裏返しに入っている	● ディスクの印刷されている面を上にして正しく入れ直してください。	77
	● ディスクが汚れている	● ディスクを清掃してください。	9
	● 視聴制限が有効になっている	● 視聴制限を解除するか、視聴制限の設定を変更してください。	127
音声が出ない	● 音声コードがはずれている	● 音声コードをしっかり接続してください。	24、26、28～30
	● 音声出力の選択が正しくない	● 音声出力の選択を正しく行なってください。	121、122
	● 音声接続をしている機器の電源が入っていない	● 音声接続をしている機器の電源を入れてください。	–
	● 音声接続をしている機器の入力切換が正しくない	● 音声接続をしている機器の入力切換を正しく行なってください。	–
	● DTS音声を再生している	● DTS音声はアナログ出力端子からは出力されません。	–
5.1chドルビーサウンドにならない	● 間違ったケーブルを使用している	● 5.1chドルビーサウンドを楽しむには、光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルを使用し、5.1chドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続が必要です。	30、121、122
映像が乱れる	● コピーガード機能が働いている	● 本機とテレビを直接接続してください。	29
	● 早送り、早戻しをした直後である	● 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	–
	● 携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	● 本機から離してご使用ください。	9
"セットアップ"で選んだ音声言語、字幕言語にならない	● DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認してください。	11
アングルを変えて見ることができない	● DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	● DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認してください。	11
音声言語、字幕言語の切り換えができない	● DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	● DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認してください。	11

故障かな?と思ったときは　（つづき）

■ DVD部

症状	主な原因	対応	参照ページ
テレビ画面に赤色の“🚫”が表示され、操作できない	● 本機またはディスクがその操作を禁止している	● 故障ではありません。	17
	● ビデオ側が予約待機中またはサテライト予約待機中のため、本機がビデオへの操作切換を禁止している	● ビデオ側の操作を行ないたい場合は、**[タイマーセット]**ボタンを押して予約待機状態を解除してください。	67
再生中に画像が動かなくなる	● ディスクが本機で再生できるDVDディスクの仕様を満たしていない	● 故障ではありません。	11、12
	● ディスクが汚れている	● ディスクを清掃してください。	9
	● ディスクにキズがある	● キズのないディスクと取り換えて再生してください。	－
	● 2層ディスクが1層から2層に切り換わった	● 映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません。	－
	● 原因がはっきりしないとき	● **[停止 ■]**ボタンを押してから、**[再生 ▶]**ボタンを押してください。	－
		● 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込み再生してください。	－
“非対応ディスク --ディスクを取り出してください--このディスクには対応していません。再生可能なディスクを挿入してください”と画面表示される	● 再生できないディスクが入っている	● 再生できるディスクを入れてください。	11、12
	● ディスクが汚れている	● ディスクを清掃してください。	9
	● ディスクが裏返しに入っている	● ディスクの印刷されている面を上にして正しく入れ直してください。	77
	● ディスクにキズがある	● キズのないディスクと取り換えて再生してください	－
“リージョンエラー --ディスクを取り出してください--この地域での再生は禁止されています”と画面表示される	● リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	● リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れてください。	11
“視聴制限 --ディスクを取り出してください-- 現在の視聴制限設定では再生が許可されません”と画面表示される	● 視聴制限の設定が有効になっている	● 視聴制限の設定を変更してください。	127
“録画エラー この映像は録画が許されていません”と画面表示される	● 録画が禁止されている映像を録画しようとしている	● 録画禁止映像は録画することができません。	－
“録画エラー 1回だけ録画可能な映像のため、ビデオフォーマットでは録画できません”と画面表示される	● 1回だけ録画可能番組をビデオモードで録画しようとしている	● VRモードディスク（CPRM対応ディスク）をご使用ください。	11～14
		● “ディスク管理”で“フォーマット”を選択し、VRフォーマットを行なってください。	51
“録画エラー このディスクには録画できません”と画面表示される	● 録画不可能なディスクが入っている ● ディスクが録画条件を満たしていない	● 録画可能なディスクを入れてください。	11、12
“録画エラー この映像はこのディスクには録画できません。CPRM対応のディスクをご使用ください。”と画面表示される	● 1回だけ録画可能番組をCPRM対応でないDVD-RW/-Rディスクに録画しようとしている	● Ver.1.1CPRMもしくはVer.1.2CPRM対応のDVD-RWディスク、Ver.2.0CPRMもしくはVer.2.1CPRM対応のDVD-Rディスクを入れてください。	11、12、14
“録画エラー このディスクは保護されています”と画面表示される	● ディスク保護されているディスクに録画しようとしている	● ディスク保護設定を解除してください。	63

故障かな?と思ったときは （つづき）

■ DVD部

症状	主な原因	対応	参照ページ
“録画エラー ディスクに残量がありません”と画面表示される	● 録画できるスペースがないディスクに録画しようとしている	● 録画可能なディスクを入れてください。	11、12
“録画エラー このディスクは99タイトル録画されています”と画面表示される	● タイトル数が最大になっているディスクに録画しようとしている	● 不要なタイトルを削除してください。 ＊VRフォーマットのプレイリストからタイトルを削除しても、録画できる容量は増えません。	104
“録画エラー このディスクは999チャプター設定されています”と画面表示される	● チャプター数が最大になっているDVD-RW/-R（VRモード）ディスクに録画しようとしている	● 不要なチャプターマークを消去してください。	110、111
“録画エラー CIにデータを記録できません”と画面表示される	● シーン削除または録画したときに制御情報を書き込む領域がない編集を繰り返し行なうと、録画できるディスクスペースが残っていても、先に制御情報を書き込む領域がいっぱいになって録画できなくなる	● 不要なタイトルを削除してください。	104
“録画エラー PCAにデータを記録できません”と画面表示される	● ディスクへ書き込むときに試し書きする領域がいっぱいになっている録画状態の悪いディスクに書き込みを繰り返すと、この領域がいっぱいになることがある	● ディスクを交換してください。	11、12
“録画エラー このディスクはファイナライズされています”と画面表示される	● ファイナライズされているディスクに録画しようとしている	● ファイナライズを解除してください。（本機でファイナライズしたDVD-RWディスクのみ）	61

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。
  正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
- 市販のDVDビデオソフト（ディスク）によっては再生に支障をきたす場合があります。その場合は、船井電機お客様ご相談室にご相談ください。

故障かな?と思ったときは （つづき）

エラーリスト一覧表

録画予約が正確に行なえなかった場合は、録画予約画面の録画モード欄にエラー番号が表示されます。エラー番号が表示された予約番組は灰色になり、アスタリスクが表示されます。
録画予約画面を再表示すると、エラーとなった予約は消えます。

エラー番号	症状	処置	参照ページ
E1〜E22	● 録画に失敗した	● ディスクを交換してください。	11、12
E23、E24	● 録画できないディスクだった	● 録画できるディスクを挿入してください。	11、12
E25〜E28	● 録画禁止映像があり録画できなかった	● 録画禁止映像は録画することができません。	14
E29	● ディスク保護されたディスクのため録画できなかった	● ディスク保護設定を解除してください。	63
E30	● ディスクがいっぱいになった	● 録画できるディスクを挿入してください。	11、12
E31	● 99タイトルが記録済みになった（ビデオモードディスク）	● 不要なタイトルを削除してください。	103
E32	● 99タイトルが記録済みになった（VRモードディスク）	● 不要なタイトルを削除してください。 ＊ VRモードのプレイリストからタイトルを削除しても、録画できる容量は増えません。	103
E33	● チャプター総数が999になった（VRモードディスク）	● 不要なチャプターマークを消去してください。	110、111
E34	● 制御情報記録領域に空きがなくなった	● 不要なタイトルを削除してください。	104
E35	● PCAがいっぱいになった（録画開始時）	● ディスクを交換してください。	11、12
E36	● ファイナライズ済のため記録できなかった（ビデオモードディスク）	● ファイナライズを解除してください。	61
E37〜E39	● 録画に失敗した	● ディスクを交換してください。	11、12
E40	● 録画予約が重なっていて録画されない部分があった	● 正確に録画予約を行なってください。	76
	● スタート時間よりあとに録画予約を設定した	● スタート時間前に録画予約を行なってください。	64、65
	● テープが入っていなかった	● 録画できるテープを挿入してください。	15
	● 録画の途中でテープが終了した	● 録画できるテープを挿入してください。	15
E41	● 停電が起きた	● 電源を入れ時計合わせを正確に行ない、録画をやり直してください。	34、64〜75
E42	● ディスクが入っていなかった	● 録画できるディスクを挿入してください。	11、12

メッセージ表示一覧

メッセージ表示一覧

メッセージ	内容
このボタンはチャンネル登録されていません	放送局の登録がされていないリモコン番号を押したときに表示されます。 「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
このチャンネルは受信できません	非放送番組を選局したときに表示されます。
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください	受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。アンテナケーブルが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
このチャンネルは放送されていません	選局したチャンネルが「休止中」だったときに表示されます。
B-CASカードを確認してください	B-CASカードが認識されていないときに表示されます。
データ取得中です。しばらく待って操作してください	受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
「デジタル設定」よりチャンネル設定を行なってください	地上デジタル放送のチャンネル設定を行なっていないときや、"初期設定に戻す"を行なったときに表示されます。
緊急放送が始まりました。【決定】ボタンで切り換わります	緊急放送が始まったときに表示されます。**[決定]**ボタンを押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
お住まいの地域の放送局が****年**月**日～****年**月**日に変更されている可能性があります。受信できないチャンネルがある場合は、チャンネル設定を行なってください。 このメッセージは数日間電源を入れた際に表示されます。表示をキャンセルしたい場合は【戻る】ボタンを押してください。	該当(お使いの)地域において、チャンネル周波数変更などが実地されるときに表示されます。 このメッセージは数日間電源を入れた際に表示しますので、以後表示をキャンセルする場合は、左記のいずれかのメッセージ表示中に**[戻る ↩]**ボタンを押してください。ただし、放送局に変更があった場合は再度、左記メッセージが表示されます。
ソフトウェアのアップデートが実施されます xxxx年xx月xx日xx時xx分の前後30分 は待機状態にしてください	ソフトウェアのダウンロードが必要と判断した場合に表示します。表示された時間は、電源切(待機)状態にしておいてください。ダウンロード実行中は本体表示管に「data」と表示されます。このときは電源プラグを抜かないでください。
「デジタル設定」より「放送メール」を確認してください	放送メールを受信した場合やソフトウェアのダウンロードが完了した場合に表示されます。
録画予約時刻になりますので【タイマーセット】ボタンを押してください。	タイマー予約を設定し、予約開始5分前になっても**[タイマーセット]**ボタンが押されなかった場合に表示されます。
録画予約時刻になりますのでまもなく録画を停止します。	DVD側がタイマースタンバイ中の予約開始2分前に、予約チャンネルとは別チャンネルをビデオ側で録画しているときは、ビデオ側で表示されます。ビデオ側がタイマースタンバイ中にDVD側で別チャンネルを録画しているときは、DVD側で表示されます。
DVDへ録画中にビデオテープの再生をご覧になるには、映像出力端子をご使用ください。	S/D映像端子接続中に、DVDを録画しているときに、ビデオ側を再生した場合に表示されます。

用語の解説

用語	説明
CATVパススルー方式	ケーブルテレビ(CATV)で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、元の放送電波とおなじ周波数を使って再送信をおこなう同一周波数パススルー方式と、元の放送電波とは異なる周波数を使って再送信をおこなう周波数変換パススルー方式があります。周波数変換パススルー方式での地上デジタル放送を受信するためにはCATVパススルー対応の受信機が必要です。
CPRM	Content Protection for Recordable Mediaの略で、「1回だけ録画可能」・「ダビング10」番組に対する著作権保護技術です。 「1回だけ録画可能」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応でVRモードのDVD-RW、DVD-Rを使います。「ダビング10」番組は本機では「1回だけ録画可能」番組として記録されます。
D1/D2映像出力端子（D映像端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力(Y、PB/CB、PR/CR)端子を持ったテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。DRC入/切を切り換えることによって、テレビの会話などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
DTS®	DTS社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
EPG	Electronic Program Guideの略で、電子番組表のことをいいます。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の一つです。データサイズを小さくできるので、広く使われています。
NR	映像のノイズを軽減します。(ノイズリダクション)
NTSC方式	National Television System Committeeの略で、主に日本やアメリカで使われているテレビの信号方式です。
S映像入出力	従来の映像端子よりも鮮明な映像が楽しめます。
黒レベル	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
コピーワンス番組（１回だけ録画可能番組）	著作権保護・違法コピー防止のため、１回だけ録画することが許可されている番組のことです。
視聴制限（パレンタルレベル）	ディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
セットアップ	本機でディスクを再生して楽しむため、映像出力設定や視聴制限(パレンタルレベル)などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル(dB)単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。
ダビング10	デジタル録画機からDVDなどへのダビングが「コピー9回」+「ムーブ1回」までできる番組のことです。 「ダビング10」番組はHDDにしか直接録画できませんので、本機では「1回だけ録画可能」番組として記録されます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル(5.1ch)	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。最大5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。マルチchを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
4:3パンスキャン テレビ画面	4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ディスクを再生したときに、ディスクの制御情報にしたがって再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
ファイナライズ	本機で録画したディスクをほかのDVDプレーヤー/レコーダーで再生できるようにする場合に行ないます。本機ではDVD-RW/-Rディスクのファイナライズが可能です。
フォーマット	ディスク上に書き込まれた内容をすべて消去し、ディスクを初期化します。
プレイリスト	オリジナルの映像とは別に編集用に作成された映像のことで、オリジナルの映像のお好みのシーンを順番に再生することができます。
プログレッシブ	D1/D2映像出力で画像を再生するとき、ちらつきを少なくし、高画質の映像で再生します。

用語の解説　（つづき）

用語	説明
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
マルチアングル	同じ画像を異なる角度から撮影したコンテンツなどを含むディスクで、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	PCMとは、Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは、圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDソフトは、国によって再生できる番号（これをリージョン番号といいます）が分けられています。日本の番号は「2」になっており、本機では「2」または「ALL」を含んだソフトのみ再生できます。
4:3レターボックス テレビ画面	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

索引

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

索引　（つづき）

ら行

仕様

品名　ビデオ一体型DVDレコーダー
形名　DXR150V
信号方式　NTSC方式

■DVD

記録可能ディスク　DVD-RW
DVD-R
記録フォーマット　DVD-Video Recording：VRモード
DVD-VIDEO：ビデオモード
映像記録　量子化8ビット
映像サンプリング周波数　13.5MHz
映像圧縮方式　MPEG
音声記録　量子化16ビット
音声サンプリング周波数　48kHz
音声圧縮方法　ドルビーデジタル（2ch）
記録時間（4.7GBディスク使用時の目安時間）

- DVD-RW、DVD-R（VRモード）
  XP：　約60分
  SP：　約120分
  LP：　約240分
  EP：　約360分
  SLP：　約480分
- DVD-RW、DVD-R（ビデオモード）
  XP：　約60分
  SP：　約120分
  LP：　約240分
  EP：　約360分
  SLP：　約480分

再生可能ディスク　DVDビデオ、DVD-RW/-R（VRモード/ビデオモード）、DVD-RAM、音楽用CD、CD-RW/-R（音楽用CDフォーマット、静止画像（JPEG））

■ビデオ

録画方法　輝度信号：FM変調方式
カラー信号：低域変換直接記録方式
テープ速度　SP（標準）モード時：33.4mm/秒
EP（3倍）モード時：11.1mm/秒

使用ビデオテープ　VHS タイプビデオカセットテープ

録画再生時間　最大9時間（T-180使用時）
Hi-Fiサウンド特性　ダイナミックレンジ：80dB
周波数特性：20Hz～20kHz
ワウ・フラッター：0.05%

■チューナー

受信チャンネル　地上デジタル：1～62ch
CATV：C13～C63ch

■タイマー

プログラム数　1ヶ月12プログラム
（DVD、ビデオあわせて）
時計　クォーツロック、12時間デジタル表示
停電保証時間　約30秒

■入出力端子

アンテナ入力　地上デジタルアンテナ入力
75ΩF型コネクター
S映像入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
4ピンミニDIN、
Y＝1Vp-p（75Ω不均衡）
C＝0.286Vp-p（75Ω不均衡）
映像入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
ピンジャック：1Vp-p（75Ω不均衡）
映像出力　1系統
ピンジャック：1Vp-p（75Ω不均衡）
音声入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
ピンジャック：2Vrms（47kΩ）
音声出力　1系統
ピンジャック：2Vrms（47kΩ）
S映像出力　1系統
4ピンミニDIN.
Y＝1Vp-p（75Ω不均衡）
C＝0.286Vp-p（75Ω不均衡）
D1/D2映像出力　1系統
Y：1.0Vp-p
C_B、C_R：0.7Vp-p
アナログ音声出力　1系統
ピンジャック：2Vrms（47kΩ）
光デジタル音声出力　1系統
光コネクター
同軸デジタル音声出力　1系統
ピンジャック：0.5Vp-p（75Ω）

■その他

定格電圧、周波数　AC100V、50Hz/60Hz
使用温度範囲　5℃～40℃
使用湿度範囲　80%以下（結露のないこと）
外形寸法　幅435mm×高さ99.5mm×奥行260mm
（奥行278mm B-CASカード挿入口含む）
質量　約4.4kg

消費電力　28W
待機時消費電力　2W

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このビデオ一体型DVDレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  <This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

　本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。
　本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。
　ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
　ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。
当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、DXアンテナは一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」はDXアンテナ以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。
本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文**

対応ソフトウェアモジュール	
Microwindows	Exhibit A
Free Type	Exhibit B

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント「EULA」原文（英文）

ExhibitA
MPL

The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at http://www.mozilla.org/MPL/

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is Microwindows.
The Original Code is renamed The Nano-X Window System in 2005.

The Initial Developer of the Original Code is Greg Haerr.
Portions created by Greg Haerr are Copyright (C) 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Greg Haerr <greg@censoft.com>.
All Rights Reserved.

Contributor(s):

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the GNU General Public license (the "[GNU] License"), in which case the provisions of [GNU] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [GNU] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [GNU] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [GNU] License.

ExhibitB
Free Type

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.
We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""
Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'.
This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn t mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.
- freetype-devel@nongnu.org
  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

保証とアフターサービス

1）保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）
保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）保証期間はお買い求めの日から1年間です。
本機は一般家庭用として作られています。各種の消耗部品については、業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも「**有償修理**」となります。

3）アフターサービスのご依頼について

◆ **保証期間中、万一製品が故障してしまった場合**
この取扱説明書の「**故障かな?と思ったときは**」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、販売店にご持参いただくか、または最寄りのカスタマーセンターまで梱包の上、ご送付ください。
（製品が破損しない様にご注意ください。）保証書の記載内容にしたがって修理させていただきます。

◆ **保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合**
販売店にご持参いただくか、または最寄りのカスタマーセンターまで運賃元払い（お客様ご負担）にて、下記枠内の内容を記載した用紙を添付し、ご送付ください。修理によって製品の機能を維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：
- **ご住所**
- **ご氏名**
- **電話番号**
- **故障または異常の内容**
- **製品名**
- **製造番号**
- **ご購入日**

4）アフターサービスについてご不明な点は…
販売店、または最寄りの**船井サービス(株)カスタマーセンター**までお問い合わせください。

5）補修用性能部品の最低保有期間
この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有してあります。

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（この製品の製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年/月/日	年　　月　　日
お買い上げ店名/住所/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	DXR150V
お買い上げ製品の製造番号	

愛情点検

● **長年ご使用の製品の点検を！**
（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- 再生しても映像や音が出ない。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- ディスクを傷めた。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止
このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

取扱い・修理に関するご質問は、まず **お買い上げの販売店へ** お問い合わせください。

販売店が分からずお困りの場合は、下記のご相談窓口までお問い合わせください。その際は、

・**この製品の型番**(取扱説明書又は保証書などに記載しています)・**ご購入日**・**具体的な症状など** をお教えください。

※故障の場合、お問い合わせの前にこの説明書の「故障かな?と思ったときは」もご参照ください。

船井電機お客様ご相談窓口　お買い物・取扱い・修理・補修部品のご注文に関するお問い合わせ

音声ガイダンスに従って、お問い合わせの内容を電話のプッシュボタン(PB)信号で選択してください。担当するご相談窓口へおつなぎします。

0120-952-932(通話料無料)

各窓口の受付時間　9:00 ~ 17:30

(土曜・日曜・祝日及び夏季休暇・年末年始は除く)

※修理受付センターへはおつなぎできませんので、直接お問い合わせください。

・IP 電話などで上記番号をご利用になれない場合は、各相談窓口まで直接お問い合わせください。(通話料:有料)
・ナビダイヤルでのお問い合わせは、2010 年 3 月末で終了しました。ご利用誠にありがとうございました。

1 お買い物・取扱いのご相談窓口

船井電機株式会社　お客様ご相談室

電話　(072) 871-1110　　FAX　(072) 871-1199

Web　**http://www.funai.jp/support/**

各相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

・お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でいただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

2 修理ご相談窓口(技術相談窓口)、修理品持込・送付先、アフターサービス

対象地区　関東・甲信越を除く全国

船井サービス株式会社　本社カスタマーセンター

電話　(06) 6746-3373　　FAX　(06) 6746-3374

住所　〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1F

対象地区　関東・甲信越

船井サービス株式会社　東京カスタマーセンター

電話　(042) 679-5402　　FAX　(042) 679-5406

住所　〒192-0363　東京都八王子市別所 1-18-10

Web　**http://www.funai-service.co.jp/repair/**

船井サービス株式会社 修理受付センター(出張修理・持込修理受付窓口)

◆出張修理のご依頼や修理品の持ち込み・ご送付は下記窓口でもお受けしております。

札幌修理受付センター
☎(011)281-0130　FAX (011)281-0137
〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西 10-4 南大通ビルアネックス 1F

仙台修理受付センター
☎(022)299-1658　FAX (022)299-1662
〒984-0046 宮城県仙台市若林区二軒茶屋 3-5 鴫原ビル 1F

名古屋修理受付センター
☎(052) 735-0440　FAX (052) 735-0441
〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞 3-4-3 富田ビル 2F

津山修理受付センター
☎(0868) 28-7586　FAX (0868) 28-1746
〒708-0015 岡山県津山市神戸 88

福岡修理受付センター
☎(092) 475-1252　FAX (092) 475-3227
〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町 17-7 サンシティパーキングビル 1F

3 付属品(リモコンなど)・補修部品のご注文窓口

船井サービス株式会社　部品受注センター(全国)

電話　(0868) 28-7183　　FAX　フリーコール 0120-0271-82(通信料:無料)

Web　**http://www.funai-service.co.jp/shop/ (オンラインショッピング)**

名称・所在地・電話番号は都合により予告無く変更する場合がございますので、ご了承ください。

【DXアンテナ株式会社】　受付時間9:00~17:30(土曜･日曜･祝日および夏季休暇･年末年始は除く)

首都圏ホームエレクトロニクス営業部	〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地　秋葉原ビルディング7F ☎(03) 3526-5318　F X (03) 3526-5712
近畿ホームエレクトロニクス営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06) 6889-1530　F X (06) 6889-1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

販売元:	**DXアンテナ株式会社**	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元:	船井電機株式会社	〒574-0013	大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

E9S20JD
1VMN29333 ★★★★

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。(2010年4月現在)

Printed in China

1VMN29333